

防衛年表

年	月日	主要事象
1945 (昭和20)	8.15	終戦
	8.17	東久邇内閣成立
	8.17	インドネシア共和国独立宣言
	8.28	ベトナム民主共和国臨時政府成立
	9. 2	GHQ設置
	10. 9	幣原内閣成立
	10.15	参謀本部・軍令部廃止
	10.24	国際連合成立
	11.30	陸・海軍省廃止
	1. 4	GHQ、公職追放を指令
	1.10	国際連合第1回総会開幕（ロンドン、～2.14）
1946 (昭和21)	1.27	GHQ、琉球列島・小笠原群島の日本行政権停止指令
	2.26	極東委員会成立
	3. 5	チャーチル、「鉄のカーテン」演説
	4. 5	第1回対日理事会開催
	4.24	沖繩民政府発足
	5. 3	極東軍事裁判開廷
	5.22	吉田内閣成立
	10. 1	ニュールンベルグ国際裁判判決
	11. 3	「日本国憲法」公布
	12.19	インドシナ戦争開始（～54）
	3.12	トルーマン・ドクトリン発表
1947 (昭和22)	5. 3	「日本国憲法」施行
	6. 1	片山内閣成立
	6. 5	マーシャル・プラン発表
	8.15	インド、パキスタン独立
	8.15	第一次印パ紛争発生（～65）
	10. 5	コミンフォルム設置
	12.17	「警察法」公布（国家地方警察、自治体警察設置）
	3.10	芦田内閣成立
	4. 1	ソ連、ベルリン封鎖（～49.5.12）
	4.27	「海上保安庁法」公布
	5.14	イスラエル国独立、第1次中東戦争開始（～49.2.24）
1948 (昭和23)	6.11	米上院、バンデンバーク決議
	6.26	ベルリン空輸開始
	8.15	大韓民国独立宣言
	9. 9	朝鮮民主主義人民共和国成立
	10.19	第2次吉田内閣発足
	11.12	極東国際軍事裁判判決
	1.25	コメコン（経済相互援助会議）設置
	2.16	第3次吉田内閣発足
	4. 4	北大西洋条約12カ国署名（8.24発効）（NATO発足）
	4.21	国共会談決裂、中共軍総攻撃開始
	5. 6	ドイツ連邦共和国（西独）成立
1949 (昭和24)	7. 5	下山事件
	7.15	三鷹事件
	8.17	松川事件
	9.24	ソ連、原爆所有を公表
	10. 1	中華人民共和国成立
	10. 7	ドイツ民主共和国（東独）成立
	12. 7	国民党政權、台湾へ移転
	1.27	米国、NATO諸国とMSA協定署名
	2.14	中・ソ友好同盟相互援助条約署名
	6.21	米国務省ダレス顧問来日
	6.25	朝鮮戦争（～53.7.27）
1950 (昭和25)	6.28	第3次吉田改造内閣発足
	7. 7	朝鮮派遣の国連軍創設
	7. 8	マッカーサー元帥、警察予備隊75,000人創設、海上保安庁8,000人増員を許可
	8.10	警察予備隊令公布・施行
	8.13	警察予備隊一般隊員募集開始
	8.14	警察予備隊初代増原長官就任
	9. 7	警察予備隊本部、国営本部から越中島へ移転
	9.15	国連軍、仁川上陸
	10.25	中国人民志願軍、朝鮮戦争に参戦
	11.24	米国、「対日講和7原則」発表
	12.18	北大西洋条約防衛委員会・NATO軍創設決定
1951 (昭和26)	1.23	大橋国務大臣、警察予備隊担当に決定
	1.29	第1回吉田・ダレス会談（講和会議交渉）
	3. 1	陸士・海兵など出身者（1、2等警察士要員）特別募集開始
	4.11	マッカーサー、連合軍最高司令官解任
	7. 4	第3次吉田改造（第2次）内閣発足
	8.30	米・比相互防衛条約署名
	9. 1	オーストラリア・ニュージーランド・米・国間3国安全保障（ANZUS）条約署名
	9. 8	「対日講和」49カ国署名、「日米安全保障条約」署名
	10.20	小月部隊、ルース台風による山口県北河内村の災害救援のため初出動
	10.26	衆議院、「講和・安保両条約」を承認（11.18参議院）
	12.26	第3次吉田改造（第3次）内閣発足
1952 (昭和27)	1.19	韓国「隣接海洋に関する主権宣言」（李承晩ライン）
	2.28	日米行政協定署名
	4.26	海上保安庁に海上警備隊発足
	4.28	日華平和条約署名
	4.28	「対日講和・日米安全保障条約」発効
	4.28	極東委員会・対日理事会・GHQ廃止
	5. 1	メデー、皇居前広場で暴動化
	5.26	米・英・仏、対独平和取極署名
	5.27	欧州防衛共同体（EDC）条約署名
	7.21	「破壊活動防止法」公布・施行
	7.26	「日米施設区域協定」署名
1952 (昭和27)	7.31	「保安庁法」公布
	8. 1	保安庁設置、吉田内閣総理大臣、保安庁長官を兼務、警備隊発足
	10.15	保安隊発足
	10.30	第4次吉田内閣発足、木村長官就任
	10.31	英国、初の原爆実験
	11. 1	米国、初の水爆実験
	11.12	「日米船舶賃借協定」署名
	1. 1	在日米保安顧問団発足
	4. 1	保安大学校（後の防衛大学校）開校
	5.21	第5次吉田内閣発足
	7.27	朝鮮休戦協定署名
1953 (昭和28)	8.12	ソ連、初の水爆実験
	9.27	吉田・重光会談
	10. 1	米・韓相互防衛条約署名
	10.30	池田・ロバートソン会談、自衛力漸増の共同声明
	12.25	奄美群島復帰
	1. 1	在日米保安顧問団発足
	1.21	世界最初の米原潜（ノーチラス号）進水
	3. 1	米国、ビキニ水爆実験
	3. 8	第5福竜丸事件
	3. 8	MDA協定署名
	5.14	日米艦艇貸与協定署名
1954 (昭和29)	6. 2	参議院、自衛隊の海外出動禁止決議
	6. 9	「防衛庁設置法・自衛隊法・MDA協定等に伴う秘密保護法」公布
	7. 1	防衛庁設置、陸・海・空自衛隊発足
	7.21	インドシナ休戦に関するジュネーブ協定署名
	9. 3	中国人民解放軍、金門・馬祖初砲撃
	9. 8	東南アジア集団防衛条約（SEATO）署名
	12. 2	米華相互防衛条約署名
	12.10	鳩山内閣成立、大村長官就任
	3.19	第2次鳩山内閣発足、杉原長官就任
	4.18	アジア・アフリカ会談（バンドン）
	5. 5	西独、NATO正式加盟
1955 (昭和30)	5. 6	米軍、北富士演習場で実射、反対闘争激化
	5. 8	砂川基地闘争発生
	5.14	ワルシャワ条約署名（WPO発足）
	7.31	砂田長官就任
	8. 6	第1回原水禁世界大会開催（広島）
	8.31	重光・ダレス会談、日米安保条約改定について共同声明
	11.14	「日米原子力協定」署名
	11.22	第3次鳩山内閣発足、船田長官就任
	12.19	原子力基本法公布
	2. 9	衆議院原水爆実験禁止決議（2.10参議院）
	2.14	ソ連共産党第20回大会でスターリン批判がなされ、フルシチョフ平和共存路線を採択
1956 (昭和31)	3.23	防衛庁、霞ヶ関庁舎へ移転
	4.17	ソ連、コミンフォルム解散を発表
	4.26	国産護衛艦1番艦「はるかぜ」竣工
	7. 2	「国防会議構成法」公布
	7.26	ナセル・エジプト大統領、スエズ運河の国有化を宣言
	9.20	F-86Fジェット戦闘機国内生産第1号機領収
	10.19	日・ソ国交回復に関する共同宣言
	10.23	ハンガリー動乱
	10.29	第2次中東戦争（スエズ戦争）（～11.6）
	12.18	日本、国連に加盟
	12.23	石橋内閣成立、総理大臣、防衛庁長官を兼務
1957 (昭和32)	1.31	岸臨時首相代理、防衛庁長官を兼務
	2. 2	小滝長官就任
	2.25	岸内閣成立
	3.15	参議院、原水爆禁止決議
	5.15	英国、初の水爆実験
	5.20	「国防の基本方針」国防会議・閣議決定
	6.14	「防衛力整備目標」（1次防）国防会議決定、閣議了解
	6.21	岸・アイゼンハワー会談、在日米軍早期引揚げに関する共同声明
	7.10	岸改造内閣発足、津島長官就任
	8. 6	日米安全保障委員会発足
	8.26	ソ連、ICBM実験に成功と発表
1958 (昭和33)	8.27	東海村の実験原子炉点火
	9.10	「P2V-7 42機の国産」国防会議決定、9.17閣議報告
	10. 4	ソ連、世界初の人工衛星スプートニク1号打上げ
	11.23	世界共産党会議、モスクワ宣言
	1. 1	日本、国連安全保障理事会非常任理事国に就任
	1. 1	欧州経済共同体（EEC）発足
	1.14	第1回遠洋練習航海（ハワイ、～2.28）
	1.31	米国、人工衛星打上げ成功
	2.17	航空自衛隊、対領空侵犯措置を開始
	4.18	衆議院、原水爆禁止決議
	6.12	第2次岸内閣発足、左藤長官就任
1959 (昭和34)	8.23	中国人民解放軍の金門島攻撃激化
	9.11	藤山・ダレス会談（ワシントン）、日米安保条約改定 同意
	10. 4	日米安保条約改定日米会談開始
	1. 1	ダレス・蒋介石会談、本土反攻否定の共同声明
	12.17	米国、ICBMアトラスの試射に成功
	1.12	伊能長官就任
	3.30	東京地裁、砂川事件について米軍駐留違憲と判決
	6.18	第2次岸改造内閣発足、赤城長官就任
	8.25	中・印国境紛争
	9.18	フルシチョフ・ソ連書記長、国連で全面完全軍縮を提案
	9.26	伊勢湾台風において災害派遣を実施
1960 (昭和35)	9.27	米・ソ首脳会談、キャンプデービッド共同声明
	11. 6	「F-104 200機の国産」国防会議決定、11.10閣議了解
	12. 1	南極条約署名
	12.16	最高裁、砂川事件の原判決を破棄
	1.11	防衛庁、檜町庁舎へ移転
	1.19	「日米安全保障条約」署名（6.23発効）
	2.13	フランス、サハラで初の原爆実験
	5. 1	U-2型機撃墜事件（ソ連上空）
	5.24	チリ地震津波にともなう災害派遣
	7.19	池田内閣成立、江崎長官就任
	7.20	米国、SLBMボラリスの水中発射に成功
1961 (昭和36)	12. 8	第2次池田内閣発足、西枝長官就任
	12.20	南ベトナム民族解放戦線結成
	1.13	「陸上自衛隊の部隊改編」（13個師団への改編）国防会議決定、1.20閣議報告
	4.12	ソ連、有人宇宙船打上げ成功
	5.16	韓国で軍事クーデター、軍事政権成立
	7. 6	ソ・朝友好協力相互援助条約署名
	7.11	中・朝友好協力相互援助条約署名
	7.18	第2次池田改造内閣発足、藤枝長官就任
	7.18	「第2次防衛力整備計画」国防会議・閣議決定
	8.13	ベルリンの壁構築
	1. 1	サモア独立
1962 (昭和37)	7.18	第2次池田改造（第2次）内閣発足、志賀長官就任
	7.23	ジュネーブ国際会議、ラオス中立国際協定に署名
	8.15	陸上自衛隊、13個師団編成完了
	10.15	61式戦車、初納入
	10.20	中・印国境紛争（～11.22）
	10.24	米海軍、キューバ海上隔離（～11.20）
	10.28	フルシチョフ・ソ連首相、キューバのミサイル撤去言明
	11. 1	防衛施設庁発足
	11. 9	志賀長官、現職長官として初の訪米（～11.26）
	6.20	米・ソのホットライン協定署名
	7.18	第2次池田改造（第3次）内閣発足、福田長官就任
1963 (昭和38)	8. 5	米・英・ソ、部分的核実験禁止条約署名（10.10発効）
	8.14	日本、「部分的核実験禁止条約」署名
	9.16	マレーシア連邦成立
	12. 9	第3次池田内閣発足
	12.17	韓国民政接管、朴正熙韓国大統領就任
	6.15	「部分的核実験禁止条約」、日本について発効
	7.18	第3次池田改造内閣発足、小泉長官就任
	8. 2	トンキン湾事件
	10.16	中国、初の原爆実験に成功
	11. 9	佐藤内閣成立
	11.12	米原潜（シードラゴン）、初めてわが国に寄港（佐世保）
1964 (昭和39)	2. 7	米軍、北ベトナム爆撃開始
	2.10	国会、三矢研究に関する質疑
	6. 3	佐藤改造内閣発足、松野長官就任
	6.22	「日韓基本条約」署名
	9. 1	第2次印・パ紛争（～9.22）
	11.20	砕氷艦「ふじ」、初めて南極観測協力に出港（～66.4.8）
	5.16	中国、文化大革命開始
	7. 1	フランス、NATO軍事機構を脱退（09.4.4復帰）
	8. 1	佐藤改造（第2次）内閣発足、上林山長官就任
	10.27	中国、初の核ミサイル実験に成功
	11.29	「第3次防衛力整備計画の大綱」国防会議・閣議決定
1966 (昭和41)	12. 3	佐藤改造（第3次）内閣発足、増田長官就任
	1.27	宇宙天平体平和利用条約署名
	2.17	第2次佐藤内閣発足
	3.14	「第3次防衛力整備計画の主要項目」国防会議・閣議決定
	3.29	札幌地裁、恵庭事件判決
	6. 5	第3次中東戦争（～6.9）
	6.17	中国、初の水爆実験に成功
	7. 1	欧州共同体（EC）発足
	8. 8	東南アジア諸国連合（ASEAN）結成
	11.25	第2次佐藤改造内閣発足
	1.16	ウィルソン英首相、スエズ以東英軍の撤収を発表
1968 (昭和43)	1.19	米原子力空母（エンタープライズ号）初めてわが国に寄港（佐世保）

年	月日	主要事象
1952 (昭和27)	5.26	米・英・仏、対独平和取極署名
	5.27	欧州防衛共同体（EDC）条約署名
	7.21	「破壊活動防止法」公布・施行
	7.26	「日米施設区域協定」署名
	7.31	「保安庁法」公布
	8. 1	保安庁設置、吉田内閣総理大臣、保安庁長官を兼務、警備隊発足
	10.15	保安隊発足
	10.30	第4次吉田内閣発足、木村長官就任
	10.31	英国、初の原爆実験
	11. 1	米国、初の水爆実験
	11.12	「日米船舶賃借協定」署名
1953 (昭和28)	1. 1	在日米保安顧問団発足
	4. 1	保安大学校（後の防衛大学校）開校
	5.21	第5次吉田内閣発足
	7.27	朝鮮休戦協定署名
	8.12	ソ連、初の水爆実験
	9.27	吉田・重光会談
	10. 1	米・韓相互防衛条約署名
	10.30	池田・ロバートソン会談、自衛力漸増の共同声明
	12.25	奄美群島復帰
	1. 1	在日米保安顧問団発足
	1.21	世界最初の米原潜（ノーチラス号）進水
1954 (昭和29)	3. 1	米国、ビキニ水爆実験
	3. 8	第5福竜丸事件
	3. 8	MDA協定署名
	5.14	日米艦艇貸与協定署名
	6. 2	参議院、自衛隊の海外出動禁止決議
	6. 9	「防衛庁設置法・自衛隊法・MDA協定等に伴う秘密保護法」公布
	7. 1	防衛庁設置、陸・海・空自衛隊発足
	7.21	インドシナ休戦に関するジュネーブ協定署名
	9. 3	中国人民解放軍、金門・馬祖初砲撃
	9. 8	東南アジア集団防衛条約（SEATO）署名
	12. 2	米華相互防衛条約署名
1955 (昭和30)	12.10	鳩山内閣成立、大村長官就任
	3.19	第2次鳩山内閣発足、杉原長官就任
	4.18	アジア・アフリカ会談（バンドン）
	5. 5	西独、NATO正式加盟
	5. 6	米軍、北富士演習場で実射、反対闘争激化
	5. 8	砂川基地闘争発生
	5.14	ワルシャワ条約署名（WPO発足）
	7.31	砂田長官就任
	8. 6	第1回原水禁世界大会開催（広島）
	8.31	重光・ダレス会談、日米安保条約改定について共同声明
	11.14	「日米原子力協定」署名
1956 (昭和31)	11.22	第3次鳩山内閣発足、船田長官就任
	12.19	原子力基本法公布
	2. 9	衆議院原水爆実験禁止決議（2.10参議院）
	2.14	ソ連共産党第20回大会でスターリン批判がなされ、フルシチョフ平和共存路線を採択
	3.23	防衛庁、霞ヶ関庁舎へ移転
	4.17	ソ連、コミンフォルム解散を発表
	4.26	国産護衛艦1番艦「はるかぜ」竣工
	7. 2	「国防会議構成法」公布
	7.26	ナセル・エジプト大統領、スエズ運河の国有化を宣言
	9.20	F-86Fジェット戦闘機国内生産第1号機領収
	10.19	日・ソ国交回復に関する共同宣言
1957 (昭和32)	10.23	ハンガリー動乱
	10.29	第2次中東戦争（スエズ戦争）（～11.6）
	12.18	日本、国連に加盟
	12.23	石橋内閣成立、総理大臣、防衛庁長官を兼務
	1.31	岸臨時首相代理、防衛庁長官を兼務
	2. 2	小滝長官就任
	2.25	岸内閣成立
	3.15	参議院、原水爆禁止決議
	5.15	英国、初の水爆実験
	5.20	「国防の基本方針」国防会議・閣議決定
	6.14	「防衛力整備目標」（1次防）国防会議決定、閣議了解
1958 (昭和33)	6.21	岸・アイゼンハワー会談、在日米軍

年	月日	主要事象
1968 (昭和43)	1. 23	北朝鮮・米海軍の情報収集艦（ブエプロ号）をた捕
	1. 31	ナウル独立
	2. 26	「日米新原子力協定」署名
	5. 13	第1回ベトナムと平公式会談（パリ）
	6. 26	小笠原諸島復帰
	7. 1	核兵器不拡散条約署名
	8. 20	ソ連・東欧軍、チェコ・スロバキア侵入
	8. 24	仏、南太平洋で初の水爆実験
	11. 30	第2次佐藤改造（第2次）内閣発足、有田長官就任
1969 (昭和44)	1. 10	「F-4E 104機の国産」国防会議決定、閣議了解
	3. 2	珍宝島（ダマンスキー島）にて中・ソ武力衝突
	4. 15	北朝鮮、米大型偵察機（EC-121）を撃墜
	6. 10	南ベトナム臨時革命政府樹立宣言
	7. 25	ニクソン米大統領、グアム・ドクトリン（後のニクソン・ドクトリン）発表
	11. 21	佐藤・ニクソン共同声明（安保条約継続、72年沖縄返還）
1970 (昭和45)	1. 14	第3次佐藤内閣発足、中曽根長官就任
	1. 24	WPO（ワルシャワ条約機構）統合軍結成（7か国）
	2. 3	日本、「核兵器不拡散条約」署名
	2. 11	国産初の人工衛星打上げ成功
	3. 5	核兵器不拡散条約発効
	3. 31	「よど号」事件
	4. 16	米ソ、戦略兵器制限SALT I 本交渉開始
	4. 24	中国、初の人工衛星打上げ成功
	6. 4	トンガ独立
	6. 23	日米安保条約自動継続
	8. 12	西独・ソ連武力不行使条約に署名
	10. 10	フィジー独立
	10. 20	第1回防衛白書「日本の防衛」発表
	11. 25	三島由紀夫、陸自東部方面総監部（市ヶ谷）で割腹自殺
1971 (昭和46)	2. 11	海底軍事利用禁止条約署名
	6. 17	「沖縄返還協定」署名
	6. 29	沖縄防衛取極（久保・カーチス取極）署名
	7. 5	第3次佐藤改造内閣発足、増原長官就任
	7. 30	全日空機、自衛隊機と衝突（堺石）
	8. 2	西村長官就任
	8. 9	ソ連・インド平和友好協力条約署名
	9. 30	核戦争の危険を減少するための措置に関する米ソ間協定署名
	10. 25	国連総会、中国招請、台湾追放決議
	11. 24	衆議院非核決議
	11. 27	ASEAN会議、東南アジアの中立を宣言
	12. 3	第3次印・パ紛争
	12. 3	江崎長官就任
	12. 5	空自初の国産超音速航空機XT-2を納入
1972 (昭和47)	1. 7	佐藤・ニクソン共同声明、沖縄返還・基地縮小で合意
	2. 8	「第4次防衛力整備5か年計画の大綱」国防会議・閣議決定
	2. 27	ニクソン米大統領訪中、米・中共同声明発表
	4. 10	日本、「生物兵器禁止条約」署名
	4. 18	「自衛隊の沖縄配備」国防会議・閣議決定
	5. 15	沖縄返還
	5. 26	ニクソン米大統領訪中、SALT I 署名、ABM制限に関する協定署名
	7. 3	印・パ平和協定署名
	7. 4	韓国・北朝鮮自主平和統一の共同声明
	7. 7	田中内閣成立、増原長官就任
	9. 29	田中内閣総理大臣訪中、日中国交正常化
	10. 9	「4次防衛に際しての情勢判断及び防衛の構想」、「4次防の主要項目」、「文民統制強化の措置」国防会議・閣議決定
	12. 21	東西両独基本条約署名
	12. 22	第2次田中内閣発足
1973 (昭和48)	1. 23	第14回日米安保協議委員会、在日基地整理統合（関東計画）に合意
	1. 27	ベトナムと平和協定署名（1.28停戦）
	2. 1	防衛庁「平和時の防衛力」発表
	2. 21	ラオスと平和協定署名
	3. 29	米軍、ベトナム撤兵完了
	5. 29	山中長官就任
	6. 22	ブレジネフ・ソ連書記長訪米、核戦争防止協定署名
	7. 1	自衛隊の沖縄防空任務開始
	9. 7	札幌地裁、自衛隊違憲判決（長沼判決）
	9. 21	日本、北ベトナムと国交樹立
	10. 6	第4次中東戦争（～10.25）
	10. 8	日ソ首脳会談（モスクワ）
	10. 17	アラブ石油輸出国機構の10か国、石油の供給削減決定
	11. 7	パキスタン、SEATO から正式脱退
	11. 25	第2次田中改造内閣発足
1974 (昭和49)	1. 5	日中貿易協定署名
	1. 18	イスラエル・エジプト兵力離れ協定署名
	4. 20	日中航空協定署名
	4. 25	防衛医科大学校開校
	5. 18	インド、初の地下核実験
	7. 3	ニクソン米大統領訪ソ、地下核実験制限条約署名
	10. 8	佐藤栄作元内閣総理大臣、ノーベル平和賞受賞

年	月日	主要事象
1974 (昭和49)	11. 11	第2次田中改造（第2次）内閣発足、宇野長官就任
	11. 13	「日中海運協定」署名
	11. 15	駐韓国連軍、「トンネル事件」公表
	11. 23	フォード米大統領訪ソ、SALT II に関する共同声明
	12. 9	三木内閣成立、坂田長官就任
1975 (昭和50)	4. 1	昭和52年度以後の防衛力整備計画案の作成に関する長官指示（10.29、2次指示）
	4. 23	フォード米大統領、ベトナム戦争終結を宣言
	4. 30	南ベトナム政府、無条件降伏
	8. 1	欧州安全保障・協力会議（CSCE）、最終文書を採択（ヘルシンキ）
	9. 16	パプアニューギニア独立
	11. 17	第1回主要国首脳会議（ランブイエ、～11.17）、以降毎年開催
1976 (昭和51)	4. 5	中国北京市天安門広場で群集と警官隊が衝突（第1次天安門事件）
	6. 4	第2回防衛白書「日本の防衛」発表（以降毎年発表）
	6. 8	「核兵器不拡散条約」、日本について発効
	7. 2	ベトナム社会主義共和国（統一ベトナム）正式発足
	7. 8	防衛協力小委員会（SDC）設置
	8. 5	札幌高裁、長沼ナイキ訴訟判決
	8. 18	板门店米軍将校殺害事件
	9. 6	ミグ25、函館空港に強行着陸
	9. 15	三木改造内閣発足
	10. 29	「昭和52年度以降に係る防衛計画の大綱について」国防会議・閣議決定
1977 (昭和52)	11. 5	「当面の防衛力整備について」、「防衛力の整備内容のうち主要な事項の取扱いについて」国防会議・閣議決定
	12. 24	福田内閣成立、三原長官就任
	2. 17	水戸地裁、百里基地訴訟判決
	6. 30	SEATO 解体（条約は存続）
	7. 1	「海洋二法（200海里漁業水域法、領海12海里法）」施行
	8. 1	北朝鮮、日本海及び黄海に軍事境界線を設定
	8. 10	防衛庁、有事法制研究を開始
	11. 28	福田改造内閣発足、金丸長官就任
	12. 29	F-15、P-3C 導入国防会議・閣議決定
1978 (昭和53)	4. 12	中国漁船団、尖閣列島周辺領海を侵犯
	7. 7	ソロモン独立
	8. 12	「日中平和友好条約」署名（北京）
	9. 21	防衛庁、有事法制研究のあり方、目的などを公表
	10. 1	ツバル独立
	11. 3	ソ連・ベトナム友好協力条約署名
	11. 27	（空）初の日米共同訓練（三沢東方・秋田西方、～12.1）
	11. 27	78「日米防衛協力のための指針」を日米安保協議委員会です、11.28国防会議で審議のうえ、閣議で報告された承
	12. 5	ソ連・アフガニスタン友好善隣協力条約署名
	12. 7	大平内閣成立、山下長官就任
1979 (昭和54)	12. 25	ベトナム軍、カンボジアに侵入（89.9.26完全撤退）
	1. 1	米中国交正常化、米、米華相互防衛条約の1年後廃棄の通告
	1. 7	ブノンペン陥落、「ヘン・サムリン政権」樹立発表
	1. 11	E-2C 導入国防会議・閣議決定
	2. 11	イラン・イスラム革命
	2. 17	中越紛争（～3.5）
	3. 26	エジプト・イスラエル平和条約署名
	6. 18	SALT II 署名
	7. 12	ギリバス独立
	7. 17	「中期業務見直しについて（昭和55年度～昭和59年度）」発表
1980 (昭和55)	7. 25	山下長官、現職長官として初の訪韓（～7.26）
	11. 9	第2次大平内閣発足、久保田長官就任
	12. 27	ソ連、アフガニスタン侵攻
	2. 4	細田長官就任
	2. 26	海上自衛隊、リムパックに初参加（～3.18）
	4. 11	中ソ友好同盟及び相互援助条約失効
	5. 18	中国、初めて南太平洋へ向けてのICBM 実験
	7. 17	に関する特別委員会設置
	7. 17	鈴木内閣成立、大村長官就任
	7. 30	バヌアツ独立
1981 (昭和56)	8. 18	要撃機のミサイル搭載を開始
	8. 19	護衛艦などへの実装魚雷の搭載を発表
	8. 21	ソ連原潜、沖縄本島沖で事故
	9. 3	第1回日米装備・技術定期協議（ワシントン、～9.4）
	9. 22	イラン・イラク両国、本格的交戦状態に入る。
1982 (昭和57)	1. 6	「北方領土の日」を2月7日に決定（閣議了解）
	4. 22	防衛庁、「有事法制の研究について」で研究対象となる法令の区分などを公表
	7. 7	東京高裁、百里基地訴訟判決
	7. 13	東京地裁八王子支部、横田基地騒音訴訟（第1次・2次）判決
1983 (昭和58)	1. 1	米、新統合軍（中央軍）を創設
	1. 14	政府、対米武器技術供与の途を開くことを決定（官房長官談話）
	3. 23	レーガン米大統領、戦略防衛構想（SDI）発表
	6. 12	谷川長官、防衛庁長官として初の北方領土視察
	9. 1	大韓航空機、樺太上空付近でソ連機に撃墜される。
	10. 9	ビルマで北朝鮮のテロ行為により韓国閣僚ら19人死亡
	10. 25	米、カリブ海6か国の軍隊とともにグレナダに派兵
	11. 8	「日本国とアメリカ合衆国との間の相互防衛援助協定に基づくアメリカ合衆国に対する武器技術の供与に関する交換公文」署名（空）初の日米共同指揮所訓練（府中、～12.15）
	12. 12	第2次中曽根内閣発足、栗原長官就任
	12. 27	第2次中曽根内閣発足、栗原長官就任
1984 (昭和59)	1. 1	英領ブルネイ独立（1.7ASEAN加盟）
	6. 11	（海）初の日米共同指揮所訓練（横須賀、～6.15）
	10. 16	防衛庁、「有事法制の研究について」で今後の研究の進め方などを公表
	11. 1	第2次中曽根改造内閣発足、加藤長官就任
1985 (昭和60)	3. 12	米ソ軍備管理交渉開始
	4. 2	米空軍戦闘機F-16三沢に配備開始
	6. 4	中国、解放軍の100万人削減を発表
	8. 12	日航機墜落事故、災害派遣実施
	9. 18	「中期防衛力整備計画」国防会議・閣議決定、ベトリオットの導入国防会議決定・閣議了解
	12. 27	対米武器技術供与実施細目取極締結
	12. 28	第2次中曽根改造（第2次）内閣発足
1986 (昭和61)	2. 24	初の日米共同統合演習（指揮所演習）（檜町・在日米軍司令部など、～2.28）
	4. 9	東京高裁、厚木基地騒音訴訟（第1次）判決
	4. 26	ソ連、チェルノブイリ原子力発電所事故発生
	7. 1	「安全保障会議設置法」施行
	7. 22	第3次中曽根内閣発足、栗原長官就任
	8. 10	米豪安保協議（サンフランシスコ、～8.11）、米国はニュージーランドに対するANZUS 条約上の義務の履行停止を発表
	8. 15	日・米・ソ、ホットライン運用開始
	9. 5	対米武器技術供与第1号政府決定
	9. 22	欧州軍縮会議（CDE）、最終文書を採択（ストックホルム）
	10. 15	ソ連、アフガニスタン駐留ソ連軍の一部撤退を発表
1987 (昭和62)	10. 21	マーシャル独立
	10. 27	初の日米共同統合演習（実動演習）（本州東方・南方など、～10.31）
	11. 3	ミクロネシア独立
	1. 24	「今後の防衛力整備について」安全保障会議・閣議決定
	1. 30	「在日米軍駐留経費負担にかかる特別協定」署名（6.1発効）
	5. 27	警視庁、東芝機械社員2名を戦略物資輸出調整委員会（ココム）規制違反不正輸出事件で外為法違反で逮捕
	5. 29	栗原長官、現職長官として初の訪中（～6.4）
	7. 15	東京高裁、横田基地騒音訴訟（第1次・2次）判決
	7. 20	国連安保理、イラン・イラク紛争停戦決議（598号）採択
	8. 26	「国際緊急援助隊派遣法」成立
1988 (昭和63)	10. 6	第1回日米ココム協議（東京、～10.7）
	10. 21	F-1の後継機に関する検討結果を決定、公表
	11. 6	竹下内閣成立、瓦長官就任
	11. 29	大韓航空機、ペンガル湾上空を飛行中に北朝鮮のテロ行為により爆破
	12. 8	INF条約署名

年	月日	主要事象
1987 (昭和62)	12. 18	「洋上防空体制の在り方に関する検討」安全保障会議了承
1988 (昭和63)	3. 2	「在日米軍駐留経費負担にかかる特別協定の改正議定書」署名（6.1発効）
	3. 14	中国・ベトナム、南沙群島周辺海域で武力衝突
	4. 12	「日米相互防衛援助協定に基づく日本国に対する一定の防衛分野における技術上の知識の供与に関する交換公文」署名
	5. 29	米ソ首脳会談（モスクワ、～6.1、INF条約批准書交換）
	6. 1	最高裁、自衛官合祀訴訟判決
	7. 23	潜水艦・遊漁船衝突事故（横須賀沖）
	8. 17	米ソ、初の地下核実験共同検証実施（ネバダ）
	8. 20	イラン・イラク紛争、停戦成立
	8. 24	田澤長官就任
	9. 20	国産のT-4中等練習機初納入
	10. 17	米比軍事基地協定見直し交渉合意文書署名
	11. 29	FS-X共同開発に関する日米政府間の交換公文及び細目取極署名
	12. 7	ゴルバチョフ・ソ連書記長、国連で50万人兵力削減などに関する演説
	12. 27	竹下改造内閣発足
1989 (昭和64)	1. 7	昭和天皇崩御
1989 (平成元)	2. 15	ソ連軍、アフガニスタンから撤退完了
	2. 24	大喪の礼
	3. 9	欧州通常戦力交渉（CFE）開始（ウィーン）
	3. 9	信頼醸成措置（CSBM）開始（ウィーン）
	3. 15	東京地裁八王子支部、横田基地騒音訴訟（第3次）判決
	3. 30	新BADGEシステム運用開始
	4. 1	消費税法施行
	5. 10	米ソ外相会談、START I再開で合意成立（モスクワ、～5.11）
	6. 3	宇野内閣成立、山崎長官就任
	6. 4	中国戒厳部隊、北京市天安門前広場などの群衆に対し発砲（第2次天安門事件）
	6. 20	最高裁、百里基地訴訟判決
	6. 22	横浜地裁、厚木基地土地明渡等訴訟判決
	6. 24	趙紫陽中国共産党総書記解任、江沢民総書記就任
	8. 10	海部内閣成立、松本長官就任
	9. 26	ベトナム、カンボジアから完全撤退
	11. 9	東独、西側への自由出国許可（ベルリンの壁の実質的崩壊）
1990 (平成2)	2. 13	米ソ外相、中欧駐留米ソ兵力の上限を19万5千人に、全欧州における米兵力を22万5千人とすることで合意
	2. 20	武器技術共同委員会「FS-X関連武器技術」対米供与決定
	2. 28	第2次海部内閣発足、石川長官就任
	3. 3	日米首脳会談（海部・G・H・Wブッシュ、バームスプリングス、～3.4）
	5. 29	那覇地裁、駐留軍用地特措法にかかる行政処分取消訴訟判決
	6. 19	日米合同委員会で、沖縄の米軍施設（23事案）につき、返還に向けて日米双方で所要の調整手続を進めることを確認
	6. 21	安全保障関係閣僚会議の設置について日米で原則同意
	8. 2	イラク軍、クウェートに侵攻
	8. 2	G・H・Wブッシュ米国大統領、アスペン演説
	10. 3	ドイツ統一
	10. 16	「国連平和協力法案」提出
	10. 24	ソ連、北極圏で地下核実験を実施
	11. 10	「国連平和協力法案」廃案
	11. 12	即位の礼
	11. 23	大嘗祭
	12. 20	「中期防衛力整備計画（平成3年度～平成7年度）」について安全保障会議・閣議決定
	12. 29	第2次海部改造内閣発足、池田長官就任
1991 (平成3)	1. 17	「湾岸危機対策本部設置」閣議決定
	1. 17	多国籍軍によるイラク及びクウェートへの空爆開始、「砂漠の嵐」作戦開始
	1. 24	政府・湾岸地域の平和回復活動に対し90億ドル追加支援を決定
	1. 25	「湾岸危機に伴う避難民の輸送に関する暫定措置に関する政令」閣議決定（129公布施行、4.19廃止）
	3. 13	金沢地裁、小松基地騒音訴訟（第1・2次）判決
	3. 31	WPO（ワルシャワ条約機構軍事機構）解体
	4. 11	湾岸戦争の正式停戦発効
	4. 24	「ヘルンシャ湾への掃海艇等の派遣について」安全保障会議・閣議決定
	4. 26	掃海艇など計6隻、ヘルンシャ湾へ出港
	6. 3	雲仙普賢岳噴火にともなう災害派遣
	7. 31	米ソ首脳、START I（モスクワ）
	9. 6	ソ連国家評議会、バルト3国独立を承認
	9. 17	国連総会、南北朝鮮、バルト3国など7か国の国連加盟を承認
	10. 9	国連のイラク化学兵器調査団に初の自衛官参加
	11. 5	衆議院安全保障委員会設置
	11. 5	宮澤内閣成立、宮下長官就任

年	月日	主要事象
1991 (平成3)	11. 26	クラーク米空軍基地、フィリピンへ正式返還
	12. 5	ウクライナ共和国最高会議、ウクライナ独立を宣言
	12. 8	ロシア、ベラルーシ、ウクライナ3共和国首脳会談、「独立国家共同体（CIS）協定」に署名（プレスト、ベラルーシ）
1992 (平成4)	2. 7	EC加盟12か国、欧州連合条約（マーストリヒト条約）調印
	2. 25	中国、尖閣諸島を中国領と明記した「領海及び接続水域法」を公布・発効
	4. 1	政府専用機（B-747）防衛庁所属替
	4. 1	防大に初の女子学生入校
	4. 27	東京地裁、厚木基地土地明渡等訴訟判決
	5. 22	北朝鮮兵、韓国側非武装地帯（DMZ）に侵入、銃撃戦
	5. 23	米国とロシアなど旧ソ連4か国、START I 議定書に署名
	5. 25	北朝鮮で初のIAEA特定査察実施（～6.5）
	6. 19	「国際平和協力法」公布（8.10施行）、「国際緊急援助隊法改正」公布（6.29施行）
	8. 10	「国際平和協力法」施行
	8. 24	中韓両国、国交樹立
	9. 8	「カンボジア国際平和協力業務実施計画」閣議決定
	9. 17	カンボジア派遣施設大隊出国（～93.9.26帰国完了）
	9. 19	カンボジア停戦監視要員出国（～93.3.21帰国完了）
	9. 30	米国、フィリピンスービック海軍基地返還
	11. 9	CFE条約正式発効
	11. 24	米国、フィリピンキュービーポイント飛行場返還（フィリピンからの撤退完了）
	12. 3	国連安保理、ソマリアでの多国籍軍による武力行使を容認する決議採択
	12. 12	宮澤改造内閣発足、中山長官就任
	12. 16	国連安保理、モザンビークに平和維持活動を展開する決議採択
	12. 18	「中期防衛力整備計画（平成3年度～平成7年度）」の修正について安全保障会議・閣議決定
	12. 21	横浜地裁、厚木基地騒音訴訟（第2次）判決
1993 (平成5)	1. 3	米露首脳会談（モスクワ）・第2次戦略兵器削減条約（START II）署名
	1. 13	化学兵器禁止条約に日本署名
	2. 25	最高裁、厚木基地騒音訴訟（第1次）判決、横田基地騒音訴訟（第1次・2次）判決
	3. 12	北朝鮮、NPT脱退を宣言
	3. 25	イージス艦「こんごう」就役
	4. 8	カンボジアで、国連ボランティア（UNV）中田厚仁氏殉職
	4. 27	「モザンビーク国際平和協力業務実施計画」閣議決定
	5. 4	ソマリアに展開中の多国籍軍、第2次ソマリア国連活動（UNOSOM II）に任務移り
	5. 4	カンボジアで、文民警察要員高田晴行警視が殉職
	5. 11	モザンビーク派遣輸送調整中隊出国（～95.1.8帰国完了）
	5. 14	国連モザンビーク活動司令部要員出国（～94.5.29帰国完了）
	5. 29	北朝鮮、弾道ミサイル（可能性）を発射
	6. 1	政府専用機（B-747）の本格運航にともない、特別航空輸送隊を新編
	6. 9	皇太子徳仁親王殿下結婚の儀
	6. 11	米朝協議第1ラウンド共同声明で、北朝鮮はNPT脱退を留保
	7. 12	北海道南西沖地震災害に対する災害派遣（～8.12）
	8. 4	ルワンダ内戦で、和平協定署名
	8. 9	細川内閣成立、中西長官就任
	9. 1	米国防省「ボトムアップ・レビュー」発表
	9. 13	イスラエル・PLO、「暫定自治原則宣言」署名
	9. 23	国連安保理、国連ハイチ・ミッション（UNMIH）を設置する決議採択
	10. 13	「日露海上事故防止協定」署名
	11. 1	マーストリヒト条約発効・EU発足
	12. 2	愛知長官就任
1994 (平成6)	2. 24	那覇地裁沖縄支部、嘉手納基地騒音訴訟（第1・2次・3次）判決
	3. 23	海自に初の女子航空学生入隊
	3. 24	空自に初の女子航空学生入隊
	3. 30	東京高裁、横田基地騒音訴訟（第3次）判決
	4. 28	羽田内閣成立、神田長官就任
	6. 8	米国防省、核兵器など大量破壊兵器に関する「拡散防止活動計画報告書」提出
	6. 30	村山内閣成立、玉澤長官就任
	9. 13	「ルワンダ難民救援国際平和協力業務実施計画」閣議決定
	9. 17	ルワンダ難民救援空輸派遣隊出国（～12.28帰国完了）
	9. 21	ルワンダ難民救援隊出国（～12.25帰国完了）
	9. 22	米国防省「核態勢見直し」発表
	10. 1	バラオ独立

年	月日	主要事象
1994 (平成6)	10. 21	米朝協議で北朝鮮の軽水炉支援、代替エネルギーの供与などを内容とする「枠組文書」に米朝署名
	12. 1	第1回アジア太平洋安全保障セミナー（防衛研究所主催、～12.17）
	12. 1	米韓連合軍司令官、平時の作戦統制権を韓国軍に委譲
	12. 5	START I 発効
	12. 18	ロシア、対チェチェン軍事作戦開始
	12. 20	初の韓国海軍練習艦隊訪日（靖海、～12.23）
	12. 26	名古屋高裁金沢支部、小松基地騒音訴訟（第1次・2次）判決
1995 (平成7)	1. 17	阪神・淡路大震災にともなう災害派遣（～4.27）
	3. 9	朝鮮半島エネルギー開発機構（KEDO）発足
	3. 20	地下鉄サリン事件にともなう災害派遣（～3.23）
	5. 11	NPT無期限延長を採択
	5. 19	「沖縄県における駐留軍用地の返還に伴う特別措置に関する法律」成立（6.20施行）
	6. 5	自衛隊機と韓国軍機との間の偶発事故の防止についての書簡を日韓防衛当局間で相互に発出
	7. 28	ベトナム、ASEANに正式加盟
	8. 1	第1回KEDO総会（日米韓）開催（ニューヨーク）
	8. 8	村山改造内閣発足、衛藤長官就任
	9. 4	沖縄駐留3兵米による女子児童暴行事件
	9. 15	化学兵器禁止条約批准
	10. 27	「国際機関等に派遣される防衛庁の職員の処遇等に関する法律」公布（96.1.1施行）
	11. 17	「沖縄米軍基地問題協議会の設置について」閣議決定
	11. 19	村山内閣総理大臣・ゴア米国副大統領会談（沖縄における施設及び区域に関する特別行動委員会（SACO）設置につき合意）
	11. 28	「平成8年度以降に係る防衛計画の大綱について」安全保障会議・閣議決定
	12. 14	「中期防衛力整備計画（平成8年度～平成12年度）」について安全保障会議決定（12.15閣議決定）
	12. 14	「次期支援戦闘機の整備について」安全保障会議決定（12.15閣議了解）
	12. 14	次期支援戦闘機の型式「F-2」と決定
	12. 14	ボスニア和平協定がバリで正式調印
	12. 15	「コラン高原国際平和協力業務実施計画」閣議決定
	12. 20	NATO主体のIFOR、国連保護隊に代わり正式活動開始
	12. 26	東京高裁、厚木基地騒音訴訟（第1次）差戻控訴審判決
1996 (平成8)	1. 11	橋本内閣成立、日井長官就任
	1. 26	米上院、START II 批准
	2. 1	国連兵力引き離し監視隊（UNDOF）へ司令部要員及び輸送部隊派遣開始（～13.1.19帰国完了）
	3. 8	中国、3.8～3.25で計3回台湾近海においてミサイル発射訓練、海・空軍の実弾演習、陸海空統合演習実施
	3. 23	台湾、初の総統直接選挙、李登輝総統再選
	4. 15	日米物品役務相互提供協定及び手続取極署名（10.22発効）
	4. 16	「沖縄県における米軍の施設・区域に関連する問題の解決促進について」閣議決定
	4. 17	日米安全保障共同宣言
	7. 12	ワッセナー・アレンジメント設立総会（ウィーン）
	7. 20	国連海洋法条約、日本について発効
	7. 26	海自艦艇初の訪露（ウラジオストク、～7.30、ロシア海軍300周年記念観艦式）
	7. 29	中国、地下核実験実施（45回目）同日、核実験モラトリアム（一時休止）の実施発表
	8. 28	海自艦艇初の訪韓（釜山、～9.6）
	8. 28	最高裁、駐留軍用地特措法による代理署名についての職務執行命令訴訟判決
	9. 10	国連総会、包括的核実験禁止条約（CTBT）採択
	9. 18	北朝鮮の小型潜水艦、韓国東海岸で座礁、乗員韓国領土侵入（～11.7掃討作戦完了）
	9. 26	香港抗議船（保釣号）など、尖閣諸島周辺領海に侵入
	9. 27	タリバーン、アフガニスタンの首都カブールを制圧、暫定政権を宣言
	10. 3	ロシア・チェチェン、停戦合意
	11. 7	第2次橋本内閣発足、久間長官就任
	11. 18	NATO、ボスニア駐留IFOR後継部隊（SFOR）の派遣で基本合意
	12. 24	「わが国の領海及び内水で潜没航行する外国潜水艦への対処について」安全保障会議・閣議決定
1997 (平成9)	1. 2	ロシア船ナホトカ号海難・重油流出災害にかかる災害派遣（～3.31）
	1. 20	情報本部の新設
	4. 29	化学兵器禁止条約発効
	5. 12	ロシア・チェチェン「平和条約」署名

年	月日	主要事象	年	月日	主要事象	年	月日	主要事象
1997 (平成9)	6. 9	化学兵器禁止機関（OPCW）へ自衛官を派遣（査察局長）（～02.6）	2000 (平成12)	5. 8	防衛庁、市ヶ谷庁舎へ移転	2002 (平成14)	10.31	福岡高裁那覇支部、楚辺通信所にかかる土地明渡訴訟判決
	7. 1	香港、中国へ返還		6.16	原子力災害特別措置法（原子力災害派遣の創設）施行		11. 1	秘密保全のための罰則強化（防衛秘密）導入
	7. 3	在沖米海兵隊実弾演習初の本土移転射撃（北富士、～7.9）		7. 4	第2次森内閣発足、虎島長官就任		11.14	KEDO理事会、12月からの北朝鮮への重油提供の凍結決定
	7.16	北朝鮮兵士、軍事境界線（MDL）越境、韓国軍と銃砲撃戦		7.21	九州・沖縄サミット首脳会合（～7.23）		11.18	初の北海道における自衛隊と警察の共同図上訓練
	9.11	第2次橋本改造内閣発足		9.13	中国遺棄化学兵器の発掘・回収事業への初の自衛官派遣		11.21	NATOブラハ首脳会談、中東欧7か国の新規加盟決定
	9.23	97「日米防衛協力のための指針」を日米安全保障協議委員会で作承		11.20	共産党第22回党大会において「自衛隊の容認」決定		12. 2	国連PKO局に初の自衛官派遣
	11.10	中露首脳会談、中露共同声明に署名（北京）、中露東部国境の画定を宣言		12. 5	第2次森改造内閣発足、斉藤長官就任		12.12	北朝鮮、核関連施設の再移動と建設再開を発表
	12. 3	行政改革会議最終報告		12.15	「中期防衛力整備計画（平成13年度～17年度）について」安全保障会議・閣議決定		12.16	テロ対策特措法に基づく実施要領の変更（12.5）を受け、イージス艦「きりしま」横須賀出港
	12.19	「中期防衛力整備計画（平成8年度～平成12年度）の見直しについて」安全保障会議・閣議決定	2001 (平成13)	2. 5	1.26のインド西部での大地震に対し、インドにおける国際緊急援助活動に自衛隊部隊を派遣（～2.11）	2003 (平成15)	1.10	北朝鮮、NPT脱退宣言
	3.26	即応予備自衛官制度導入		2. 9	UNMOVICに要員派遣（～05.3）		1.24	米国土安全保障省発足
1998 (平成10)	4.28	日米物品役務相互提供協定を改正する協定の署名		2.10	えひめ丸米潜水艦衝突事故		2. 8	対人地雷の廃棄完了（例外保有を除く）
	5.11	インド地下核実験（5.13にも実施）		3. 1	「船舶検査活動法」施行		3.20	米英軍など、対イラク軍事行動開始
	5.22	福岡高裁那覇支部、嘉手納基地騒音訴訟（第1次・2次・3次）判決		3. 7	在日ロシア大使館付武官に秘密文書を漏洩した元海上自衛官に実刑判決		3.27	「防衛庁設置法など一部改正法」（自衛官の定数及び即応予備自衛官の員数変更）施行
	5.28	パキスタン地下核実験（5.30にも実施）		4. 1	「情報公開法」施行		3.28	「イラク難民救援国際平和協力業務実施計画」閣議決定
	6. 6	国連安保理、印パ核実験非難決議採択		4. 1	米中軍用機接近事故		3.30	イラク難民救援空輸隊出国（～4.2帰国完了）
	6.12	「中央省庁等改革基本法」公布・施行		4.26	小泉内閣成立、中谷長官就任	2004 (平成16)	5. 1	G・W・ブッシュ米国大統領、イラク及びアフガニスタンにおける主要な戦闘の終結宣言
	6.12	「国連平和維持活動等に対する協力に関する法律の一部を改正する法律」公布、施行（武器使用にかかる部分は7.12施行）		6.15	「上海協力機構」創設		5.13	東京地裁八王子支部、横田基地騒音訴訟（第4次・8次）判決
	6.22	北朝鮮潜水艦、韓国東岸に侵入、韓国軍がこれを拿捕		8. 8	「えひめ丸」引揚げ協力のための潜水艦救難艦「ちはや」に関する災害派遣（12.16帰港）		5.31	G・W・ブッシュ米国大統領、拡散に対する安全保障構想（PSI）初提唱
	7.27	中国、初の総合的な国防白書「中国の国防」発表		9.11	米国同時多発テロ		6. 1	米露首脳会談、米露戦略攻撃能力削減条約発効
	7.29	海・空自とロシア海軍との捜索救難共同訓練（初の本格的日露共同訓練）		9.12	米国同時多発テロに対し、国連安保理非難決議		6. 6	「武力攻撃事態対処関連3法」、参議院本会議で可決成立
	7.30	小淵内閣成立、額賀長官就任		10. 2	NATO、米国同時多発テロに対し、北大西洋条約第5条（集団防衛条項）の適用決定		7. 4	「イラク被災民救援国際平和協力業務計画」閣議決定
	8.31	北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射（わが国上空を通過）		10. 5	「アフガニスタン難民救援国際平和協力業務実施計画」閣議決定		7.10	イラク被災民救援空輸隊出国（～8.18帰国完了）
	9. 1	日朝交渉当面凍結		10. 6	アフガニスタン難民救援空輸隊出国（～10.12帰国完了）		7.26	「イラク人道復興支援特措法」、参議院本会議で可決成立
	9. 2	北朝鮮に追加制裁（チャーター便不可）		10. 7	米英軍、アフガニスタン攻撃開始（10.19、米軍、特殊部隊投入、初の地上戦）		8.27	第1回六ヶ会合（北京、～8.29）
	9.30	「対人地雷禁止条約」締結		10. 8	政府、緊急テロ対策本部設置、第1回会議において「緊急対応措置」決定		9.12	PSI初の合同演習、臺北東サング海で実施（～9.14）
1999 (平成11)	10.21	KEDO署名		10.29	「テロ対策特措法」など、参議院本会議で可決成立		9.22	小泉改造（第2次）内閣発足
	11.14	初の国際緊急援助活動のため、陸自のホンジュラス派遣部隊出発（現地活動11.18～12.1、12.5帰国）		11. 2	「テロ対策特措法」「自衛隊法の一部を改正する法律」公布・施行（秘密保全のための罰則強化は02.11.1施行）		9.30	「危険業務従事者叙勲」新設を閣議決定（03.11. 元自衛官に初の危険業務従事者叙勲）
	11.15	硫黄島にて3自衛隊初の統合演習（2,400人規模）		11.25	テロ対策特措法に基づく、海自の補給艦、掃海母艦、護衛艦が協力支援活動など実施のため出港	2004 (平成16)	10. 7	日中韓首脳会談による初の共同宣言に署名
	11.20	野呂田長官就任		11.27	朝鮮半島非武装地帯（DMZ）において銃撃事件		10.10	テロ対策特措法の効力を2年延長
	12.17	米英両軍、イラクに対しUNSCOM査察協力拒否への制裁措置として「砂漠の狐作戦」開始（～12.20）		12. 5	米露、START I の履行を完了		10.15	中国、初の有人宇宙船「神舟5号」打ち上げ
	12.22	情報収集衛星の導入について閣議決定		12.20	国連安保理、国際治安支援部隊（ISAF）を設立する決議採択		11.19	第2次小泉内閣発足
	12.22	安波訓練場返還（SACO事業では初）		12.22	アフガニスタン暫定統治機構発足、ハミド・カルザイ氏が議長就任		11.29	イラク中部で大使と井ノ上書記官が銃撃され死亡
	12.25	「弾道ミサイル防衛にかかる日米共同技術研究について」安全保障会議了承		12.29	ロシア、キューバ基地より撤兵完了		12.18	イランがIAEA追加議定書に調印
	1.14	小淵改造内閣発足	2002 (平成14)	1.29	G・W・ブッシュ米国大統領、一般教書演説「悪の枢軸」発言		12.19	リビア、大量破壊兵器計画の廃棄表明
	3.23	能登半島沖不審船事案（3.24海上警備行動発令）		2.15	「東ティモール国際平和協力業務実施計画」閣議決定		12.19	弾道ミサイル防衛システムの導入、政府決定（安全保障会議、閣議決定）
	3.29	陸自、初の旅団を創設		2.21	東ティモール司令部要員出国（～04.6.27帰国完了）		12.30	イラン大地震に際し、国際緊急援助法に基づく援助物資の空輸（04.1.1～1.2）
	4. 1	情報収集衛星推進委員会設置（内閣）		3. 2	東ティモール派遣施設群出国（～04.6.25帰国完了）		1.22	空自派遣輸空隊本隊、クウェートへ出発
	5.24	「日米物品役務相互提供協定」を改正する協定（周辺事態へ対応する活動に関する協力の追加）国会承認（9.25発効）		3. 6	金沢地裁、小松基地騒音訴訟（第3次・4次）判決		2. 3	第1次イラク復興支援群出発
	5.28	「周辺事態安全確保法」公布（8.25施行）、「自衛隊法の一部を改正する法律」公布・施行		3.27	予備自衛官補制度導入		2. 9	イラクに関する対応措置実施、国会承認
	6.15	北方限界線を越境した北朝鮮警備艇と韓国側警備艇との間で銃撃事件		4.22	第2回西太平洋潜水艦救難訓練（わが国が主催した初の多国間共同訓練、～5.2）		2. 9	海自派遣海上輸送部隊、クウェートへ出発（～4.8帰国）
	7.23	東京高裁、厚木基地騒音訴訟（第2次）判決		5. 4	ロシア、カムラン湾軍事基地のベトナム返還完了		3. 4	鳥インフルエンザにかかるとの災害派遣（京都府丹波町、～3.11）
	8. 5	海自と韓国海軍との初の捜索救難共同訓練（九州西方海域）		5.20	東ティモール民主共和国独立、UNTAETからUNMISETへ移行		3.26	弾道ミサイル防衛システムの導入、国会で決定（平成16年度予算案参院本会議で可決成立）
	8.25	「周辺事態安全確保法」施行		5.24	米露戦略攻撃能力削減条約調印		4.15	初の在外邦人等輸送として、イラクからクウェートへ邦人10名を輸送
2000 (平成12)	9. 2	北朝鮮、黄海での北方限界線の無効と新たな海上軍事分界線の設定を宣言		5.30	東京地裁八王子支部、横田基地騒音訴訟（第5次・6次・7次）判決		4.15	防衛庁・自衛隊50周年記念式典
	9.23	トルコ共和国における国際緊急救助活動に必要な物資の輸送を実施するため自衛隊を派遣（～11.22）		6.13	米国、ABM条約から脱退		4.28	国連安保理、大量破壊兵器の不拡散決議1540を全会一致で採択
	9.29	ロシア軍部隊、チェチェン共和国進攻		6.29	北方限界線を越境した北朝鮮警備艇と韓国側警備艇との間で銃撃戦		5.22	日朝首脳会談（平壤）。拉致被害者の家族5人帰国
	9.30	東海村ウラン加工施設における事故にかかる災害派遣（～10.3）		7.16	米国政府「国土安全保障のための国家戦略」発表		6. 1	国連安保理、イラク復興に関する決議1546を全会一致で採択
	10. 5	第2次小淵内閣発足、瓦長官就任		9. 4	日本海中部事案（不審船の疑いのある船舶への対応）		6.14	「事態対処法関連7法」、参議院本会議で可決成立及び3条約の締結承認
	11.19	「東ティモール避難民救援国際平和協力業務実施計画」閣議決定		9.17	日朝首脳会談、金総書記が拉致認め謝罪		6.14	特定船舶入港禁止特措法成立
	11.22	東ティモール避難民救援空輸隊出国（～00.2.8帰国完了）		9.20	米政府、「国家安全保障戦略」発表		6.18	イラク主権回復後の自衛隊の人道復興支援活動について閣議了解（多国籍軍への参加）
	12.17	国連安保理、イラク問題に関する包括的決議案を採択、UNSCOMに代えてUNMOVIC設置		9.30	小泉改造内閣発足、石破長官就任		6.28	イラク暫定政府に統治権限移譲
	12.20	マカオ、中国に返還		10. 1	化学兵器禁止機関（OPCW）要員派遣（運用・計画部長）（～07.6）		8.13	沖縄県宜野湾市の大学構内に米軍ヘリ墜落
	12.27	海上保安庁との間で「不審船にかかる共同対処マニュアル」策定		10.13	わが国で初の国際観艦式開催（東京湾）		9.27	第2次小泉改造内閣発足、大野長官就任
2000 (平成12)	1.17	対人地雷廃棄開始	2000 (平成12)	10.15	拉致被害者5人が帰国	2004 (平成16)	10.25	初のわが国主催のPSI海上阻止訓練（相模湾沖合及び横須賀港内、～10.27）
	2.16	参議院の憲法調査会初会合（2.17、衆議院）		10.16	米政府、北朝鮮がケリー国務次官補訪朝時、核兵器用ウラン濃縮計画を認めたとの声明を発表			
	4. 1	「自衛隊員倫理法」施行		10.16	横浜地裁、厚木基地騒音訴訟（第3次・4次・5次）判決			
	4. 5	森内閣成立						
	4.14	ロシア下院、START II 批准						
	5. 7	ブーチン・ロシア大統領代行、正式に大統領就任						
	5. 7							

年	月日	主要事象	年	月日	主要事象	年	月日	主要事象
2004 (平成16)	11.10	中国原子力潜水艦によるわが国領海内の潜水航行事案。海上警備行動発令（～11.12）	2006 (平成18)	7.31	防衛庁設置法等の一部改正法の一部（施設行政にかかる内部組織の機能強化、装備本部の新設、地方連絡部の地方協力本部への改編など）施行	2008 (平成20)	7.17	東京高裁、横田基地騒音訴訟（第4次・8次）判決
	11.16	中国外交部副部長、原子力潜水艦による領海内の潜水航行事案に関し、遺憾の意を表明		8.16	日本漁船がロシア警備艇に銃撃され1人が死亡。政府、ロシアに厳重抗議		8. 2	福田改造内閣発足、林防衛大臣就任
	12.10	「平成17年度以降に係る防衛計画の大綱について」及び「中期防衛力整備計画（平成17年度～平成21年度）について」安全保障会議、閣議決定		8.29	米海軍、横須賀海軍施設にSM-3を搭載したイージス艦を展開		8. 8	グルジア軍と南オセチア軍との軍事衝突にロシア軍が介入
	12.28	インドネシア・スマトラ島沖大規模地震及びインド洋津波被害に際して、国際緊急援助活動を実施するため、タイ・ブーケット島沖へ海自艦艇を派遣（～05.1.1）		9.26	安倍内閣成立、久間長官就任		8.10	中国、新疆ウイグル自治区で武装グループが公安施設などを襲撃
2005 (平成17)	1. 4	2004.12.26に発生したインドネシア・スマトラ島沖大規模震災及びインド洋津波被害に際し、国際緊急援助隊活動のため自衛隊部隊を派遣（～3.23帰国完了）	2007 (平成19)	1. 9	防衛庁設置法等の一部改正法（防衛庁の防衛省への移行、国際平和協力活動などの本来任務化など）施行	2009 (平成21)	8.29	海自次期固定翼哨戒機XP-1試作1号機受領
	1.19	政府、領水内潜没潜水艦に関する対処方針を新たに策定		1. 9	久間防衛大臣就任		9.24	麻生内閣成立、浜田防衛大臣就任
	2.10	北朝鮮外務省「核兵器製造」などを内容とする声明発表（5.11、8,000本の使用済み核燃料棒取出し発表）		1.12	中国、衛星破壊実験実施		9.25	米原子力空母「ジョージ・ワシントン」横須賀初入港
	2.17	那覇地裁沖縄支部、嘉手納基地騒音訴訟（第4次）判決		2.13	第5回六者会合、北朝鮮が全核施設を無力化することで合意		9.25	中国の有人宇宙船「神舟7号」打ち上げ。初の船外活動成功
	2.19	日米安全保障協議委員会（「2+2」、ワシントンD.C.）日米共通の戦略目標を確認		3. 5	米軍再編にかかる初の航空機訓練移転（築城、～3.8）		10. 3	「スーダン国際平和協力業務実施計画」閣議決定
	3. 8	朝日新聞機が無許可で竹島に接近したとして、韓国政府抗議		3.13	ハワード豪首相来日、安全保障協力に関する日豪共同宣言発表		10. 3	米国防長官、PAC-3、AH-64D攻撃ヘリなどの台湾への売却を議会に通知
	3.14	中国全人代「反国家分裂法」採択		3.23	弾道ミサイル等に対する破壊措置に関する緊急対処要領作成		10.10	米国、北朝鮮のテロ支援国家指定解除
	3.14	マラッカ海峡で日本の船舶が襲撃を受け、乗員3人拉致（3.20解放）		3.27	「ネパール国際平和協力業務実施計画」閣議決定		10.19	中国海軍戦闘艦艇として初めて駆逐艦など4隻が津軽海峡通過
	3.16	島根県「竹島の日」制定		3.28	陸自中央即応集団の新編		10.22	日印首脳会談「日印戦略的グローバル・パートナーシップの前進に関する共同声明」
	3.25	国民保護基本方針、閣議決定		3.30	空自入間基地に初のペトリオット（PAC-3）配備		10.22	「安全保障協力に関する共同声明」署名
	4.25	JR西日本福知山線列車事故にともなう災害派遣		4.16	国連ネパール政治ミッション（UNMIN）軍事監視要員出国（～11.1.18帰国完了）		10.24	国連スーダンミッション（UNMIS）司令部要員出国（～11.9.29帰国完了）
	7.14	経済産業相が帝国石油に東シナ海のカス田の試掘権を許可すると表明		4.16	初の日米印共同3国間訓練（海自・米印海軍間）		11. 2	中国艦艇4隻が沖縄本島・宮古島間を初めて通過し、太平洋へ進出
	8. 5	カムチャツカ沖のロシア海軍小型潜水艇事故に際して、国際緊急援助活動のため、海自艦艇派遣（～8.10帰国完了）		5.18	横田ラブコン施設での空自管制官の併置開始		12. 2	「中期防衛力整備計画（平成17年度～平成21年度）の見直しについて」安全保障会議・閣議決定
	9. 9	東シナ海の日中中間線付近の「浬」ガス田周辺海域で、中国海軍の駆逐艦など5隻が航行		5.29	最高裁、横田基地騒音訴訟（第5次・6次・7次）判決		12.20	「中期防衛力整備計画（平成17年度～平成21年度）の見直しについて」安全保障会議・閣議決定
	9.21	第3次小泉内閣発足		6. 1	防衛省設置法及び自衛隊法の一部改正法（防衛施設庁の廃止・統合、防衛監察本部、地方防衛局の新設、陸海空自の共同の部隊などの）成立		12.23	イラク復興支援特措法に基づく空自派遣輸送航空隊帰国
	10.12	パキスタンなど大地震被害に際し、国際緊急援助活動のため自衛隊部隊を派遣（～12.2帰国完了）		7. 4	小池防衛大臣就任		12.26	中国海軍第1次アデン湾派遣部隊（駆逐艦など3隻）出発
	10.20	陸自と北海道警がテロに備え、初の共同実動訓練実施		7.20	「海洋基本法」施行	2010 (平成22)	1. 8	空自F-15（百里）、沖縄配備
	10.29	日米安全保障協議委員会（「2+2」、ワシントンD.C.）「日米同盟：未来のための変革と再編」共同発表		8.10	「日米軍事情報包括保護協定」署名・発効		1.15	防衛省「宇宙開発利用に関する基本方針について」決定
	10.31	第3次小泉改造内閣発足、額賀長官就任		8.27	安倍改造内閣発足、高村防衛大臣就任		2.10	イラク復興支援派遣撤収業務隊による撤収業務の終結に関する命令発出
	10.31	テロ対策特措法一部改正案施行（有効期間1年間延長）		8.29	「駐留軍等再編特別措置法」施行		2.17	「在沖米海兵隊のグラム移転にかかる協定」署名
	11.11	「平成17年10月29日に実施された日米安全保障協議委員会において承認された事項に関する当面の政府の取組について」閣議決定		9. 1	地方協力局、装備施設本部、防衛監察本部、地方防衛局の新設		2.27	福岡高裁那覇支部、嘉手納基地騒音訴訟（第4次）判決
	11.27	福井県で国民保護法に基づく初の実動訓練		9.26	福田内閣成立、石破防衛大臣就任		3.13	海賊対処法案閣議決定
	11.30	東京高裁、横田基地騒音訴訟（第5次・6次・7次）判決		10. 3	六者会合の合意文書「共同声明の実施のための第二段階の措置」発表		3.13	ソマリア沖・アデン湾における海賊対処のため、海上における警備行動に関する自衛隊行動命令発令
	12.14	第1回東アジア首脳会議開催（クアラルンプール）		10.17	初の日米豪3か国共同訓練（海自、米海軍、豪空軍間）		3.14	ソマリア沖・アデン湾における海賊から日本関係船舶を保護するため海自の艦艇2隻を派遣
	12.16	国連総会、北朝鮮の人権状況を非難する決議案を採択		11. 1	テロ対策特措法に基づく対応措置の終結に関する命令発出		3.27	弾道ミサイル等に対する破壊措置の実施に関する自衛隊行動命令発令（～4.6）
	12.24	「弾道ミサイル防衛能力向上方迎撃ミサイルに関する日米共同開発について」安全保障会議及び閣議決定		11.16	防衛省改革会議設置		3.30	海賊対処のため、海自艦艇による護衛任務を開始
2006 (平成18)	1.10	イラン、ウラン濃縮実験を開始		11.28	中国海軍艦艇の初訪日（～12.1）		4. 3	中曽根外務大臣、ジブチとの間で地位協定署名
	2. 4	拉致問題、国交正常化、核・ミサイル問題を議題とする日朝交渉開始（～2.6）		12.18	ハワイ沖でイージス艦「こんごう」SM-3発射試験（標的に命中）		4. 5	北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射（わが国上空を通過）
	3. 6	日中政府間協議で、中国が東シナ海ガス田の共同開発を提案（～3.7）		12.19	在日米軍再編にともない、米陸軍第1軍団新司令部の前方司令部が在日米陸軍キャンプ座間へ発足		4.10	最高裁、横田基地騒音訴訟（第4次・8次）判決
	3.27	防衛庁設置法などの一部改正法（弾道ミサイル等に対する破壊措置を規定、統合幕僚監部発足。自衛隊は統合運用体制に移行）施行		12.24	「次期固定翼哨戒機の整備について」「平成20年度における防衛力整備内容のうち主要な事項について」		5. 4	第1回ARF災害救援実動演習（フィリピン）
	4.23	在日米軍再編にともなう在沖米海兵隊のグラム移転経費の負担について日米合意		12.24	「弾道ミサイル等に対する破壊措置に関する緊急対処要領の変更について」閣議決定		5.15	ソマリア沖・アデン湾における海賊対処のためジブチへのP-3C派遣命令
	5. 1	日米安全保障協議委員会（「2+2」、ワシントンD.C.）「再編の実施のための日米ロードマップ」発表	2008 (平成20)	1.16	補給支援特措法施行（1.24、25インド洋に向け部隊出港）		5.19	「在沖米海兵隊のグラム移転にかかる協定」発効
	5.29	オーストラリアへP-3C初訪問		1.25	「在日米軍駐留経費負担にかかる新協定」署名		5.25	北朝鮮、2回目の核実験を実施
	6. 1	5.27に発生したインドネシア・ジャワ島中部地震に際し、国際緊急援助活動のため自衛隊部隊を派遣（～6.22）		2.19	イージス艦と漁船との衝突事故		6. 2	宇宙基本計画決定
	6.20	政府、陸自イラク派遣部隊の活動終結決定。空自部隊は国連及び多国籍軍への支援継続		2.20	米海軍イージス艦、制御不能衛星を、SM-3による大気圏外での撃墜に成功		6. 4	北朝鮮、弾道ミサイルを7発発射
	6.23	対米武器・武器技術供与取決極署名		2.21	補給支援特措法に基づき、インド洋において海自補給艦が洋上給油再開（～10.1.15）		7.14	クラスター弾に関する条約締結
	6.29	日米首脳会談、共同文書「新世紀の日米同盟」発表		3.18	「海洋基本計画」閣議決定		7.17	クラスター弾などの製造の禁止及び所持の規制などに関する法律公布
	7. 5	北朝鮮、弾道ミサイルを7発発射		3.26	防衛省設置法などの一部改正法（自衛隊指揮通信システム隊の新編など）施行		7.24	海賊対処法施行、海賊対処要項閣議決定
	7.13	東京高裁、厚木基地騒音訴訟（第3次・4次・5次）判決		4.24	米国政府、北朝鮮の支援のもと、シリアが建設し、イスラエルの空爆で破壊されたという核施設について公表		7.31	海賊対処行動命令発令
				6.24	海自艦艇の初訪中（～6.28）		8. 1	米軍以外の多国籍軍のイラク撤退完了
				6.26	日中政府、東シナ海の天然ガス田を共同開発することで合意			防衛省設置法などの一部改正法の一部（防衛会議及び防衛大臣補佐官の新設、防衛参事官制度の廃止など）施行
				6.26	那覇地裁沖縄支部、普天間基地騒音訴訟（第1次・2次）判決		9.16	鳩山内閣成立、北澤防衛大臣就任
				7. 7	G8北海道洞爺湖サミット（～7.9）		10. 5	インドネシア・バタワン沖地震に対する国際緊急援助隊派遣（～10.17）
				7.15	防衛省改革会議、報告書公表		10.27	関門海峡において護衛艦と韓国籍貨物船が衝突
							11.10	黄海で、北朝鮮艦艇と韓国艦艇が銃撃戦
							11.23	海賊対処行動部隊、IMO勇敢賞受賞
							12. 1	リスボン条約発効
							12. 3	東京高裁、イージス情報流出事案で海自3佐の控訴棄却（上告）
							12. 5	STARTⅠ失効
							12.17	「平成22年度の防衛力整備等について」安全保障会議・閣議決定
2010 (平成22)	1.11	中国、ミサイル迎撃実験実施を発表		6.26	那覇地裁沖縄支部、普天間基地騒音訴訟（第1次・2次）判決		1.11	中国、ミサイル迎撃実験実施を発表
	1.17	ハイチで発生した地震に対する国際緊急援助隊派遣（～2.14活動終了）		7. 7	G8北海道洞爺湖サミット（～7.9）		1.17	ハイチで発生した地震に対する国際緊急援助隊派遣（～2.14活動終了）
	1.19	日米安保締結50周年に当たっての「2+2」共同発表		7.15	防衛省改革会議、報告書公表		1.19	日米安保締結50周年に当たっての「2+2」共同発表
	1.29	ロシア第5世代戦闘機PAKFA初試験飛行					1.29	ロシア第5世代戦闘機PAKFA初試験飛行

年	月日	主要事象	年	月日	主要事象	年	月日	主要事象
2010 (平成22)	2. 5	「ハイチ国際平和協力業務実施計画」閣議決定	2011 (平成23)	5. 2	オバマ米国大統領、国際テロ組織「アルカイダ」指導者のウサマ・ビン・ラーディンを殺害と発表	2013 (平成25)	1.16	アルジェリア邦人拘束事件
	2. 6	ハイチ派遣施設部隊出国 (～13.2.26帰国完了)		6. 1	ジブチ自衛隊活動拠点の運用を開始		1.19	中国海軍艦艇による海自衛艦搭載ヘリに対する火器管制レーダーの照射が疑われる事案
	2.24	MINUSTAH軍事部門司令部要員出国 (～13.1.30帰国完了)		6.21	日米安全保障協議委員会(「2+2」、ワシントンD.C.)「より深化し、拡大する日米同盟に向けて：50年間のパートナーシップの基盤の上に」発表		1.20	在外邦人等輸送として、アルジェリア邦人拘束事件被害者などをアルジェリアからわが国に輸送(1.24帰国)
	2.27	米国「4年毎の国防計画の見直し」(QDR)及び「弾道ミサイル防衛見直し」(BMDR)公表		6.22	オバマ米国大統領、アフガニスタン駐留米軍の撤収方針発表		1.25	「平成25年度の防衛力整備などについて」安全保障会議・閣議決定
	3. 7	ロシア新軍事ドクトリン発表		6.24	「東日本大震災復興基本法」施行		1.25	「宇宙基本計画」宇宙開発戦略本部決定
	3.11	空自百里基地、滑走路民間共用開始		6.28	復興対策本部初会合		1.30	東シナ海において中国艦艇が海自護衛艦に火器管制レーダーを照射
	3.26	北朝鮮潜水艦艇による魚雷攻撃によって韓国海軍哨戒艦「天安」黄海で沈没		7. 8	UNMISS設立国連安保理決議第1996号採択		1.31	中国艦艇3隻が宮古島北東を通過し太平洋に進出
	3.26	防衛省設置法などの一部改正法(第15旅団の新編、少年工科学校の改編など)施行		7. 8	海賊対処行動の継続の閣議決定		1.31	日豪物品役務相互提供協定(ACSA)発効
	4. 1	防衛省設置法等の一部改正法の一部(陸上自衛隊の学校の生徒の身分の新設)施行		7. 9	南スーダン共和国独立		2. 1	自衛隊法等の一部改正法の一部(航空手当関係)施行
	4. 6	米国「核態勢の見直し」(NPR)公表		8.10	中国空母「ワリャグ」が初の試験航行		2. 7	ロシア戦闘機、わが国領空を侵犯
	4.12	第1回核セキュリティ・サミット(ワシントンD.C.、～4.13)		8.10	中国、漁業監視船2隻が尖閣諸島付近のわが国領海に侵入		2.12	北朝鮮、3回目の核実験を実施
	5. 1	宮崎県における口蹄疫にかかる災害派遣(～7.27)		9. 2	野田内閣成立、一川防衛大臣就任		2.23	オバマ米国大統領と安倍内閣総理大臣との会談
	5.19	日豪物品役務相互提供協定(ACSA)署名		9. 9	ロシア艦艇24隻が宗谷海峡を通航	2014 (平成26)	3. 1	F-35の製造等にかかる国内企業の参画についての内閣官房長官談話発表
	5.23	パンフィック・パートナーシップ2010へ部隊を初めて派遣(～7.15)		9.19	防衛産業に対するサイバー攻撃事案発覚		3.15	国連ハイチ安定化ミッション(MINUSTAH)への自衛隊部隊などの派遣終了(隊旗返還式)
	5.26	「排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利用の促進のための低潮線の保全及び拠点施設の整備などに関する法律」成立		9.27	日フィリピン首脳会談(東京)日フィリピン共同声明発表		3.22	「日豪情報保護協定」発効
	5.27	米国「国家安全保障戦略」(NSS)公表		9.30	中国宇宙実験室「天宮1号」打ち上げ「実用準天頂衛星システム事業の推進の基本的な考え方」「宇宙空間の開発・利用の戦略的な推進体制の構築について」閣議決定		3.26	自衛隊法等の一部改正法の一部(航空救難団員義務等関係)施行
	5.28	日米安全保障協議委員会(「2+2」)共同発表		10.10	米軍再編にかかる初のグアムなどへの航空機訓練移転(～10.28)		3.30	中国艦艇4隻が沖縄本島南西を抜けて太平洋に進出
	6. 8	菅内閣成立		10.11	最高裁、第1次普天間基地騒音訴訟判決		4. 2	北朝鮮、六者会合に基づいて移働を停止していた黒鉛減速炉の再整備、再移働を表明
	6. 9	国連安保理、対イラン追加制裁決議第1929号採択		10.24	「日仏情報保護協定」署名・発効		4.26	「海洋基本計画」閣議決定
	6.25	「日 NATO 情報保護協定」署名・発効		10.31	NATO、対リビア作戦の終了		5. 7	中国艦艇2隻が与那国島北東を抜けて太平洋に進出
	6.28	米国「国家宇宙政策」(NSP)公表		11.15	「南スーダン国際平和協力業務実施計画」閣議決定		5.27	中国艦艇3隻が沖縄本島・宮古島間を抜けて太平洋に進出
	7. 1	防衛省設置法等の一部改正法の一部(自衛官候補生の身分の新設)施行		11.22	中国艦艇6隻が沖縄本島・宮古島間を抜けて太平洋に進出		7. 4	「日英防衛装備品・技術移転協定」及び「日英情報保護協定」署名
	7.13	「排他的経済水域及び大陸棚の保全及び利用の促進のための低潮線の保全及び拠点施設の整備などに関する基本計画」閣議決定		11.29	UNMISS司令部要員出国		7. 5	初の中露海軍合同軍事演習「海上協力2013」(～7.11)
	7.16	海賊対処行動の継続の閣議決定		12.18	米軍イラク撤退完了		7. 9	海賊対処行動の継続の閣議決定
	7.29	福岡高裁那覇支部、普天間基地騒音訴訟(第1次・2次)判決		12.20	「次期戦闘機の整備について」安全保障会議決定・閣議了解		7.13	中国海軍艦艇、宗谷海峡を抜けてオホーツク海に進出
	8.31	パキスタンで発生した洪水に対する国際緊急援助活動(～10.10)		12.20	「南スーダン国際平和協力業務実施計画」変更の閣議決定		7.22	中国海警局表札掲示
	9. 7	尖閣諸島周辺のわが国領海で中国漁船が海保巡視船に接触		12.27	「防衛装備品等の海外移転に関する基準」に関する内閣官房長官談話		7.24	中国の早期警戒機が沖縄本島・宮古島間を初めて通過して太平洋に進出
	9.10	「東ティモール国際平和協力業務実施計画」閣議決定	2012 (平成24)	1.11	UNMISS施設部隊出国(～17.5.25帰国完了)		8.21	中国艦艇3隻が大隅海峡を抜けて太平洋に進出
	9.17	菅改造内閣発足		1.13	野田改造内閣発足、田中防衛大臣就任		8.22	ロシア爆撃機、わが国領空を侵犯
	9.27	UNMIT軍事連絡要員出国(～12.9.21帰国完了)		2.10	復興庁発足		8.27	中国艦艇2隻が沖縄本島・宮古島間を抜けて太平洋に進出
	10. 1	防衛省設置法等の一部改正法の一部(3士の階級の廃止)施行		3.16	中国公船「海監」が尖閣諸島付近のわが国領海内に侵入		8.30	「防衛省改革の方向性」公表
	11. 1	メドヴェージェフ露大統領、国後島訪問		3.26	空自航空総隊司令部、横田移転		9. 8	中国の爆撃機が沖縄本島・宮古島間を初めて通過して太平洋に進出
	11.23	北朝鮮、韓国延坪島を砲撃		3.27	野田内閣総理大臣、核セキュリティサミット出席		9. 9	国籍不明の無人機(推定)が東シナ海上空を飛行
	12. 7	尖閣沖漁船衝突事件のビデオ映像流出事案などを受け、「政府における情報保全に関する検討委員会」設置		3.30	弾道ミサイル等に対する破壊措置などの実施に関する自衛隊行動命令発令(4.13終結)		9.10	第1回防衛省・自衛隊2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会特別行動委員会開催
	12.17	「平成23年度以降に係る防衛計画の大綱について」、「中期防衛力整備計画(平成23年度～平成27年度)について」安全保障会議、閣議決定		4.13	北朝鮮、「人工衛星」と称する弾道ミサイルを発射		9.27	国連安保理、シリアの化学兵器廃棄に関する決議2118号を採択
2011 (平成23)	1.11	中国、次世代ステルス機とされる戦闘機の試験飛行を実施		4.13	金正恩氏が北朝鮮国防委員会第1委員長に就任		10. 3	日米安全保障協議委員会(「2+2」、東京)
	1.14	菅改造(第2次)内閣発足		4.27	日米安全保障協議委員会(「2+2」)共同発表		10. 3	「在沖海兵隊のグアム移転にかかる協定を改正する議定書」署名
	1.21	「在日米軍駐留経費負担にかかると新協定」署名(4.1発効)		4.29	中国艦艇3隻が大隅海峡を通過し、太平洋に進出		10.16	台風第26号にかかる災害派遣(～11.8)
	1.27	最高裁、嘉手納基地騒音訴訟(第4次)判決		5.17	「日豪情報保護協定」署名		10.23	中国艦艇5隻が沖縄本島・宮古島間を抜けて太平洋に進出
	2. 4	米国、「国家安全保障宇宙戦略(NSSS)」公表		6. 4	野田改造(第2次)内閣発足、森本防衛大臣就任		10.30	中国艦艇3隻が沖縄本島南西を抜けて太平洋に進出
	2. 5	START II 後継条約(新START)発効		7. 1	ロシア艦艇26隻が宗谷海峡を通航(～7.2)		11.12	フィリピン台風被害に対し、国際緊急援助隊派遣(～12.18)
	2.23	ニュージーランドで発生した地震に対し、国際緊急援助隊派遣(～3.3)		7. 3	初のわが国主催のPSI航空阻止訓練(北海道、～7.5)		11.15	化学兵器禁止機関(OPCW)、シリアの化学兵器などの廃棄の詳細条件を決定
	3.11	アラビア海のオマーン沖で日本関係船舶を襲撃した海賊4名を、海賊対処法に基づき逮捕		7.11	中国漁業監視船3隻が尖閣諸島付近のわが国領海に侵入		11.22	自衛隊法の一部改正(在外邦人等の輸送にかかる輸送対象者の範囲拡大など)の公布、施行
	3.11	東日本大震災発生		7.12	中国漁業監視船1隻が尖閣諸島付近のわが国領海に侵入		11.23	中国、「東シナ海防空識別区」の設定を発表
	3.11	東日本大震災にかかる大規模震災災害派遣(～8.31)		7.12	内閣府設置法等の一部を改正する法律施行		11.24	イランとEU3(英仏独)+3(米中露)、核問題の包括的解決に向けた初期段階の措置について合意
	3.12	東日本大震災にかかる原子力災害派遣(～12.26)		7.13	海賊対処行動の継続の閣議決定		12. 4	国家安全保障会議設置
	3.16	東日本大震災にともなう、予備自衛官、即応予備自衛官に対する初の災害招集などを閣議決定		8.10	李明博韓国大統領の竹島上陸		12. 8	韓国、新たな防空識別圏の設定を発表
	3.16	陸自の即応予備自衛官及び予備自衛官に対する災害(等)招集命令(～8.31)		9. 7	「防衛省・自衛隊によるサイバー空間の安定的・効果的利用に向けて」を公表		12.13	「特定秘密の保護に関する法律」公布
	3.19	米英仏を中心とする多国籍軍、リビアに対する軍事行動開始		9.11	政府、尖閣3島購入所有権獲得		12.14	中国月探査機、月面軟着陸に成功
	4.11	東日本大震災復興構想会議設置		9.25	中国初の空母「遼寧」就役		12.17	「国家安全保障戦略について」「平成26年度以降に係る防衛計画の大綱について」「中期防衛力整備計画(平成26年度～平成30年度)について」国家安全保障会議、閣議決定
	4.15	海自及び空自の予備自衛官に対する災害招集命令(～8.31)		10. 1	野田改造(第3次)内閣発足		12.23	中国艦艇3隻が沖縄本島南西を抜けて太平洋に進出
	4.27	環境整備法の一部改正法施行(特定防衛施設周辺整備調整交付金の対象事業の拡大)		10.16	中国艦艇7隻が与那国島・仲ノ神島間を初めて通過		12.23	ロシア、ボレイ級SSBN2番艦が就役(太平洋艦隊に編入)
				11.26	自衛隊法等の一部改正法の公布、一部(日米ACSA関係)施行		1. 1	「日英情報保護協定」発効
				12. 4	東ティモールにおける能力構築支援事業を開始		1. 7	国家安全保障局の発足
				12. 7	弾道ミサイル等に対する破壊措置等の実施に関する自衛隊行動命令発令(12.12終結)		1.15	広島湾において輸送艦と漁船との接触事故
				12.12	北朝鮮、「人工衛星」と称する弾道ミサイルを発射			
				12.13	中国航空機による初の領空(尖閣諸島周辺上空)侵犯			
				12.26	第2次安倍内閣発足、小野寺防衛大臣就任			

年	月日	主要事象	年	月日	主要事象	年	月日	主要事象
2014 (平成26)	1.22	沖縄基地負担軽減推進委員会の設置	2015 (平成27)	1. 2	ISILによる邦人人質拘束の動画公開（以後、1.24及び2.1に邦人殺害の動画公開）	2015 (平成27)	11.27	中国の爆撃機4機、情報収集機が沖縄本島・宮古島間を通過して太平洋に進出（空軍報道官、中国空軍機による飛行と発表）。同時間帯、爆撃機4機及び早期警戒機が、沖縄本島及び宮古島近傍において活動を実施
	3. 1	わが国の接続水域を潜水航行する潜水艦を確認（宮古島東海域）		1. 9	「宇宙基本計画」宇宙開発戦略本部決定		12. 4	日米共同報道発表「沖縄における在日米軍施設・区域の統合のための日米両国の計画の実施」
	3. 3	北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射		1.21	初の日英外務、防衛閣僚会合（ロンドン）		12. 7	中国艦艇3隻が大隅海峡を通過して太平洋に進出
	3.11	マレーシア航空機の一部改訂法の一部（防衛医科大学校に看護学科を新設）を施行		2. 6	米国「国家安全保障戦略」（NSS）を公表		12.12	日印防衛装備品・技術移転協定署名（ニューデリー）
	3.18	ロシアがクリミア自治共和国を「編入」		2.12	中国の情報収集機、沖縄本島・宮古島間を通過して太平洋に進出（2.15）		12.12	「日印秘密軍事情報保護協定」署名・発効
	3.19	わが国の接続水域を潜水航行する潜水艦を確認（宮古島東海域）		2.13	中国艦艇2隻が沖縄本島・宮古島間を抜けて太平洋に進出		12.13	中国艦艇2隻が沖縄本島・宮古島間を通過して太平洋に進出
	3.24	安倍内閣総理大臣、第3回核セキュリティサミット出席（ハーグ、～3.25）		2.14	中国の情報収集機、沖縄本島・宮古島間を通過して太平洋に進出（2.15）		12.26	機関砲とみられる武器を搭載した中国公船「海警」が尖閣諸島付近のわが国領海に初めて侵入
	3.26	北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射		3. 2	北朝鮮、弾道ミサイル2発発射		12.31	ロシアが国家安全保障戦略を改訂
	4. 1	自衛隊法等の一部改正法の一部（防衛医科大学校に看護学科を新設）を施行		3.13	日仏防衛装備品技術移転協定署名（東京）	2016 (平成28)	1. 6	北朝鮮、4回目の核実験を実施
	4. 1	「防衛装備移転三原則」の閣議決定		4.21	西アフリカにおけるエボラ出血熱の流行に対するWHOが行う疫学調査等に対する支援として防衛医科大学校の教官を派遣（～5.29）		1.11	中国国防部、中央軍事組織改編（「[4総部]」の解体、中央軍事委員会の複数部門制導入）を発表
	4.28	米比防衛協力強化協定（EDCA）調印		4.27	ネパールでの地震に対する国際緊急援助活動（～5.22）		1.26	ロシア爆撃機2機、わが国周辺を一周する経路で飛行
	5. 2	中国艦艇2隻が沖縄本島・宮古島間を抜けて太平洋に進出		4.27	新「日米防衛協力のための指針」を日米安全保障協議委員会（[2+2]、ニューヨーク）で了承		1.30	米海軍駆逐艦が南シナ海の西沙諸島・トリトン島の12海里以内を航行し、「航行の自由作戦」を実施
	5. 7	中越公船衝突・対峙（～7月半ば）		4.30	特定防衛調達に係る国庫債務負担行為により支出すべき年限に関する特別措置法（いわゆる長期契約法）公布・施行		1.31	中国の情報収集機及び早期警戒機が対馬海峡を初めて通過し日本海に進出
	5.14	「在沖米海兵隊のグアム移転にかかる協定を改正する議定書」発効		5. 9	北朝鮮、SLBM発射試験に成功した旨公表		2. 1	中国国防部、七大軍区を解体し、五大戦区の新設を発表
	5.15	「安全保障の法的基盤の再構築に関する懇談会」が報告書提出		5.14	「平和安全法制整備法案」及び「国際平和支援法案」の2法案を閣議決定		2. 2	中国艦艇4隻が津軽海峡を通過して太平洋に進出
	5.21	横浜地裁、厚木基地騒音訴訟（第6次・7次・行政第1次・2次）判決		5.14	「我が国の領海及び内水で国際法上の無害通航に該当しない航行を行う外国軍艦への対処について」、「離島等に対する武装集団による不法上陸等事案に対する政府の対処について」及び「公海上で我が国の民間船舶に対し侵害行為を行う外国船舶を自衛隊の船舶等が認知した場合における当該侵害行為への対処について」閣議決定		2. 4	中国海軍情報収集艦が房総半島南東の接続水域付近を北東・南西に往復航行（～2.8）
	5.24	中国の戦闘機が自衛隊機に異常な接近飛行		5.21	中国の爆撃機、2機が沖縄本島・宮古島間を通過して太平洋に進出（空軍報道官、同空域での中国空軍機による初の飛行と発表）		2. 7	北朝鮮、「人工衛星」と称する弾道ミサイルを発射
	6. 7	中国艦艇3隻が沖縄本島・宮古島間を抜けて太平洋に進出		5.26	中国、国防白書「中国の軍事戦略」発表		2.16	西沙諸島・ウッディー島において地対空ミサイルとみられる装備の所在を確認
	6.11	日豪「2+2」（東京）		5.31	海上自衛官を海賊対処のための連合任務部隊（CTF151）の司令官として派遣（～8.27）		2.29	日比防衛装備品・技術移転協定署名（マニラ）
	6.11	中国の戦闘機が自衛隊機に異常な接近飛行		6.11	那覇地裁沖縄支部、普天間基地騒音訴訟（第4次・6次・7次・8次）判決		3. 4	日印防衛装備品・技術移転協定発効
	6.19	防衛生産・技術基盤戦略の公表		6.12	中国艦艇2隻が沖縄本島・宮古島間を通過して太平洋に進出		3.10	北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射
	6.21	防衛省設置法等の一部改正法の一部（早期退職募集制度への対応）施行		7. 1	デンブシー米統合参謀本部議長、国家軍事戦略を発表		3.18	北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射
	6.29	北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射		7. 3	御嶽山における行方不明捜索への支援にかかる災害派遣（～8.7）		3.22	ベルギー・ブリュッセルで連続爆破テロ発生
	6.29	ISIL、「イスラム国」の樹立及びカリフ制の宣言		7. 7	海賊対処行動の継続の閣議決定		3.28	中国艦艇2隻が大隅海峡を通過して太平洋に進出
	7. 1	「国の存立を全うし、国民を守るための切れ目のない安全保障法制の整備について」閣議決定		7.18	中国艦艇3隻が沖縄本島・宮古島間を通過して太平洋に進出		3.28	与那国駐屯地の新設
	7. 8	日豪防衛装備品・技術移転協定署名		7.29	中国の情報収集機、早期警戒機及び爆撃機2機が沖縄本島・宮古島間を通過して太平洋に進出（7.30）		3.29	平和安全法制「平和安全法制整備法」及び「国際平和支援法」施行
	7. 9	北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射		7.30	東京高裁、第4次厚木基地騒音訴訟（第6次・7次・行政第1次・2次）判決		3.31	核セキュリティ・サミット（ワシントンD.C.）（～4.1）
	7.13	北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射		8.17	中国艦艇7隻が対馬海峡を北上。以後、中露海軍合同軍事演習「海上協力2015（II）」実施（日本海）（8.20～28）。演習終了後、5隻が宗谷海峡を東航（8.29）、ペーリング海の公海上航行（米国防省職員発言、9.2）、アリュシャン列島で米国領海に進入（米国防省職員発言、9.4）		4. 7	中国艦艇3隻が沖縄本島・宮古島間を通過して太平洋に進出
	7.18	海賊対処行動の継続の閣議決定		8.20	北朝鮮と韓国の間で砲撃事案発生		4. 8	中国艦艇3隻が沖縄本島・宮古島間を通過して太平洋に進出
	7.25	防衛省設置法等の一部改正法（防衛審議官の新設）施行		8.22	ロシア・メドヴェージェフ首相、択捉島を訪問		4.14	平成28年 熊本地震にかかる災害派遣（～5.30）
	7.26	北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射		8.26	南スーダンで衝突の解決に関する合意署名		4.15	北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射
	8. 1	防衛省設置法等の一部改正法（内部部局における自衛官ポストの定員化、航空戦術教導団の新編など）施行		9.15	推定ロシア機が根室半島上空を領空侵犯		4.17	即応予備自衛官に対する災害等招集命令（～5.9）
	8. 8	米中央軍によるイラク北部でのISILに対する空爆開始		9.19	平和安全法制「平和安全法制整備法案」及び「国際平和支援法案」、参議院本会議で可決成立		4.20	中国の早期警戒機が沖縄本島と宮古島間の上空を通過して太平洋に進出
	8.12	ロシア軍、北方領土及び千島列島で演習		9.28	日米地位協定の環境補足協定署名		4.23	北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射
	8.19	中国の戦闘機が米軍哨戒機に異常な接近飛行		10. 1	防衛省設置法等の一部改正法（統合幕僚監部への実運用一元化、防衛装備庁の新設等）施行		4.25	日比防衛装備品・技術移転協定発効
	8.20	広島県広島市における人命救助にかかる災害派遣（～9.11）		10. 1	技術研究本部、装備施設本部を廃止し、防衛装備庁を新設		4.28	沖縄県における在日米軍の軍属による殺人被疑事件
	8.28	防衛省「宇宙開発利用に関する基本方針について（改訂版）」策定		10. 3	バン格拉デシュで銃撃事件（邦人1名死亡、ISILバン格拉デシュと記載された犯行声明発出）		4.28	北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射
	9. 1	日印首脳会談（東京）[日印特別戦略的グローバルパートナーシップのための東京宣言]		10. 7	第3次安倍改造内閣の発足		4.29	南スーダン国民統一暫定政府設立
	9. 3	江渡防衛大臣就任		10.15	山口地裁岩国支部、岩国基地騒音訴訟（第1次・2次・3次）判決		5.10	米海軍駆逐艦が南シナ海の南沙諸島・ファイアリークロス礁の12海里以内を航行し、「航行の自由作戦」を実施
	9. 3	第2次安倍改造内閣発足		10.26	米海軍駆逐艦「ラッセン」が南シナ海の南沙諸島スビ礁の12海里以内を航行し、「航行の自由作戦」を実施		5.17	南シナ海上空で、中国軍戦闘機が米海軍偵察機に異常接近
	9.10	オバマ米大統領、対ISIL戦略を発表		11.11	中国海軍情報収集艦が尖閣諸島南方の接続水域付近を東西に往復航行（～11.12）		5.22	オバマ米大統領、ベトナム訪問（～5.25）
	9.22	米国などによるシリアにおけるISILに対する空爆開始					5.31	武器禁輸全面解除
	9.26	安倍内閣総理大臣 国連PKOハイレベル会合に出席（ニューヨーク）					6. 7	東シナ海上空で、中国軍戦闘機が米空軍偵察機に高速で接近するという危険な飛行を実施
	9.27	御嶽山噴火にかかる災害派遣（～10.16）					6. 9	中国艦艇1隻が尖閣周辺の接続水域に中国海軍戦闘艦艇として初めて入域
	9.29	アフガニスタン新政権発足					6.15	中国海軍情報収集艦1隻が鹿児島県口永良部島及び屋久島周辺のわが国領海内を航行。その後、沖縄県北大東島北方の接続水域内を航行（6.16）した後、尖閣諸島周辺の接続水域外側を東西に往復航行（6.19～20）
	10.26	防衛省・自衛隊60周年記念航空観閲式（百里）					6.16	中国艦艇5隻が沖縄本島・宮古島間を通過して太平洋に進出
	11.16	沖縄県知事選、翁長候補が現職の仲井真知事を破る					6.17	海賊対処行動の継続の閣議決定
	11.21	滞空型無人機の機種を「グローバルホーク」に決定					6.20	ロシア艦艇10隻が宗谷海峡を通過しオホーツク海へ移動
	11.24	韓国軍、竹島近海で防衛訓練実施					6.22	北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射
	11.28	西アフリカにおけるエボラ出血熱の流行に対する国際緊急援助活動に必要な物資の輸送（ガーナ共和国 ～12.11）						
2015 (平成27)	12. 1	NATOに初の自衛官派遣	2016 (平成28)	12. 1	技術研究本部、装備施設本部を廃止し、防衛装備庁を新設	2016 (平成28)	6. 9	中国艦艇1隻が尖閣周辺の接続水域に中国海軍戦闘艦艇として初めて入域
	12. 4	中国艦艇5隻が大隅海峡を抜けて太平洋に進出		12. 3	バン格拉デシュで銃撃事件（邦人1名死亡、ISILバン格拉デシュと記載された犯行声明発出）		6.15	中国海軍情報収集艦1隻が鹿児島県口永良部島及び屋久島周辺のわが国領海内を航行。その後、沖縄県北大東島北方の接続水域内を航行（6.16）した後、尖閣諸島周辺の接続水域外側を東西に往復航行（6.19～20）
	12. 4	中国軍、西太平洋で演習開始、以後、一部艦艇が宗谷海峡（12.24）、対馬海峡（12.27）を通過して日本一周		12. 7	第3次安倍改造内閣の発足		6.16	中国艦艇5隻が沖縄本島・宮古島間を通過して太平洋に進出
2016 (平成28)	12. 8	日豪防衛装備品・技術移転協定発効	2017 (平成29)	12.15	山口地裁岩国支部、岩国基地騒音訴訟（第1次・2次・3次）判決	2017 (平成29)	6.17	海賊対処行動の継続の閣議決定
	12.10	「特定秘密の保護に関する法律」施行		12.26	米海軍駆逐艦「ラッセン」が南シナ海の南沙諸島スビ礁の12海里以内を航行し、「航行の自由作戦」を実施		6.20	ロシア艦艇10隻が宗谷海峡を通過しオホーツク海へ移動
	12.19	日米安全保障協議委員会（2+2）共同発表		12.26	中国海軍情報収集艦が尖閣諸島南方の接続水域付近を東西に往復航行（～11.12）		6.22	北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射
2017 (平成29)	12.24	第3次安倍内閣発足、中谷防衛大臣就任	2018 (平成30)	12.24	中国海軍情報収集艦が尖閣諸島南方の接続水域付近を東西に往復航行（～11.12）	2018 (平成30)	6.22	北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射
	12.24	武器貿易条約発効		12.26	米海軍駆逐艦「ラッセン」が南シナ海の南沙諸島スビ礁の12海里以内を航行し、「航行の自由作戦」を実施			
	12.26	米軍TPY-2レーダー（いわゆる「Xバンドレーダー」）経ヶ岬に配備完了						
2018 (平成30)	12.31	エア・アジア機消息不明事案に対する国際緊急援助活動（～15.1.11）	2019 (平成31)	12.31	中国海軍情報収集艦が尖閣諸島南方の接続水域付近を東西に往復航行（～11.12）	2019 (平成31)	12.31	中国海軍情報収集艦が尖閣諸島南方の接続水域付近を東西に往復航行（～11.12）

年	月日	主要事象	年	月日	主要事象	年	月日	主要事象
2016 (平成28)	7. 2	バングラデシュ武装集団による人質立て籠もり事案発生 (邦人7名死亡) ISIL ネット上に犯行声明	2017 (平成29)	3. 5	中国艦艇が大隅海峡を西航	2017 (平成29)	9.15	北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射 (わが国上空を通過)
	7. 8	米韓、在韓米軍へのTHAAD配備決定		3. 6	北朝鮮、弾道ミサイルを4発発射 (3発がわが国排他的経済水域 (EEZ) 内に落下)		10. 1	米ラスベガスで銃撃事案発生
	7. 9	北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射		3.22	北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射		10.10	米海軍駆逐艦が南シナ海の西沙諸島周辺で「航行の自由作戦」を実施 (報道)
	7.11	南スーダンでの衝突事案に際して、在外邦人等輸送を実施するため、南スーダン首都ジュバに空自航空機を派遣 (～7.26)		3.23	中国艦艇が沖縄本島・宮古島間を通過して東シナ海へ移動		10.11	沖縄県国頭郡東村に米軍ヘリが緊急着陸・炎上
	7.12	仲裁裁判所が、南シナ海に関する仲裁手続きにおいて、フィリピンの申し立てをほぼ全て認める内容の最終判断を发出		3.27	海自機 TC-90 のフィリピン移転		10.17	空自 UH-60J ヘリコプターが静岡県浜松市南方の太平洋上に墜落
	7.15	仏・ニースでトラック突入によるテロが発生		3.27	次期輸送機 (XC-2) 開発完了		11. 2	海賊対処行動の継続の閣議決定
	7.18	中国空軍、南シナ海の戦闘パトロールを常態化させる旨発表		4. 2	中国艦艇が沖縄本島・宮古島間を通過して太平洋へ進出		11.11	米空母3個打撃群が西太平洋で合同軍事演習を実施 (～11.14)
	7.19	北朝鮮、弾道ミサイルを3発発射		4. 5	北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射		11.18	中国の情報収集機が東シナ海から沖縄本島と宮古島間を通過し、バシー海峡方向に飛行
	8. 3	福田防衛大臣就任		4. 6	米国による対シリア攻撃		11.19	中国の爆撃機4機、情報収集機、電子戦機が東シナ海から沖縄本島と宮古島間を通過して太平洋に至り、その後再び沖縄本島と宮古島間を通過して東シナ海方面に飛行
	8. 3	第3次安倍改造 (第2次) 内閣発足		4.16	北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射		11.20	米政府、北朝鮮を「テロ支援国家」に再指定
	8. 3	北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射 (1発がわが国排他的経済水域 (EEZ) 内に落下)		4.18	中国艦艇が大隅海峡を西航		11.23	中国の爆撃機4機、情報収集機が沖縄本島と宮古島間を通過して太平洋に至り、その後再び沖縄本島と宮古島間を通過して東シナ海方面に飛行
	8. 5	尖閣諸島周辺海域で中国漁船200～300隻が操業。中国公船が初めて漁船に続き同一海域で領海侵入 (5日間で延べ15隻・～8.9)		4.20	中国、初の無人補給船「天舟1号」打ち上げ		11.28	中国の爆撃機2機、戦闘機 (推定) 2機が沖縄本島と宮古島間を通過して太平洋に進出 (戦闘機 (推定) の通過は初)
	8.12	中国海軍艦艇3隻が沖縄本島・宮古島間を通過して太平洋に進出		4.24	中国艦艇が沖縄本島・宮古島間を通過して太平洋へ進出		12. 5	中国の爆撃機4機、電子戦機が沖縄本島と宮古島間を通過して太平洋に至り、その後再び沖縄本島と宮古島間を通過して東シナ海方面に飛行
	8.18	中国の早期警戒機及び爆撃機2機が対馬海峡を通過して日本海に進出		4.26	中国国産空母の進水		12. 7	中国の早期警戒機、爆撃機4機が沖縄本島と宮古島間を通過して太平洋に至り、その後再び沖縄本島と宮古島間を通過して東シナ海方面に飛行
	8.24	北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射		4.29	北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射		12. 9	中国の早期警戒機、爆撃機4機が沖縄本島と宮古島間を通過して太平洋に至り、その後再び沖縄本島と宮古島間を通過して東シナ海方面に飛行
	8.30	岩手県における台風10号に伴う大雨にかかる災害派遣 (～9.16)		5.14	北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射		12.11	中国の爆撃機2機、戦闘機 (推定) 2機、情報収集機、電子戦機が沖縄本島と宮古島間を通過して太平洋に至り、その後再び沖縄本島と宮古島間を通過して東シナ海方面に飛行
	8.31	北海道における台風10号に伴う大雨にかかる災害派遣 (～9.18)		5.18	尖閣諸島領海侵入中の中国公船船橋前部付近において、小型無人機 (ドローン) らしき物体が飛行		12.18	米国家安全保障戦略発表
	9. 5	北朝鮮、弾道ミサイルを3発発射 (わが国排他的経済水域 (EEZ) 内に落下)		5.21	北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射		12.18	中国軍 Su-30 戦闘機、日本海進出を初確認
	9. 9	北朝鮮、5回目の核実験を実施		5.23	フィリピンのミンダナオ地域における戒厳令の布告		12.19	「弾道ミサイル防衛能力の抜本的向上について」国家安全保障会議・閣議決定
	9.12	米軍再編にかかる初の回転翼機及びティルト・ローター機などの沖縄県外への訓練移転 (～10.5)		5.24	米海軍駆逐艦が南シナ海の南沙諸島・ミスターフ礁の12海里以内を航行し、「航行の自由作戦」を実施 (報道)		12.19	米国、2017年5月の悪意あるプログラム「ワナクライ」を用いたサイバー攻撃が北朝鮮によるものとして非難
	9.25	中国の爆撃機4機、情報収集機2機及び戦闘機 (推定) 2機が沖縄本島と宮古島間を通過して太平洋に進出		5.29	北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射 (わが国排他的経済水域 (EEZ) 内に落下)		12.20	中国の電子戦機が沖縄本島と宮古島間を通過し、東シナ海へ飛行
	10.15	北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射		7. 1	南西航空方面隊の新編			
	10.20	北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射		7. 2	中国海軍 ドンディアオ級情報収集艦1隻が北海道松前町小島周辺南西のわが国領海内を航行			
	10.21	米海軍駆逐艦が南シナ海西沙諸島周辺を航行し、「航行の自由作戦」を実施		7. 2	米海軍駆逐艦が南シナ海の西沙諸島・トリトン島の12海里以内で「航行の自由作戦」を実施 (報道)			
	10.27	中国の早期警戒機、情報収集機が沖縄本島と宮古島間を通過し、太平洋に進出		7. 4	北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射 (わが国排他的経済水域 (EEZ) 内に落下)			
	10.28	「日米豪防衛当局間情報共有取決め」署名・発効		7. 5	平成29年7月九州北部豪雨にかかる災害派遣 (～8.20)			
	11. 1	海賊対処要項変更にかかる閣議決定 (ソマリア沖・アデン湾において海賊対処行動に従事する艦艇を2隻から1隻に変更)		7. 5	ロシア艦艇16隻が宗谷海峡を通過し日本海へ移動			
	11.15	「南スーダン国際平和協力業務実施計画」変更の閣議決定 (駆け付け警護の任務を付与)		7.13	中国の爆撃機2機が沖縄本島・宮古島間を通過して太平洋へ進出。別の爆撃機4機が沖縄本島と宮古島の間を抜けて東シナ海方面に飛行			
	11.18	ロシア軍、択捉島及び国後島への地対艦ミサイル配備を発表		7.15	中国公船2隻が対馬下島 (長崎県対馬市) の南西及び沖ノ島 (福岡県宗像市) の北のわが国領海内を航行			
	11.23	「日韓秘密軍事情報保護協定」署名・発効		7.17	日独防衛装備品・技術移転協定署名・発効 (ベルリン)			
	11.25	爆撃機2機、情報収集機2機、戦闘機2機が、沖縄本島と宮古島間の上空を通過 (うち戦闘機を除く4機は先島諸島南方から飛来)		7.17	中国公船2隻が艦作埼 (青森県西津軽郡) の西北西及び龍飛埼 (青森県東津軽郡) の北東のわが国領海内を航行			
	12. 1	日仏防衛装備品・技術移転協定発効		7.20	中国の電子戦機、情報収集機、爆撃機4機が沖縄本島と宮古島の間を抜け、東シナ海方面に飛行			
	12.10	中国の戦闘機2機、爆撃機2機、情報収集機2機が東シナ海から沖縄本島と宮古島間を通過 (うち戦闘機を除く4機がバシー海峡方向に向けて飛行)		7.28	中国の爆撃機が沖縄本島と宮古島間を抜け、東シナ海方面に飛行			
	12.22	自衛隊法第95条の2の運用に関する指針 (国家安全保障会議決定)		7.28	岸田防衛大臣就任			
	12.22	弾道ミサイル防衛用能力向上型迎撃ミサイル (SM-3 ブロック II A) の共同生産・配備段階への移行 (国家安全保障会議決定)		8. 1	北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射 (わが国排他的経済水域 (EEZ) 内に落下)			
	12.25	中国海軍空母を含む艦艇6隻が沖縄本島・宮古島間を通過し、西太平洋に進出 (同空母の太平洋進出は初確認)		8. 3	中国駐ジブチ保障基地の進駐式を実施			
	12.27	「2016年中国の宇宙」白書発表		8. 9	小野寺防衛大臣就任			
2017 (平成29)	1. 9	中国の爆撃機6機、早期警戒機、情報収集機が対馬海峡を通過し、日本海に進出	2017 (平成29)	8.10	米海軍駆逐艦が南シナ海の南沙諸島・ミスターフ礁の12海里以内で「航行の自由作戦」を実施 (報道)	2017 (平成29)	9.15	北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射 (わが国上空を通過)
	1.14	新たな日豪物品役務相互提供協定 (ACSA) 署名		8.12	中国の電子戦機、爆撃機2機が沖縄本島と宮古島間を通過し、東シナ海方面に飛行		10. 1	米ラスベガスで銃撃事案発生
	1.24	ロシア爆撃機2機、わが国周辺を一周する経路で飛行		8.13	中国の電子戦機2機が沖縄本島と宮古島間を通過し、東シナ海方面に飛行		10.10	米海軍駆逐艦が南シナ海の西沙諸島周辺で「航行の自由作戦」を実施 (報道)
	1.26	日英物品役務相互提供協定 (ACSA) 署名		8.14	中国の電子戦機が沖縄本島と宮古島間を通過し、東シナ海方面に飛行		10.11	沖縄県国頭郡東村に米軍ヘリが緊急着陸・炎上
	2. 8	米海軍 P3 哨戒機と中国軍用機異常接近 (南シナ海)		8.17	中国の電子戦機が沖縄本島と宮古島間を通過し、東シナ海方面に飛行		10.17	空自 UH-60J ヘリコプターが静岡県浜松市南方の太平洋上に墜落
	2.12	北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射		8.18	スペイン・バルセロナで車両突入事案発生		11. 2	海賊対処行動の継続の閣議決定
	3. 2	中国の早期警戒機、爆撃機 (推定) 6機、戦闘機 (推定) 6機が沖縄本島と宮古島間上空を通過し、太平洋に進出 (過去最多13機)		8.23	日英物品役務相互提供協定 (ACSA) 発効		11.11	米空母3個打撃群が西太平洋で合同軍事演習を実施 (～11.14)
	3. 2	中国艦艇が沖縄本島・宮古島間を通過して東シナ海へ移動		8.24	ロシアの爆撃機2機が、わが国周辺を一周する経路で飛行		11.18	中国の情報収集機が東シナ海から沖縄本島と宮古島間を通過し、バシー海峡方向に飛行
				8.26	中国の爆撃機6機が沖縄本島と宮古島間を通過後、九州及び四国の南の太平洋上を飛行し、紀伊半島沖で反転して同様の経路で東シナ海に飛行 (中国機が太平洋へ進出後、北東へ飛行したのは初)		11.19	中国の爆撃機4機、情報収集機、電子戦機が東シナ海から沖縄本島と宮古島間を通過して太平洋に至り、その後再び沖縄本島と宮古島間を通過して東シナ海方面に飛行
				8.26	海自 SH-60J ヘリコプターが青森県竜飛崎西方海上に墜落		11.20	米政府、北朝鮮を「テロ支援国家」に再指定

年	防 衛	国内（主な首脳会談含む）	国 際
2018 (平成30)	1. 9 日米防衛相電話会談 1. 9 平成29年度日米共同統合演習（指揮所演習）（～2.3） 1.15 日スペイン防衛相会談（東京） 1.21 多国間共同訓練コブラ・ゴールド18への参加（～2.23） 1.26 空自三沢基地に初F-35A配備 1.26 日仏外務・防衛閣僚協議会合（「2+2」）（東京） 1.27 日仏防衛相会談（東京） 1.29 新潟県佐渡市における給水支援にかかる災害派遣（～2.2） 1.30 石川県輪島市における給水支援にかかる災害派遣（～2.2） 2. 6 福井県における大雪にかかる災害派遣（～2.10） 2.15 福井県福井市における除雪支援にかかる災害派遣（～2.18） 2.16 「南スーダン国際平和協力業務実施計画」変更の閣議決定 2.21 青森県上北郡東北町における燃料等の回収にかかる災害派遣（～3.7） 2.28 日ラトビア防衛相会談（東京） 3.26 海自練習機TC-90 5機のフィリピンへの移転完了 3.27 第22回アジア太平洋地域防衛当局者フォーラム（東京ディフェンス・フォーラム）の開催（東京）（～3.28） 3.27 陸上総隊及び水陸機動団の新編並びに初の機動師団・旅団への改編 4. 6 Xバンド防衛通信衛星「きらめき1号」打ち上げ 4. 9 日越共同ビジョン署名 4. 9 日ベトナム防衛相会談（東京） 4. 9 島根県大田市における給水支援にかかる災害派遣（～4.11） 4.11 大分県中津市における山崩れに伴う人命救助にかかる災害派遣（～4.23） 4.18 日マレーシア防衛装備品・技術移転協定署名・発効 4.20 日米防衛相会談（ワシントンD.C.） 4.21 日加物品役務相互提供協定（ACSA）署名 4.29 沖縄県宮古島市伊良部島における給水支援にかかる災害派遣（～5.2） 5. 4 日フィンランド防衛相会談（ヘルシンキ） 5. 6 日エストニア防衛相会談（タリン） 5. 9 日中防衛当局間で海空連絡メカニズムに署名 5.10 日 UAE 防衛協力・交流に関する覚書に署名 5.15 「海洋基本計画」閣議決定 5.18 「南スーダン国際平和協力業務実施計画」変更の閣議決定 5.21 日シンガポール防衛相会談（東京） 5.29 日米防衛相会談（ハワイ） 5.31 日 NATO 国別パートナーシップ協力計画（IPCP）改定 6. 2 小野寺防衛大臣の第17回 IISS アジア安全保障会議（ジャングリラ会合）出席（～6.3） 6. 2 日英防衛相会談（シンガポール） 6. 2 日フィリピン防衛相会談（シンガポール） 6. 2 日独防衛相会談（シンガポール） 6. 2 日米豪防衛相会談（シンガポール） 6. 2 日ベトナム防衛相会談（シンガポール） 6. 3 日米韓防衛相会談（シンガポール） 6. 3 日韓防衛相会談（シンガポール） 6. 3 日仏防衛相会談（シンガポール） 6. 8 日中防衛当局間の海空連絡メカニズム運用開始 6.14 日米防衛相電話会談 6.18 大阪府北部を震源とする地震にかかる災害派遣（～6.26） 6.19 平成30年度自衛隊統合防災演習（～6.22） 6.29 日米防衛相会談（東京） 7. 6 平成30年7月豪雨にかかる災害派遣（～8.18） 7.11 平成30年7月豪雨に係る即応予備自衛官の災害等招集を閣議決定 7.11 即応予備自衛官に対する災害等招集命令（～7.31） 7.13 日仏物品役務相互提供協定（ACSA）署名 7.31 日露防衛相会談（モスクワ） 7.31 日露外務・防衛閣僚協議（「2+2」）（モスクワ） 8. 6 山形県最上郡戸沢村における給水・給食にかかる災害派遣（～8.8） 8.10 日米防衛相電話会談 8.10 群馬県草津白根山付近における行方不明機の捜索にかかる災害派遣（～8.11） 8.20 日印防衛相会談（デリー） 8.21 日スリランカ防衛相会談（スリジャヤワルダナプラコッテ） 9. 1 平成30年度在外邦人等保護措置訓練（国外）（～9.9） 9. 3 日豪防衛相電話会談 9. 4 日オランダ防衛相会談（ハーグ） 9. 4 小野寺防衛大臣とOPCW事務局長との会談（ハーグ）	1.12 日エストニア首脳会談（タリン） 1.13 日ラトビア首脳会談（リガ） 1.13 日リトアニア首脳会談（ビリニュス） 1.14 日ブルガリア首脳会談（ソフィア） 1.15 日セルビア首脳会談（ベオグラード） 1.16 日ルーマニア首脳会談（ブカレスト） 1.18 日豪首脳会談（東京） 2. 2 日米首脳電話会談 2. 6 日独首脳会談（東京） 2. 7 ペンス米国副大統領の安倍内閣総理大臣表敬 2. 9 日韓首脳会談（平昌） 2.14 日米首脳電話会談 2.14 日ノルウェー首脳会談（東京） 2.20 青森県上北郡東北町の小川原湖に米軍機が燃料タンクを投棄 2.23 日チリ首脳会談（東京） 3. 6 日加首脳電話会談 3. 9 日米首脳電話会談 3.14 日スリランカ首脳会談（東京） 3.15 日独首脳電話会談 3.31 牧港捕鯨地区（国道58号沿い）の土地の返還 4. 5 日イラク首脳会談（東京） 4.11 日ブータン首脳会談（東京） 4.12 日スイス首脳会談（東京） 4.17 日米首脳会談（フロリダ） 4.28 日米首脳電話会談 4.29 日韓首脳電話会談 4.30 日 UAE 首脳会談（アブダビ） 5. 1 日ヨルダン首脳会談（ヨルダン） 5. 1 日パレスチナ首脳会談（パレスチナ） 5. 2 日イスラエル首脳会談（イスラエル） 5. 4 日中首脳電話会談 5. 9 日中韓サミット（東京） 5.10 日米首脳電話会談 5.15 日サモア首脳会談（東京） 5.16 日フィジー首脳会談（東京） 5.18 安倍内閣総理大臣の第8回太平洋・島サミット出席（福島）（～5.19） 5.24 安倍内閣総理大臣のロシア訪問（～5.26） 5.25 日仏首脳会談（サンクトペテルブルク） 5.26 日露首脳会談（モスクワ） 5.28 日米首脳電話会談 6. 7 日米首脳会談（ワシントンD.C.） 6. 8 安倍内閣総理大臣のG7シャルルボワ・サミット出席（～6.9） 6. 8 日独首脳会談（シャルルボワ） 6. 8 日英首脳会談（シャルルボワ） 6. 8 日伊首脳会談（シャルルボワ） 6. 8 日加首脳会談（シャルルボワ） 6.11 日米首脳電話会談 6.12 日ラオス首脳会談（東京） 6.12 日米首脳電話会談 7.17 日 EU 定期首脳協議（東京） 8. 1 日マルタ首脳会談（東京） 8. 7 日セントビンセント首脳会談（東京） 8.22 日米首脳電話会談 9. 5 日エクアドル首脳会談（東京） 9.10 日露首脳会談（ウラジオストク） 9.11 日モンゴル首脳会談（ウラジオストク） 9.12 日中首脳会談（ウラジオストク） 9.24 日トルコ首脳会談（ニューヨーク） 9.25 日韓首脳会談（ニューヨーク） 9.26 日イラン首脳会談（ニューヨーク） 9.26 日米首脳会談（ニューヨーク） 10. 5 日タジキスタン首脳会談（東京） 10. 8 日ベトナム首脳会談（東京） 10. 8 日カンボジア首脳会談（東京） 10. 8 日ラオス首脳会談（東京） 10. 8 日タイ首脳会談（東京） 10. 9 第10回日・メコン地域諸国首脳会議（東京） 10. 9 アウン・サン・スー・チー・ミャンマー国家最高顧問との会談（東京） 10.12 日リトアニア首脳会談（東京） 10.16 日スペイン首脳会談（マドリッド） 10.17 日仏首脳会談（パリ） 10.18 第12回ASEM首脳会談（ブリュッセル）（～10.19） 10.18 第2回「V4+日本」首脳会談（ブリュッセル） 10.18 日 EU 首脳会談（ブリュッセル） 10.18 日独首脳会談（ブリュッセル） 10.19 日伊首脳会談（ブリュッセル） 10.19 日シンガポール首脳会談（ブリュッセル） 10.19 日オーストリア首脳会談（ブリュッセル） 10.26 日中首脳会談（北京） 10.29 日印首脳会談（東京） 11. 6 日マレーシア首脳会談（東京） 11. 9 日米首脳電話会談 11.14 日ASEAN首脳会談（シンガポール） 11.14 日露首脳会談（シンガポール） 11.15 日シンガポール首脳会談（シンガポール） 11.15 第21回ASEAN+3首脳会議（シンガポール） 11.15 東アジア首脳会議（シンガポール） 11.15 日インドネシア首脳会談（シンガポール）	1. 9 南北高官級協議 1.10 潜水航行する中国潜水艦1隻が宮古島及び大正島周辺のわが国接続水域に入域（～1.11） 1.11 中国艦艇1隻が大正島周辺のわが国接続水域に入域 1.17 米海軍駆逐艦1隻が南シナ海のスカーボロ礁の12海里以内で「航行の自由作戦」を実施（報道） 1.19 米国家防衛戦略発表 1.29 中国の情報収集機1機が対馬海峡を通過し、東シナ海から日本海に進出 1.29 中国艦艇1隻が対馬海峡を北上し、一時的に日本海に進出した後に同海峡を南下 1.31 トランプ米国大統領一般教書演説 2. 2 米国「核態勢の見直し」(NPR) を発表 2. 5 モルディブ非常事態宣言 2. 8 北朝鮮、軍事パレードを実施 2. 9 平昌オリンピック（～2.25） 2.10 スリランカ非常事態宣言 2.14 南アフリカ、ズマ大統領辞任 2.15 エチオピア首相辞任 2.15 米国など、2017年6月に大規模な被害をもたらしたランサムウェア「Not Petya」が露によるものとして非難 2.16 エチオピア非常事態宣言 2.23 米豪首脳会談 2.26 中国艦艇1隻が日本海進出（～2.28） 2.27 中国のY-9情報収集機1機による対馬海峡の西水道通過を初確認 3. 1 ロシアのプーチン大統領が年次教書演説で新型兵器を紹介 3. 5 第13回全国人民代表大会（全人代）第1回会議（～3.20） 3. 5 韓国、特別使節団が北朝鮮を訪問、金正恩委員長と会談 3. 9 平昌パラリンピック（～3.18） 3.18 プーチン露大統領再選（4期目） 3.18 トルコ政府、シリア・アフリン市の制圧を発表 3.23 中国の爆撃機4機、情報収集機1機、電子戦機1機が沖縄本島・宮古島間を通過して太平洋に至り、その後反転して沖縄本島と宮古島間を通過して大陸へ飛行。同時刻、戦闘機（推定）2機も東シナ海から沖縄本島・宮古島間まで飛行 3.23 仏南部トレブにおいて人質たてこもり事案発生 3.23 米海軍駆逐艦1隻が南シナ海の南沙諸島・ミスターフ礁の12海里以内で「航行の自由作戦」を実施（報道） 3.25 北朝鮮、金正恩委員長訪中（～3.28） 3.26 中朝首脳会談 3.26 エジプト大統領選挙 4. 5 中国艦艇3隻が沖縄本島・宮古島間を通過して太平洋へ進出 4.10 中国の無人機（BZK-005）とみられる機体が東シナ海（わが国の防空識別圏内）を飛行 4.12 中国、南シナ海で海上閱兵式を開催 4.14 米英仏、シリアの化学兵器関連施設に対する軍事行動 4.18 中国の爆撃機2機が沖縄本島と宮古島間を通過して太平洋に至り、バシール海峡方面へ飛行 4.19 中国の爆撃機2機、戦闘機（推定）2機、電子戦機1機、情報収集機1機が沖縄本島・宮古島間を通過して太平洋に至り、その後、爆撃機2機、電子戦機1機、情報収集機1機はバシール海峡方面へ飛行 4.20 北朝鮮、「核実験と大陸間弾道弾ロケット試験発射」の中止及び核実験場の廃棄を表明 4.20 中国の爆撃機2機が沖縄本島・宮古島間を通過して太平洋に至り、バシール海峡方面へ飛行 4.20 中国の空母「遼寧」の艦載戦闘機（推定）が太平洋上で飛行するのを初確認 4.21 空母「遼寧」を含む中国艦艇7隻が沖縄本島と宮古島間を通過し東シナ海へ移動 4.24 中国艦艇1隻が日本海進出（～4.29） 4.26 中国の爆撃機2機、戦闘機（推定）2機、電子戦機1機、情報収集機1機が沖縄本島・宮古島間を通過して太平洋に至り、戦闘機（推定）2機は反転して沖縄本島・宮古島間を再び通過し大陸方面へ飛行、爆撃機2機、電子戦機1機、情報収集機1機はバシール海峡方面へ飛行 4.27 南北首脳会談、「板門店宣言」合意 4.28 中国の情報収集機1機が対馬海峡を通過し、東シナ海から日本海に進出 5. 8 中朝首脳会談 5. 8 トランプ米国大統領、イランとの核合意からの離脱を発表 5.11 中国の爆撃機2機、戦闘機（推定）2機は沖縄本島・宮古島間を通過して太平洋に至り、戦闘機（推定）2機はその後反転して再び沖縄本島・宮古島間を通過し大陸方面へ飛行、爆撃機2機はバシール海峡方面へ飛行。爆撃機2機、情報収集機1機及び電子戦機1機はバシール海峡方面の太平洋から沖縄本島・宮古島間を通過して東シナ海へ移動 5.12 仏パリ中心部オペラ座付近で襲撃事案発生 5.13 インドネシア・スラバヤの教会で自爆テロ事案が発生 5.13 中国初の国産空母、第1回目の海上試験を実施（～5.18） 5.18 中国の爆撃機などが南シナ海で離着陸訓練を実施（西沙諸島ウッディー島との指摘） 5.21 米国、新たな対イラン戦略を発表 5.25 中国の爆撃機2機が沖縄本島と宮古島間を通過して東シナ海へ飛行 5.26 南北首脳会談 5.27 米海軍駆逐艦1隻・巡洋艦1隻が南シナ海の西沙諸島の12海里以内で「航行の自由作戦」を実施（報道） 6. 3 中国艦艇1隻が沖縄本島・宮古島間を通過して日本海へ進出 6. 4 中国の情報収集機1機が沖縄本島と宮古島間を通過して太平洋に至り、バシール海峡方面へ飛行した後反転し、再び沖縄本島と宮古島間を通過 6. 4 中国艦艇1隻が沖縄本島・宮古島間を通過し東シナ海へ移動 6.12 米朝首脳会談 6.17 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島の間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 6.18 米国防省、フリーダム・ガーディアンを停止を発表 6.19 金正恩委員長訪中（～6.20） 6.19 中朝首脳会談 6.22 米国防省、韓国海兵隊派遣プログラムの停止を発表 6.23 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島の間の海域を北進し、東シナ海へ向けて航行 6.24 中国艦艇1隻が日本海進出（～6.29） 6.24 トルコ大統領選挙及び議会総選挙 6.27 南スーダンで恒久的停戦合意が成立 6.29 中国海軍病院船が、尖閣諸島大正島のわが国接続水域に入域

年	防 衛	国内（主な首脳会談含む）	国 際
9. 6	日伊防衛相会談（ローマ）	11.15 日ニュージーランド首脳会談（シンガポール）	6.29 在韓米軍司令部、ソウルから平澤へ移転
9. 6	北海道胆振東部地震にかかる災害派遣（～10.14）	11.15 日フィリピン首脳会談（シンガポール）	6.29 米NBC、北朝鮮が秘密施設で核燃料（濃縮ウラン）を増産中と報道
9. 7	北海道胆振東部地震にかかる即応予備自衛官の災害等招集を閣議決定	11.16 日豪首脳会談（オーストリア）	7. 1 中国海警部隊、武警隷下に編入
9. 7	即応予備自衛官に対する災害等招集命令（～9.24）	11.17 日バプアニューギニア首脳会談（ポート・モレスビー）	7. 7 米艦艇2隻が台湾海峡通過
9.11	日マレーシア防衛相会談（東京）	11.17 APEC首脳会議（ポート・モレスビー）（～11.18）	7.10 韓国政府、米韓演習中止に伴い今夏予定の韓国単独の「乙支（ウルチ）演習」も中止すると発表
9.11	日マレーシア防衛協力・交流に関する覚書署名	11.18 APEC首脳会議（ポート・モレスビー）	7.12 NATOブリュッセル首脳会合
9.21	日エストニア防衛相会談（東京）	11.18 日チリ首脳会談（ポート・モレスビー）	7.23 北朝鮮分析サイト「38ノース」、東倉里の衛星発射場で主要施設の解体が始まったと発表。※8月22日のレポートでは解体作業が8月3日以降、停滞と発表
10. 2	岩屋防衛大臣就任	11.18 日加首脳会談（ポート・モレスビー）	7.27 中国の情報収集機1機が東シナ海から対馬海峡を通過して日本海に進出、その後反転して再び東シナ海へ飛行
10. 3	インドネシアでの地震・津波に対する国際緊急援助活動（～10.25）	11.19 日ブルキナファソ首脳会談（東京）	7.27 中国艦艇1隻が日本海進出
10.10	日豪防衛相会談（シドニー）	11.27 日ヨルダン首脳会談（東京）	8. 3 中国が初モデルの極超音速飛翔体の発射試験に成功と発表
10.10	日豪外務・防衛閣僚協議「[2+2]」（シドニー）	11.30 G20 ブエノスアイレス・サミット（ブエノスアイレス）（～12.1）	8. 6 中国艦艇3隻が大隅海峡を西進し、東シナ海へ向けて航行
10.12	日ウクライナ防衛協力・交流に関する覚書署名	11.30 日仏首脳会談（ブエノスアイレス）	8. 8 中国艦艇3隻が大隅海峡を東進し、太平洋へ向けて航行
10.13	平成30年度日米共同統合防災共同訓練（～10.14）	11.30 日米首脳会談（ブエノスアイレス）	8.14 英ロンドンで車両突入事案発生
10.14	平成30年度観閲式（朝霞）	11.30 日印首脳会談（ブエノスアイレス）	8.28 中国艦艇1隻が日本海進出（～8.29）
10.19	日米防衛相会談（シンガポール）	11.30 日中首脳会談（ブエノスアイレス）	8.29 中国の情報収集機1機が東シナ海から対馬海峡を通過して日本海に進出、その後反転して再び東シナ海へ飛行
10.19	日中防衛相会談（シンガポール）	12. 1 日露首脳会談（ブエノスアイレス）	8.29 ロシア艦艇14隻が宗谷海峡を通過しオホーツク海へ移動（～8.30）
10.19	日米韓防衛相会談（シンガポール）	12. 1 日英首脳会談（ブエノスアイレス）	9. 1 ロシアの哨戒機2機が、わが国周辺を一周する経路で飛行
10.19	日シンガポール防衛相会談（シンガポール）	12. 2 日ウルグアイ首脳会談（モンテビデオ）	9. 1 ロシア艦艇28隻が宗谷海峡を通過し日本海へ移動（～9.2）
10.20	日韓防衛相会談（シンガポール）	12. 2 日パラグアイ首脳会談（アスンシオン）	9. 6 米印防衛・外務2+2
10.20	日ASEAN防衛担当大臣会合（シンガポール）	12.11 日ガーナ首脳会談（東京）	9. 9 平壤で建国70周年慶祝閱兵式（軍事パレード）。ICBMなど弾道ミサイルは登場せず。
10.20	第5回拡大ASEAN国防相会議（シンガポール）	12.13 日モンゴル首脳会談（東京）	9.11 ロシアが大規模演習「ヴォストーク2018」の実動段階を開始（～9.17）
10.24	山口県周防大島町における給水支援にかかる災害派遣（～11.7）	12.18 日ザンビア首脳会談（東京）	9.12 南スーダン政府及び反政府勢力を含む関係者が、「再活性化された衝突解決合意」に署名
10.29	平成30年度日米共同統合演習（KeenSword19/30FTX）（～11.8）	12.18 「平成31年度以降に係る防衛計画の大綱について」「中期防衛力整備計画（平成31年度～平成35年度）について」国家安全保障会議、閣議決定	9.14 南北共同連絡事務所が開所（開城）
11. 9	海賊対処行動の継続の閣議決定		9.18 米国防省サイバー戦略公表
12. 6	四国沖における米軍機の乗員の捜索救助にかかる災害派遣（～12.11）		9.18 文在寅韓国大統領訪朝（～9.20）
12.11	平成30年度在外邦人等保護措置訓練（国内）（～12.14）		9.18 南北首脳会談（～9.19）
12.20	韓国艦艇による海自哨戒機への火器管制レーダー照射事案		9.18 シリア政府軍が露軍航空機を誤射、撃墜
12.25	岐阜県関市における豚熱（CSF）にかかる初の災害派遣（～12.27）		9.19 ロシアの戦闘機を含む3機が日本海を長距離飛行（Su-35戦闘機を対領空侵犯措置により初確認）
12.28	韓国艦艇の火器管制レーダー照射事案に関する動画を公表		9.20 米国務省、中国中央軍事委員会装備発展部を制裁対象に指定
			9.24 米政府、台湾への武器売却（3.3億ドル相当）を議会に通知
			9.30 米海軍駆逐艦1機が南沙諸島・ガベン礁及びジョンソン南礁の12海里以内で「航行の自由作戦」を実施（報道）
			9.30 中国軍の駆逐艦が米艦艇に異常に接近
			10. 2 中国艦艇3隻が沖縄本島と宮古島の間の海域を北進、東シナ海へ向けて航行
			10. 2 イラク新政権発足
			10. 2 サウジ人ジャーナリストが在トルコ・サウジアラビア総領事館で死亡
			10. 4 米国家対テロ戦略発表
			10.19 米韓政府、12月に予定されていた合同軍事演習「ヴィジラント・エース」の中止を発表
			10.20 トランプ大統領、INF全廃条約離脱方針を表明
			10.20 アフガニスタン下院選挙
			10.22 米艦艇2隻が台湾海峡通過
			10.22 中国・ASEAN初の海上共同演習（湛江）（～10.28）
			10.25 安倍首相訪中（～10.27）
			10.25 イスラエル・オマーン首脳会談
			10.28 中国艦艇1隻が日本海進出（～10.29）
			10.29 中国の情報収集機1機が東シナ海から対馬海峡を通過して日本海に進出、その後反転して再び東シナ海へ飛行
			11.11 第一次世界大戦終戦100周年記念式典（パリ）
			11.24 台湾統一地方選で民進党が大敗、蔡英文総統が党主席辞任
			11.25 中国艦艇1隻が日本海進出（～11.26）
			11.26 米海軍巡洋艦1隻が南シナ海の西沙諸島周辺で「航行の自由作戦」を実施（報道）
			11.26 中国の情報収集機1機が東シナ海から対馬海峡を通過して日本海に進出、その後反転して再び東シナ海へ飛行
			11.28 米艦艇2隻が台湾海峡通過
			12. 1 米中首脳会談
			12. 5 米海軍駆逐艦1隻がビョートル大帝湾周辺で「航行の自由作戦」を実施（報道）
			12. 6 イエメン和平協議（～12.13）
			12. 7 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島の間の海域を南東進、太平洋へ向けて航行
			12. 8 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島の間の海域を西進し、東シナ海へ向けて航行
			12.11 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島の間の海域を南東進、太平洋へ向けて航行
			12.12 中国の情報収集機1機が沖縄本島と宮古島間を通過して太平洋に至り、奄美大島沖まで飛行した後反転し、再び沖縄本島と宮古島間を通過
			12.14 中国の情報収集機1機が沖縄本島と宮古島間を通過して太平洋に至り、奄美大島沖まで飛行した後反転し、再び沖縄本島と宮古島間を通過
			12.14 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島の間の海域を北西進、東シナ海に向けて航行
			12.27 UAEが在シリア大使館を再開
			12.27 中国の情報収集機1機が、東シナ海から対馬海峡を通過して日本海に飛来し、その後反転して再び東シナ海へ飛行

年	防 衛	国内（主な首脳会談含む）	国 際
2019 (平成31)	1.11 日仏防衛相会合（ブレスト） 1.11 日仏外務・防衛閣僚会合（[2+2]）（ブレスト） 1.14 多国間共同訓練コブラ・ゴールド19（～2.23） 1.17 岩屋防衛大臣とシャナハン米国防長官代行の会談（ワシントンD.C.） 1.21 平成30年度自衛隊統合演習（指揮所演習）（～1.26） 1.21 韓国艦艇の火器管制レーダー照射事案に関する防衛省としての最終見解を公表 1.23 日豪防衛相会談（東京） 1.23 埼玉県比企郡ときがわ町における山林火災にかかる災害派遣（～1.25） 1.24 和歌山県田辺市における山林火災にかかる災害派遣（～1.26） 2. 5 日フィンランド防衛相会談（東京） 2. 5 日フィンランド防衛協力・交流に関する覚書署名 2. 5 愛知県などにおける豚熱（CSF）にかかる災害派遣（～2.9） 2.14 愛知県田原市における豚熱（CSF）にかかる災害派遣（～2.20） 2.19 岐阜県瑞浪市における豚熱（CSF）にかかる災害派遣（～2.21） 2.20 築城基地所属F-2のレーダー航跡消失にかかる航空救難 3. 8 ADMM プラス防衛医学実動演習（ラクナウ）（～3.18） 3.12 第23回アジア太平洋地域防衛当局者フォーラム（東京ディフェンス・フォーラム）の開催（東京）（～3.13） 3.12 UH-1Hの部品等の無償譲渡にかかる引渡し式典、一部の部品の引渡し 3.25 日オマーン防衛協力・交流に関する覚書署名 3.25 日オマーン防衛相会談（東京） 3.26 奄美駐屯地及び宮古島駐屯地の新設 3.27 愛知県瀬戸市における豚熱（CSF）にかかる災害派遣（～3.30） 3.28 愛知県田原市における豚熱（CSF）にかかる災害派遣（～4.1） 4. 2 「シナイ半島国際平和協力業務実施計画」の閣議決定 4. 4 日伊防衛装備品・技術移転協定発効 4. 5 長野県佐久穂町における山林火災にかかる災害派遣（～4.7） 4. 9 三沢基地所属F-35Aの墜落にかかる航空救難 4.10 愛知県瀬戸市における豚熱（CSF）にかかる災害派遣（～4.13） 4.17 日フィリピン防衛相会談（東京） 4.17 岐阜県恵那市における豚熱（CSF）にかかる災害派遣（～4.19） 4.19 岩屋防衛大臣とシャナハン米国防長官代行との会談（ワシントンD.C.） 4.19 日米安全保障協議委員会（[2+2]）（ワシントンD.C.） 4.24 多国籍部隊・監視団（MFO）司令部要員出国	1. 8 日ルワンダ首脳会談（東京） 1. 8 日加首脳電話会談 1. 9 日蘭首脳会談（ロッテルダム） 1.10 日英首脳会談（ロンドン） 1.22 日露首脳会談（モスクワ） 1.23 日ブラジル首脳会談（ダボス） 1.29 日カタール首脳会談（東京） 2. 4 日独首脳会談（東京） 2.15 日オーストリア首脳会談（東京） 2.20 日米首脳電話会談 2.28 日米首脳電話会談 3. 8 日パラオ首脳会談（東京） 3.24 政府専用機がB-747からB-777に任務交代 3.31 牧港捕給地区（第5ゲート付近の区域）の土地の返還 4. 4 日パナマ首脳会談（東京） 4.16 福岡高裁那覇支部、普天間基地騒音訴訟（第3次・5次）判決 4.23 日仏首脳会談（パリ） 4.24 日伊首脳会談（ローマ） 4.24 日ポーランド首脳会談（プラチスラバ） 4.25 日スロバキア首脳会談（プラチスラバ） 4.25 第3回「V4+日本」首脳会合（プラチスラバ） 4.25 日チェコ首脳会談（プラチスラバ） 4.25 日EU定期首脳協議（ブリュッセル） 4.26 日米首脳会談（ワシントンD.C.） 4.28 日加首脳会談（オタワ） 4.30 退位礼正殿の儀	1. 1 ミー・イース駆逐艦1隻が西沙諸島で「航行の自由作戦」実施 1. 1 金正恩委員長、新年の辞で、これ以上核兵器の製造・実験を行わず、使用・拡散もしないと言及 1. 7 金正恩委員長、訪中（～1.10） 1. 7 米艦艇1隻が西沙諸島周辺の12海里内で「航行の自由作戦」を実施 1.15 韓国、「2018国防白書」発表 1.16 ロシアのSu-24戦術偵察機1機が佐渡沖から秋田県沖まで飛行 同時間帯、別の同型機1機が礼文島沖から奥尻島沖まで飛行 1.17 米国がミサイル防衛見直し（MDR）を発表 1.17 ロシアのIL-38哨戒機1機が山陰沖から北海道沖まで飛行 1.24 米艦艇2隻が台湾海峡を通過 1.24 中国艦艇3隻が沖縄本島と宮古島の間の海域を北西進し、東シナ海に向けて航行 2. 2 米国がINF全廃条約からの脱退を通告 2.11 米駆逐艦2隻、ミステーフ礁周辺で「航行の自由作戦」を実施 2.15 ロシアのTu-95爆撃機2機が山陰沖から日本海を北上し、オホーツク海へ飛行するとともに、Su-35戦闘機2機が山陰沖から佐渡沖まで、別のSu-35戦闘機2機が佐渡沖から礼文島沖まで飛行 2.15 ロシアのTu-95爆撃機2機が太平洋を北海道沖から南下し、四国沖で反転した後、日本海の北海道沖へ飛行 2.16 中国艦艇3隻が日本海進出（～2.24） 2.23 中国のY-9情報収集機1機が東シナ海から対馬海峡を通過して日本海を飛行した後反転し、再び東シナ海を飛行 2.25 米艦艇2隻、台湾海峡を通過 2.27 第2回米朝首脳会談（～2.28） 3. 4 ロシアがINF全廃条約の義務履行停止を米側に通告 3.15 ニュージーランドのクライストチャーチで51人が死亡する銃乱射事件発生 3.19 中国のY-9哨戒機2機による東シナ海のわが国防空識別圏内の飛行を初確認 3.24 タイ下院総選挙 3.24 米艦艇2隻、台湾海峡を通過 3.25 トランプ米大統領、ゴラン高原のイスラエル主権を認定 3.27 ロシアのIL-38哨戒機1機が山陰沖から北海道沖まで飛行 3.28 中国艦艇3隻が大隅海峡を東進し、太平洋に向けて航行 3.30 中国のH-6爆撃機4機、Tu-154情報収集機1機及び推定戦闘機2機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島間を通過して太平洋を飛行した後反転し、再び沖縄本島と宮古島の間を通過 3.31 中国軍機2機による台湾海峡「中間線」越え飛行 4. 1 中国のY-9情報収集機1機及びH-6爆撃機2機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島の間を通過して太平洋を飛行した後反転し、再び沖縄本島と宮古島の間を通過 4. 2 ロシア艦艇3隻が対馬海峡を南下し東シナ海に向けて移動 4. 2 中国艦艇3隻が沖縄本島と宮古島の間の海域を北西進し、東シナ海に向けて航行 4. 5 中国艦艇3隻が沖縄本島と宮古島間の海域を南下し、一時的に太平洋に向けて航行 4. 5 ロシアのIL-38哨戒機1機が山陰沖から能登半島沖を飛行 4. 6 仏艦艇1隻が台湾海峡を通過 4. 9 イスラエル議会総選挙 4.15 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島間の海域を南東進し、一時的に太平洋に進出したが、同日に沖縄本島と宮古島間の海域を北西進し、東シナ海に向けて航行 4.15 中国のH-6爆撃機4機及びY-9電子戦機1機がバシー海峡方面から飛来し、沖縄本島と宮古島の間を通過して東シナ海を飛行 4.15 米政府、台湾への武器売却（5億ドル相当）を議会に通知 4.17 インドネシア大統領選挙 4.21 スリランカ・コロンボなどでイスラム過激派による同時爆破テロ発生 4.24 金正恩委員長、訪露（～4.26） 4.26 ロシア艦艇5隻が対馬海峡を南下し東シナ海へ向けて移動 4.28 米艦艇2隻が台湾海峡を通過 4.28 ロシア艦艇4隻が対馬海峡を北上し日本海へ向け移動 4.29 中露海軍共同演習「海上協力2019」（青島）（～5.4） 5. 3 ロシアのTu-142哨戒機2機が日本海から対馬海峡を通過して東シナ海へ飛行した後、再び対馬海峡を通過して日本海を飛行 5. 4 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射 5. 6 米艦艇2隻がガベン礁・ジョンソン南礁の12海里内で「航行の自由作戦」を実施 5. 6 ロシア艦艇5隻が対馬海峡を北上し日本海へ向け移動 5. 9 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射 5.11 ロシア艦艇3隻が津軽海峡を東進し太平洋へ向けて移動 5.19 豪州連邦議会総選挙 5.19 米艦艇1隻が中沙諸島のスカーボロ礁の12海里以内で航行させる「航行の自由作戦」を実施 5.22 米艦艇2隻が台湾海峡を通過 5.23 パキスタン、弾道ミサイル発射実験 5.26 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島間の海域を南下し、一時的に太平洋に進出したが、30日に沖縄本島と宮古島間の海域を北上し、東シナ海に向けて航行 5.27 台湾軍、「漢光35号」統合実動演習を実施（～5.31） 5.29 中国のY-9情報収集機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島の間を通過して太平洋を飛行、その後反転して、再び沖縄本島と宮古島間を通過。同時間帯、中国のY-8電子戦機1機が東シナ海を対馬海峡付近まで飛行 5.30 インド、第2次モディ政権発足 6. 1 米国防省がインド太平洋戦略報告書（IPSR）を発表 6. 7 フィリピン海で米軍とロシア軍の艦船が異常接近 6. 8 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を東進しオホーツク海へ向けて移動 6. 8 ロシア艦艇2隻が沖縄本島と宮古島間の海域を北上し、東シナ海に向けて航行 6.10 空母「遼寧」含む中国艦艇6隻が沖縄本島と宮古島の間の海域を南下し、太平洋へ向けて航行 6.12 ロシア艦艇3隻が対馬海峡を北上 6.13 ホルムズ海峡付近において日本関係船舶を含む民間船舶が攻撃を受ける事案発生 6.14 中国公船が尖閣諸島周辺の接続水域内を過去最長となる64日間連続航行 6.16 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島間の海域を北西進し、東シナ海に向けて航行
2019 (令和元)	5. 2 日ベトナム防衛相会談（ハノイ） 5. 2 防衛産業間協力の促進の方向性に係る日ベトナム防衛当局間の覚書への署名 5.17 愛知県田原市における豚熱（CSF）にかかる災害派遣（～5.20） 5.18 鹿児島県屋久島における豪雨による孤立者の救助にかかる災害派遣（～5.20） 5.19 鹿児島県口永良部島における豪雨による断水被害等にかかる災害派遣（～5.24） 5.21 令和元年度自衛隊統合防災演習（～5.24） 5.22 日シンガポール防衛相会談（東京） 5.23 日カタール防衛相会談（東京） 5.27 東京都檜原村における山林火災にかかる災害派遣（～5.29） 5.27 千葉県犬伏沖における船舶衝突事故に伴う行方不明者救助にかかる災害派遣（～5.31） 5.27 北海道雄武町における山林火災にかかる災害派遣（～6.4） 5.30 日露防衛相会談（東京） 5.30 日露外務・防衛閣僚協議（[2+2]）（東京） 5.31 岩谷防衛大臣の第18回IISSアジア安全保障会議（シャングリラ会合）出席（～6.2） 6. 1 日豪防衛相会談（シンガポール） 6. 1 日中防衛相会談（シンガポール） 6. 1 日米豪防衛相会談（シンガポール） 6. 1 日米韓防衛相会談（シンガポール） 6. 3 日加防衛相会談（東京） 6. 4 岩屋防衛大臣とシャナハン米国防長官代行との会談（東京） 6. 5 岐阜県山県市における豚熱（CSF）にかかる災害派遣（～6.8） 6.17 イー・ジス・アショア整備推進本部の設置	5. 1 剣聖等承継の儀 5. 1 即位後朝見の儀 5. 6 日米首脳電話会談 5.17 改正ドローン規制法が成立 5.23 日印首脳電話会談 5.27 日米首脳会談（東京） 5.29 日バングラデシュ首脳会談（東京） 5.30 日ラオス首脳会談（東京） 5.30 日サウジアラビア首脳電話会談 5.31 日UAE首脳電話会談 5.31 日マレーシア首脳会談（東京） 5.31 日カンボジア首脳会談（東京） 5.31 日フィリピン首脳会談（東京） 6. 6 東京高裁、横田基地騒音訴訟（第10、11次）判決 6.10 日スイス首脳会談（東京） 6.12 日イラン首脳会談（テヘラン） 6.14 日米首脳電話会談 6.25 日UAE電話会談 6.26 日仏首脳会談（東京） 6.27 日EU首脳会談（大阪） 6.27 日印首脳会談（大阪） 6.27 日アルゼンチン首脳会談（大阪） 6.27 日エジプト首脳会談（大阪） 6.27 日豪首脳会談（大阪） 6.27 日中首脳会談（大阪） 6.28 安倍総理のG20大阪サミットの開催（～6.29） 6.28 日米首脳会談（大阪） 6.28 日米印首脳会談（大阪） 6.28 日独首脳会談（大阪） 6.28 日英首脳会談（大阪） 6.28 日タイ首脳会談（大阪） 6.29 日南アフリカ首脳会談（大阪）	

年	防 衛	国内（主な首脳会談含む）	国 際
6. 18	日バキスタン防衛協力・交流に関する覚書への署名	6. 29 日ブラジル首脳会談（大阪）	6. 16 中国のY-9情報収集機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島の間を通過して太平洋を飛行した後反転し、再び沖縄本島と宮古島の間を通過
6. 21	高知県安芸郡北川村における山林火災にかかるとの災害派遣（～6.22）	6. 29 日露首脳会談（大阪）	6. 18 カナダ艦艇2隻が台湾海峡を通過
6. 25	日米防衛相電話会談	7. 1 日トルコ首脳会談（東京）	6. 20 ロシアのTu-95爆撃機2機がわが国を周回飛行し、太平洋を北上する際、2度にわたり領空侵犯
6. 26	日仏物品役務相互提供協定（ACSA）発効	7. 23 日サウジアラビア首脳電話会談	6. 20 イラン革命ガード、ホルムズ海峡上空で米無人機を撃墜
6. 29	愛知県西尾市における豚熱（CSF）にかかるとの災害派遣（～7.2）	7. 23 TICAD7関係閣僚会議（東京）	6. 20 習近平国家主席が北朝鮮を訪問（中国国家主席による訪朝は2005年の胡錦濤前国家主席以来約14年ぶり）。習近平氏の訪朝は2008年の国家副主席としての訪朝以来約11年ぶり）
7. 3	岐阜県恵那市における豚熱（CSF）にかかるとの災害派遣（～7.5）	8. 2 日英首脳電話会談	6. 21 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を東進
7. 18	日加物品役務相互提供協定（ACSA）発効	8. 24 ビアリッツサミット（フランス）（～11.26）	6. 23 ASEAN首脳会議、「インド太平洋に関するASEANアウトLOOK」（AOIP）を採択
7. 24	三重県いなべ市における豚熱（CSF）にかかるとの災害派遣（～7.27）	8. 24 日独首脳会談（ビアリッツ）	6. 23 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を西進
7. 25	日本国内における合衆国軍隊の使用する施設・区域外での合衆国軍用航空機事故に関するガイドライン改正	8. 24 日加首脳会談（ビアリッツ）	6. 30 米朝首脳が板門店において面会
7. 26	日スリランカ防衛協力・交流に関する覚書への署名	8. 25 日米首脳会談（ビアリッツ）	7. 1 ロシア潜水艇で火災が発生し、14名の乗組員が死亡
8. 7	日米防衛相会談（東京）	8. 25 日チリ首脳会談（ビアリッツ）	7. 2 6月から7月にかけて、中国が南シナ海において初となる対艦弾道ミサイルの発射実験（報道）
8. 28	令和元年8月の前線に伴う大雨にかかるとの災害派遣（～10.7）	8. 26 日豪首脳会談（ビアリッツ）	7. 6 中国艦艇2隻が対馬海峡を南下
9. 2	日印防衛相会談（東京）	8. 26 日英首脳会談（ビアリッツ）	7. 8 米政府、台湾への武器売却（22億ドル相当）を議院に通知
9. 10	令和元年房総半島台風（台風第15号）にかかるとの災害派遣（～10.7）	8. 28 第7回アフリカ開発会議（TICAD7）（～8.30）	7. 12 米軍が国家軍事戦略の概要を公表
9. 17	北海道納沙布岬東方沖における漁船の捜索にかかるとの災害派遣（～9.21）	8. 28 日ケニア首脳会談（横浜）	7. 15 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を西進
9. 22	岐阜県恵那市における豚熱（CSF）にかかるとの災害派遣（～9.24）	8. 28 日マリ首脳会談（横浜）	7. 22 中国艦艇1隻が対馬海峡北上し、一時的に日本海へ進出したが、23日に対馬海峡を南下し、東シナ海に向けて航行
9. 23	日米防衛相電話会談	8. 28 日ギニア首脳会談（横浜）	7. 23 中国のH-6爆撃機2機及びロシアのTu-95爆撃機2機が、ともに対馬海峡を通過し、東シナ海を南下。その後、中国機2機は北西の大陸方向に飛行し、ロシア機2機は、沖縄本島及び宮古島の間を通過して太平洋を飛行した後反転し、再び沖縄本島及び宮古島の間を通過し、東シナ海を北上した後、再び対馬海峡を通過。また、ロシア機の支援をしていたとされるA-50早期警戒管制機が竹島を領空侵犯
9. 24	山梨県南都留郡道志村における行方不明者捜索にかかるとの災害派遣（～9.28）	8. 29 日エチオピア首脳会談（横浜）	7. 24 米艦艇1隻が台湾海峡を通過
10. 1	日イラン防衛相電話会談	8. 29 日ジブチ首脳会談（横浜）	7. 24 中国が国防白書「新時代における中国の国防」を発行（約4年ぶり10回目）
10. 3	日豪防衛相電話会談	8. 29 日ウガンダ首脳会談（横浜）	7. 25 米艦艇1隻が台湾海峡を通過
10. 3	日米防衛相電話会談	8. 29 日ガーボヘルデ首脳会談（横浜）	7. 25 中国艦艇4隻が沖縄本島と宮古島間の海域を南下し、太平洋に向けて航行
10. 3	日サウジアラビア防衛相電話会談	8. 29 日ルワンダ首脳会談（横浜）	7. 25 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射
10. 9	日ラオス防衛協力・交流に関する覚書への署名	8. 29 日モーリシャス首脳会談（横浜）	7. 27 中国艦艇2隻が沖縄本島と宮古島間の海域を南下し、太平洋に向けて航行
10. 12	令和元年東日本台風（台風第19号）にかかるとの災害派遣（～11.30）	8. 29 日中央アフリカ首脳会談（横浜）	7. 31 北朝鮮、弾道ミサイル（可能性）を2発発射
10. 14	令和元年東日本台風（台風第19号）にかかるとの即応予備自衛官の災害等招集及び予備自衛官の災害招集を閣議決定	8. 29 日ナミビア首脳会談（横浜）	8. 1 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を西進
10. 14	即応予備自衛官に対する災害等招集命令及び予備自衛官に対する災害招集命令（～11.9）	8. 29 日セネガル首脳会談（横浜）	8. 1 中国艦艇6隻が沖縄本島と宮古島間の海域を北上し、東シナ海に向けて航行
10. 16	日カタル防衛相電話会談	8. 29 日ニジェール首脳会談（横浜）	8. 2 メドベージェフ首相が択捉島訪問
10. 16	河野防衛大臣とハリファ・バーレーン国軍司令官との電話会談	8. 29 日シエラレオネ首脳会談（横浜）	8. 2 北朝鮮、弾道ミサイル（可能性）を2発発射
10. 24	日UAE防衛相電話会談	8. 29 日サントメ・プリンシペ首脳会談（横浜）	8. 2 INF全廃条約終了
10. 25	日豪防衛相電話会談	8. 29 日ナイジェリア首脳会談（横浜）	8. 6 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射
10. 28	日オマーン防衛相電話会談	8. 30 日ジンバブエ首脳会談（横浜）	8. 8 ロシア艦艇1隻が宗谷海峡を東進
10. 29	日印防衛相電話会談	8. 30 日リベリア首脳会談（横浜）	8. 8 ロシアのTu-142哨戒機2機が日本海から対馬海峡を通過して東シナ海へ飛行した後、再び対馬海峡を通過して日本海へ飛行
10. 29	日デンマーク防衛相電話会談	8. 30 日ベナン首脳会談（横浜）	8. 8 ロシア北部アルハンゲリク付近のロシア軍施設で、放射能漏れを伴うとされる爆発によりロシア国防省及び国営原子力関連企業の職員など複数人が死亡
11. 8	日英防衛相電話会談	8. 30 日マダガスカル首脳会談（横浜）	8. 10 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射
11. 12	海賊対処行動の継続の閣議決定	8. 31 日セシエル首脳会談（東京）	8. 15 ロシア艦艇3隻が宗谷海峡を東進
11. 16	第6回拡大ASEAN防衛相会議及び第5回国回ASEAN防衛担当相会合（タイ）（～11.18）	8. 31 日エスワティニ首脳会談（東京）	8. 16 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射
11. 17	「ビエンチャン・ビジョン2.0」発表	8. 31 日コモロ首脳会談（東京）	8. 16 安保理、カシ米尔情勢にかかわる非公式会合を実施
11. 17	日タイ防衛相会談（バンコク）	8. 31 日コートジボワール首脳会談（東京）	8. 18 中国艦艇2隻が対馬海峡を北上
11. 17	日タイ防衛協力・交流に関する覚書への署名	8. 31 日レント首脳会談（東京）	8. 18 米国が中距離で通常弾頭の地上発射型巡航ミサイルの発射実験を実施
11. 17	日韓防衛相会談（バンコク）	8. 31 日タンザニア首脳会談（東京）	8. 20 米政府、台湾への武器売却（80億ドル相当）を議院に通知
11. 17	日印防衛相会談（バンコク）	8. 31 日ソマリア首脳会談（東京）	8. 22 中国艦艇2隻が対馬海峡を南下
11. 17	日米韓防衛相会談（バンコク）	8. 31 日ガーナ首脳会談（東京）	8. 23 米艦艇1隻が台湾海峡を通過
11. 17	日ニュージーランド防衛相会談（バンコク）	9. 5 日印首脳会談（ウラジオストク）	8. 24 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射
11. 17	日フィリピン防衛相会談（バンコク）	9. 5 日モンゴル首脳会談（ウラジオストク）	8. 25 ロシア艦艇7隻が宗谷海峡を東進
11. 17	日ミャンマー防衛相会談（バンコク）	9. 5 日露首脳会談（ウラジオストク）	8. 28 中国艦艇1隻が南沙諸島フィアリークロス礁及びミスチーフ礁の12海里内で「航行の自由作戦」を実施
11. 17	日シンガポール防衛相会談（バンコク）	9. 11 福岡高裁那覇支部、嘉手納基地騒音訴訟（第5次）判決	8. 29 米軍機1機が台湾海峡を飛行
11. 18	日米防衛相会談（バンコク）	9. 13 日コンボ首脳会談（東京）	8. 29 米国が第11の統合軍である宇宙コマンドを創設
11. 18	日インドネシア防衛相会談（バンコク）	9. 18 日豪首脳電話会談	9. 2 初の米ASEAN海上共同演習（AUMX）を実施（～9.6）
11. 20	日豪防衛相会談（東京）	9. 19 日ニュージーランド首脳会談（東京）	9. 5 英艦艇1隻がバラセル諸島付近に航行
11. 21	ジブチ共和国における大雨、洪水被害に対する国際緊急援助活動（ジブチ）（～11.23）	9. 23 第74回国連総会出席（ニューヨーク）（～9.26）	9. 10 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射
11. 23	第15回IISS地域安全保障サミット（マナマ対話）（マナマ）（～11.24）	9. 23 日ヨルダン首脳会談（ニューヨーク）	9. 10 カナダ艦艇1隻が台湾海峡を通過
11. 23	日仏防衛相会談（マナマ）	9. 24 日イラン首脳会談（ニューヨーク）	9. 11 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を西進
11. 24	河野防衛大臣とハリファ・バーレーン国軍司令官との会談（マナマ）	9. 25 日米首脳会談（ニューヨーク）	9. 11 台湾が国防報告書を公表（2年ぶり15回目）
11. 24	河野大臣とイエメン大統領顧問との会談（マナマ）	9. 25 日EU首脳会談（ニューヨーク）	9. 13 米艦艇1隻が西沙諸島周辺海域で「航行の自由作戦」を実施
11. 27	日独防衛相電話会談	9. 27 日EU首脳会談（ブリュッセル）	9. 14 ホーシー派によるサウジアラビアの石油施設への攻撃
11. 30	日印防衛相会談（デリー）	10. 2 日サモア首脳会談（東京）	9. 16 ロシアの中央軍管区で実施された大規模演習に中国を含むSCO加盟国軍が参加（～9.21）
11. 30	日印外務・防衛閣僚会合（「2+2」）（デリー）	10. 12 日ヨルダン首脳電話会談	9. 16 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を西進
12. 2	NATOサイバー防衛演習「サイバー・コアリション2019」（～12.6）（初正式参加）	10. 21 日モルディブ首脳会談（東京）	9. 16 ロシア戦略指揮・参謀部演習「ツェントル2019」（～9.21）
12. 3	日モンゴル防衛相会談（東京）	10. 21 アウン・サン・スー・チー・ミャンマー国家最高顧問との会談（東京）	9. 17 イスラエル議会再総選挙
12. 14	第19回ドーハ・フォーラム（ドーハ）	10. 21 日バレスチナ首脳会談（東京）	9. 17 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を西進
12. 14	日カタル防衛相会談（ドーハ）	10. 21 日ネパール首脳会談（東京）	9. 20 米艦艇1隻が台湾海峡を通過
12. 14	日マレーシア防衛相会談（ドーハ）	10. 21 日スロバキア首脳会談（東京）	9. 21 中国とソロモン諸島が国交樹立（台湾とソロモン諸島断交（9.16））
12. 15	河野防衛大臣とヨルダン統合参謀本部議長との会談（アンマン）	10. 21 日セルビア首脳会談（東京）	9. 26 米軍機1機が台湾海峡を飛行
12. 18	日中防衛相会談（北京）	10. 21 日フィンランド首脳会談（東京）	9. 27 中国とキリバス共和国が国交樹立（台湾とキリバス共和国断交（9.20））
12. 19	日米防衛相電話会談	10. 21 日ミクロネシア首脳会談（東京）	10. 1 中国建国70周年軍事パレードを実施
12. 20	日インドネシア防衛相会談（東京）	10. 21 日パラオ首脳会談（東京）	10. 1 ロシア艦艇3隻が宗谷海峡を東進
		10. 21 日モンゴル首脳会談（東京）	10. 2 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射（わが国排他的経済水域（EEZ）内に落下）
		10. 21 日ルーマニア首脳会談（東京）	10. 7 ロシア艦艇3隻が対馬海峡を南西進
		10. 21 日ウクライナ首脳会談（東京）	10. 9 トルコ、シリア北部で軍事作戦開始
		10. 21 日コンボ首脳会談（東京）	10. 14 ロシア軍の東部軍管区は、サハリン州と沿海地方で最大8千人が参加する大規模演習を開始した旨発表
		10. 21 日レント王国首脳会談（東京）	10. 15 ロシア戦略核部隊演習「グロム2019」（～10.17）
		10. 21 日エスワティニ首脳会談（東京）	10. 21 カナダ連邦下院総選挙
		10. 21 日ニジェール首脳会談（東京）	10. 22 ロシアのTu-95爆撃機2機が日本海から対馬海峡を通過して東シナ海へ飛行した後、再び対馬海峡を通過して日本海へ飛行
		10. 21 日コートジボワール首脳会談（東京）	10. 25 中国艦艇2隻が対馬海峡を北上
		10. 22 即位礼正殿の儀	10. 27 米、ISIL最高指導者殺害を公表
		10. 23 日スロベニア首脳会談（東京）	10. 27 中国艦艇3隻が沖縄本島と宮古島間の海域を北上し、東シナ海に向けて航行
		10. 23 日シンガポール首脳会談（東京）	10. 29 中国艦艇2隻が対馬海峡を南下
		10. 23 日パキスタン首脳会談（東京）	
		10. 23 日タイ首脳会談（東京）	
		10. 23 日アフガニスタン首脳会談（東京）	
		10. 23 日ナウル首脳会談（東京）	

年	防 衛	国内（主な首脳会談含む）	国 際
	12.21 御蔵島（伊豆諸島）周辺における漁船の捜索にかかる災害派遣（～12.24） 12.25 日サウジアラビア防衛相電話会談 12.26 日豪防衛相電話会談 12.27 「中東地域における日本関係船舶の安全確保に関する政府の取組について」閣議決定 12.28 日ジブチ防衛相会談（ジブチ） 12.29 日オマーン防衛相会談（マスカット）	10.23 日マーシャル首脳会談（東京） 10.23 日ブラジル首脳会談（東京） 10.23 日キルギス首脳会談（東京） 10.23 日トルクメニスタン首脳会談（東京） 10.23 日カザフスタン首脳会談（東京） 10.23 日独首脳会談（東京） 10.23 日モンテネグロ首脳会談（東京） 10.23 日スロベニア首脳会談（東京） 10.24 安倍総理大臣と韓国国務総理の会談（東京） 10.24 日アルメニア首脳会談（東京） 10.24 日グアテマラ首脳会談（東京） 10.24 日アルバニア首脳会談（東京） 10.24 日ジョージア首脳会談（東京） 10.24 日パナマ首脳会談（東京） 10.24 日ブルガリア首脳会談（東京） 10.24 日チェコ首脳会談（東京） 10.25 広島高裁、岩国基地騒音訴訟（第1次～3次）判決 11. 1 日チリ首脳電話会談 11. 3 ASEAN関連首脳会議（バンコク）（～11.5） 11. 4 日タイ首脳会談（バンコク） 11. 4 第22回ASEAN+3（日中韓）首脳会議（バンコク） 11. 4 日中（中国国務院総理）首脳会談（バンコク） 11. 4 日印首脳会談（バンコク） 11. 4 日シンガポール首脳会談（バンコク） 11. 4 第14回東アジア首脳会議（EAS）（バンコク） 11. 4 日フィリピン首脳会談（バンコク） 11. 4 第22回日ASEAN首脳会議（バンコク） 11. 4 第3回RCEP首脳会議（バンコク） 11. 4 日インドネシア首脳会談（バンコク） 11. 4 日ベトナム首脳会談（バンコク） 11. 4 第11回日本・メコン地域諸国首脳会議（バンコク） 11.10 祝賀御列の儀 11.12 「日・パオ外交関係樹立25周年記念式典」出席（東京） 11.14 日ミクロネシア首脳会談（東京） 11.25 ローマ教皇フランシスコ下の会談（東京） 11.29 日エルサルバドル首脳会談（東京） 12. 2 日EU首脳電話会談 12. 6 日ハンガリー首脳会談（東京） 12.12 日ジャマイカ首脳会談（東京） 12.19 日ウズベキスタン首脳会談（東京） 12.20 日イラン首脳会談（東京） 12.21 日英首脳電話会談 12.21 日米首脳電話会談 12.23 日中首脳会談（中国） 12.24 第8回日中韓サミット（成都）（～12.25） 12.24 日韓首脳会談（成都）	10.29 中国のY-9情報収集機1機が東シナ海から対馬海峡を通過して日本海へ飛行した後反転し、再び東シナ海へと飛行 10.31 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射 11. 7 国際海洋安全保障構成体（IMSG）司令部がバーレーンに設立 11.12 米艦艇1隻が台湾海峡を通過 11.17 中国国産空母が初めて台湾海峡を通過 11.17 米韓、外交的努力と平和を促進する環境をつくるための善意の措置として、米韓連合空中訓練を延期する旨発表 11.20 米艦艇1隻が南沙諸島のミズーフ礁の12海里以内を航行する「航行の自由作戦」を実施 11.21 米艦艇1隻が西沙諸島付近で「航行の自由作戦」を実施 11.27 ロシアのTu-95爆撃機2機が日本海から対馬海峡を通過して東シナ海へ飛行した後、再び対馬海峡を通過して北海道沖まで飛行 11.27 中国艦艇4隻が大隅海峡を東進し、太平洋に向けて航行 11.28 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射 11.28 中国艦艇1隻が対馬海峡を北上し、一時的に日本海へ進出したが、29日に対馬海峡を南下し、東シナ海に向けて航行 11.29 中国のY-9情報収集機1機が東シナ海から対馬海峡を通過して日本海を飛行した後反転し、再び東シナ海を飛行 12. 4 アフガニスタン東部で、日本人医師が銃撃事件により死亡 12. 7 英艦艇1隻が台湾海峡を通過 12. 8 北朝鮮、12月7日に「西海衛星発射場」（東倉里）で「重大な実験」を行ったと発表 12.10 ベトナム、「国防白書2019」を公表 12.12 米国防省が射程500km以上の射程を持つ通常弾頭仕様の地上発射型弾道ミサイルのプロトタイプの発射実験を実施した旨を発表 12.14 北朝鮮、12月13日に「西海衛星発射場」（東倉里）で「重大な実験」を行ったと発表 12.16 中国艦艇4隻が沖縄本島と宮古島間の海域を北上し、東シナ海に向けて航行 12.16 ロシア艦艇3隻が対馬海峡を北上 12.17 中国初の国産空母が「山東」と命名され、海南島・三亜において就役 12.20 米国が第6の軍種である宇宙軍を創設 12.24 露第5世代戦闘機Su-57、試験飛行中に墜落 12.26 空母「山東」が台湾海峡を通過 12.26 中国艦艇1隻が対馬海峡を北上し、一時的に日本海へ進出したが、27日に対馬海峡を南下し、東シナ海に向けて航行 12.27 中国のY-9情報収集機1機が東シナ海から対馬海峡を通過して日本海を飛行した後反転し、再び東シナ海を飛行 12.28 北朝鮮、朝鮮労働党中央委員会総会を開催（～12.31） 12.30 インドネシア外務省は、ナツナ諸島周辺のインドネシアのEEZ内で中国海警局所属の公船が漁船団を護衛する形で違法操業をしたことを確認したとし、抗議声明を発表
2020 (令和2)	1. 7 日米防衛相電話会談 1. 8 沖縄県うるま市・沖縄市における豚熱（CSF）にかかる災害派遣（～1.20） 1. 9 日印防衛相電話会談 1. 9 日イラン防衛相電話会談 1.10 防衛大臣、中東地域における日本関係船舶の安全確保に必要な情報収集活動の実施を命令 1.14 日米防衛相会談（ワシントンD.C.） 1.15 豪州における国際緊急援助活動（豪州）（～2.8） 1.26 多国間共同訓練コブラ・ゴールド20への参加（～3.9） 1.31 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための救援にかかる災害派遣（～3.16） 2. 2 沖縄県・沖縄市における豚熱（CSF）にかかる災害派遣（～2.4） 2.13 「新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る即応予備自衛官の災害等招集及び予備自衛官の災害招集」を閣議決定 2.13 予備自衛官に対する災害招集命令（～3.16） 2.15 第56回ミュンヘン安全保障会議（ミュンヘン） 2.15 日ウクライナ防衛相会談（ミュンヘン） 2.15 日加防衛相会談（ミュンヘン） 2.15 日仏防衛相会談（ミュンヘン） 2.15 日独防衛相会談（ミュンヘン） 2.15 日野防衛大臣とボレルEU上級代表との会談（ミュンヘン） 2.15 日野防衛大臣とストルベンデルNATO事務総長との会談（ミュンヘン） 3. 1 青森県下北郡沖における貨物船沈没に伴う乗員の捜索救助にかかる災害派遣（～3.3） 3. 2 日UAE防衛相電話会談 3.28 新型コロナウイルス感染症に対する水際対策強化にかかる災害派遣（～5.31） 4.17 日仏防衛相電話会談 4.20 宮城県新型コロナウイルス市中感染拡大防止にかかる災害派遣（～5.1） 4.24 日米防衛相電話会談	1. 7 日豪首脳電話会談 1.11 日加首脳電話会談 1.12 日サウジアラビア首脳会談（リヤド） 1.13 日UAE首脳会談（アブダビ） 1.14 日オマーン首脳会談（マスカット） 1.21 日ポーランド首脳会談（東京） 1.23 東京高裁、横田基地騒音訴訟（第9次・12次）判決 2.10 日エストニア首脳会談（東京） 3.12 金沢地裁、小松基地騒音訴訟（第5次・6次）判決 3.13 日仏首脳電話会談 3.13 日米首脳電話会談 3.15 日英首脳電話会談 3.16 G7首脳テレビ会議 3.24 日加首脳電話会談 3.25 日米首脳電話会談 3.25 日豪首脳電話会談 3.26 G20首脳テレビ会議 3.30 安倍内閣総理大臣と世界保健機関事務局長との電話会談 4. 3 日スウェーデン首脳電話会談 4.10 日印首脳電話会談 4.14 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関するASEAN+3（日中韓）特別首脳テレビ会議 4.16 G7首脳テレビ会議 4.17 日トルコ首脳電話会談 4.21 日エチオピア首脳電話会談 4.23 日ヨルダン首脳電話会談 4.23 日インドネシア首脳電話会談 5. 4 日ベトナム首脳電話会談 5. 5 日イラン首脳電話会談 5. 7 日露首脳電話会談 5. 8 日米首脳電話会談 5.12 日ルクセンブルク首脳電話会談 5.19 日ペルー首脳電話会談 5.26 日EU首脳テレビ会議 6.18 日スペイン首脳電話会談 7. 8 最高裁、普天間基地騒音訴訟（第3次・5次）決定 7. 9 日豪首脳テレビ会談 7.16 日独首脳テレビ会談	1. 3 米国、イラン革命ガード・コッヅ部隊のソレイマニ司令官を殺害 1. 8 イラン革命ガード、ウクライナ旅客機を撃墜 1. 8 イラン、イラクの米軍駐留基地を弾道ミサイルで攻撃 1.11 台湾総統選が実施され、現職の民進党の蔡英文総統が再選 1.15 ロシア首相、内閣総辞職を発表 1.16 米艦艇1隻が台湾海峡を通過 1.20 マレーシア、初の国防白書を公表 1.20 中国のTu-154情報収集機1機が東シナ海を長距離飛行 1.21 ロシア新内閣発足 1.25 米艦艇1隻が南沙諸島のファイアリークロス礁周辺で「航行の自由作戦」を実施 1.31 英国、EU離脱 2. 4 米国防省が潜水艦発射型弾道ミサイル搭載の低出力核弾頭を配備している旨を発表 2. 6 米国、アラビア半島のアルカイダ（AQAP）の指導者殺害を公表 2. 9 中国のH-6爆撃機4機がバシー海峡方面から飛来し、沖縄本島と宮古島の間を通過して東シナ海へ飛行 2.10 中国軍機による台湾海峡「中間線」越え飛行 2.11 フィリピン外務省、米国に対し訪問軍協定（VFA）破棄を通知 2.12 ロシア艦艇2隻が対馬海峡を南西進 2.12 米軍機1機が台湾海峡を飛行 2.15 米艦艇1隻が台湾海峡を通過 2.21 イラン議会選挙 2.22 南スーダンで、「再活性化された衝突解決合意」に基づく暫定政府が発足 2.27 ロシアのSu-34戦闘爆撃機2機によるオホーツク海のわが国防空識別圏内の飛行を初確認 2.27 米韓、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、米韓連合訓練を延期すると発表 2.29 米国、タリバーンと和平合意に署名 3. 2 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射 3. 9 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射 3.10 米艦艇1隻が西沙諸島付近で「航行の自由作戦」を実施 3.18 中国艦艇4隻が沖縄本島と宮古島間の海域を北上し、東シナ海に向けて航行 3.21 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射 3.23 中国のY-9早期警戒機による東シナ海のわが国防空識別圏の飛行を初確認 3.24 中国艦艇1隻が対馬海峡を北上し、一時的に日本海へ進出したが、25日に対馬海峡を南下し、東シナ海に向けて航行 3.24 ロシアのTu-95爆撃機2機が日本海からオホーツク海を経て太平洋まで飛行するとともに、それに併せてSu-35戦闘機2機及び推定ロシア機2機が日本海を飛行 3.25 中国のY-9情報収集機1機が東シナ海から対馬海峡を通過して日本海を飛行した後反転し、再び東シナ海へと飛行 3.25 米艦艇1隻が台湾海峡を通過

年	防 衛	国内（主な首脳会談含む）	国 際
4. 24	日独防衛相電話会談	8. 4 日ベトナム首脳電話会談	3.26 ロシア艦艇18隻が宗谷海峡を東進
4.26	長崎県の新型コロナウイルス市中感染 拡大防止にかかる災害派遣（～5.10）	8.31 日米首脳電話会談	3.26 ロシア艦艇2隻が対馬海峡を北東進
4.28	日英防衛相電話会談	8.31 日露首脳電話会談	3.29 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射
5. 1	日加防衛相電話会談	9. 2 日加首脳電話会談	4. 3 ロシア艦艇2隻が対馬海峡を南西進
5. 2	長崎県の新型コロナウイルス市中感染 拡大防止にかかる災害派遣（～5.14）	9. 2 日ヨルダン首脳電話会談	4. 9 ロシアのIL-38哨戒機2機がオホーツク海から日本海を長距離を飛行
5. 7	日豪防衛相電話会談	9. 2 日英首脳電話会談	4.10 空母「遼寧」を含む中国艦艇6隻が沖縄本島と宮古島の間の海域を南下し、太平洋に向けて航行
5. 8	日印防衛相電話会談	9. 7 イスラエル首脳電話会談	4.10 米艦艇1隻が台湾海峡を通過
5. 8	兵庫県朝来市における山林火災にかかる 災害派遣（～5.11）	9. 7 フィリピン首脳電話会談	4.15 米宇宙コマンド、ロシアが地上発射型対衛星ミサイルの発射試験を実施した旨発表
5.12	日フィリピン防衛相電話会談	9. 8 日豪首脳電話会談	4.15 イラン革命ガードの船舶がペルシャ湾で米軍の船舶に異常接近
5.15	日米防衛相電話会談	9. 9 日オーストリア首脳電話会談	4.18 中国、海南省三沙市に「西沙区」及び「南沙区」設置を公表
5.18	宮城県加美町における行方不明者捜索 にかかる災害派遣（～5.21）	9. 9 トルコ首脳電話会談	4.23 米艦艇1隻が台湾海峡を通過
5.19	日ニュージーランド防衛相テレビ会談	9.10 日印首脳電話会談	4.24 ロシア艦艇7隻が宗谷海峡を西進
5.19	日シンガポール防衛相電話会談	9.10 日トルクメニスタン首脳電話会談	4.28 空母「遼寧」を含む中国艦艇6隻が沖縄本島と宮古島の間の海域を北上し、東シナ海に向けて航行
5.19	日インドネシア防衛相電話会談	9.20 日豪首脳電話会談	4.28 米艦艇1隻が西沙諸島付近で「航行の自由作戦」を実施
5.20	日伊防衛相電話会談	9.20 日米首脳電話会談	4.29 米艦艇1隻が南沙諸島付近で「航行の自由作戦」を実施
6. 1	日モンゴル防衛相テレビ会談	9.22 日独首脳電話会談	4.29 中国艦艇3隻が沖縄本島と宮古島の間の海域を南東進し、太平洋に向けて航行
6. 9	日UAE防衛相テレビ会談	9.22 日EU首脳電話会談	5. 5 中国軍及びインド軍が実効支配線（LAC）上で対峙（印ラダック州国境）
6.16	日バブアニューギニア防衛相電話会談	9.23 日英首脳電話会談	5. 9 中国軍及びインド軍が実効支配線（LAC）上で対峙（印シッキム州国境）
6.26	日・NATO国別パートナーシップ協力 計画(IPCP)の改定	9.26 第75回国連総会出席（オンライン）	5.13 米艦艇1隻が台湾海峡を通過
7. 4	令和2年7月豪雨にかかる災害派遣 （～8.7）	9.29 日露首脳電話会談	5.17 ロシア艦艇1隻が対馬海峡を南西進
7. 5	令和2年7月豪雨にかかる即応予備自衛 官の災害招集及び予備自衛官の災害招 集を閣議決定	9.30 日加首脳電話会談	5.24 北朝鮮、朝鮮労働党中央軍事委員会拡大会議開催と発表
7. 5	即応予備自衛官に対する災害招集命令 （～7.23）	10. 5 日仏首脳電話会談	5.28 米艦艇1隻が西沙諸島付近で「航行の自由作戦」を実施
7. 8	日米豪防衛相テレビ会談	10. 6 日EU首脳電話会談	5.29 中国艦艇3隻が沖縄本島と宮古島の間の海域を南東進し、太平洋に向けて航行
7. 9	予備自衛官に対する災害招集命令（～7.23）	10. 7 日伊首脳電話会談	6. 4 米艦艇1隻が台湾海峡を通過
7.20	日マレーシア防衛相電話会談	10.12 日ベトナム首脳電話会談	6.10 ロシアのIL-20情報収集機1機が北海道礼文島沖から能登半島沖まで飛行
7.21	河野防衛大臣とストルテンベルグ NATO事務総長との電話会談	10.13 日インドネシア首脳電話会談	6.15 中国軍およびインド軍が実効支配線（LAC）上のガルワン渓谷で衝突、双方に死者が発生
8. 6	河野防衛大臣とバジュワ・パキスタン 陸軍参謀長とのテレビ会談	10.19 日ベトナム首脳会談	6.16 北朝鮮、南北共同連絡事務所を爆破
8.12	日トンガ防衛相電話会談	10.20 日インドネシア首脳会談	6.17 ロシア艦艇2隻が沖縄本島と宮古島の間の海域を北上した後、対馬海峡を北東進、また、19日にロシア艦艇1隻が対馬海峡を北東進
8.12	日インドネシア防衛相テレビ会談	10.28 日トルコ首脳電話会談	6.18 潜水航行する潜水艦が奄美大島の北東の海域（接続水域内）を西進し、20日に横当島の西の海域（接続水域外）を西進し、
8.18	沖縄県の新型コロナウイルス市中感染 拡大防止にかかる災害派遣（～8.31）	10.29 シンガポール首脳電話会談	6.20 中国艦艇3隻が沖縄本島と宮古島の間の海域を北上し、東シナ海へ向けて航行
8.19	日フィジー防衛相テレビ会談	11.12 第23回日ASEAN首脳会議	6.21 中国艦艇1隻が対馬海峡を北上し、一時的に日本海へ進出したが、23日に対馬海峡を南下し、東シナ海に向けて航行
8.25	フィリピンへの警戒管制レーダーの移 転契約が成立	11.13 第12回日本・メコン地域諸国首脳会 議（オンライン）	6.21 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を東進
8.27	日フィンランド防衛相テレビ会談	11.14 第15回東アジア首脳会議（EAS）	6.22 中国のY-9情報収集機1機が東シナ海から対馬海峡を通過しが日本海を飛行した後反転し、再び東シナ海へ飛行
8.29	日マレーシア防衛相会談（グアム）	11.15 第23回ASEAN+3（日中韓）首脳会議 への署名（オンライン）	6.26 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島の間の海域を南下し、一時的に太平洋へ進出したが、28日に北上し、東シナ海へ向けて航行
9. 4	令和2年台風第10号にかかる災害派遣 （～9.7）	11.17 日豪首脳会談（東京）	6.28 中国のH-6爆撃機2機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島の間を通過して太平洋に至り、バシー海峡方面へ飛行した後反転し、再び沖縄本島と宮古島の間を通過
9. 8	日サウジアラビア防衛相電話会談	11.20 日ニュージーランド首脳電話会談	7. 4 2個米空母打撃群が南シナ海で共同演習を実施
9. 9	日印物品役務相互提供協定（ACSA）署 名	11.20 APEC首脳会議（オンライン）	7.13 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島の間の海域を南下し、一時的に太平洋へ進出したが、18日に北上し、東シナ海へ向けて航行
9.17	岸防衛大臣就任	11.21 G20リヤドサミット（オンライン）	7.14 米艦艇1隻が南沙諸島付近で「航行の自由作戦」を実施
9.26	群馬県高崎市における豚熱（CSF）発 生にかかる災害派遣（～10.1）	12. 2 日イスラエル首脳電話会談	7.14 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を西進
10. 7	日米防衛相電話会談	12. 7 日オランダ首脳電話会談	7.28 ロシア艦艇3隻が宗谷海峡を東進
10.12	日豪防衛相電話会談	12. 9 最高裁、横田基地騒音訴訟（第10次・ 11次）決定	8. 5 ロシア艦艇3隻が対馬海峡を南西進
10.19	日豪防衛相会談（東京）	12.14 日フィリピン首脳電話会談	8.10 中国軍機による台湾海峡「中間線」越え飛行
10.23	日フィリピン防衛相テレビ会談	12.16 日ノルウェー首脳電話会談	8.14 ロシアのIL-20情報収集機1機が北海道礼文島沖から能登半島沖まで飛行
10.26	令和2年度日米共同統合演習（実動演 習）（KeenSword21/02FTX）（～11.5）		8.18 米艦艇1隻が台湾海峡を通過
11. 2	日インドネシア防衛相テレビ会談		8.19 ロシアの爆撃機2機隠岐の島沖から日本海を飛行 この動きにあわせて、推定ロシア機2機が隠岐の島沖から佐渡島沖まで飛行し、別の推定ロシア機2機が佐渡島沖から北海道礼文島沖まで、さらに別の2機が北海道礼文島沖から日本海を飛行
11. 5	香川県三豊市、東かがわ市における鳥イン フルエンザ発生にかかる災害派遣（～11.9）		8.27 米艦艇1隻が西沙諸島付近で「航行の自由作戦」を実施
11.10	日独防衛相テレビ会談		8.28 ロシアのIL-38哨戒機2機が日本海を長距離飛行
11.10	海賊対処行動の継続の閣議決定		8.30 米艦艇1隻が台湾海峡を通過
11.14	岸防衛大臣とミラー米国国防長官代行と の電話会談		9.14 ロシア艦艇6隻が宗谷海峡を西進
11.16	日ベトナム防衛相テレビ会談		9.15 イスラエル、UAE及びバーレーンが国交正常化の合意文書に署名
11.25	日加防衛相電話会談		9.18 中国軍機による台湾海峡「中間線」越え飛行
11.25	福岡県宗像市における鳥インフルエン ザ発生にかかる災害派遣（～11.27）		9.19 中国軍機による台湾海峡「中間線」越え飛行
11.26	令和2年度在外邦人等保護措置訓練（国 内）（～12.3）		9.23 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島の間の海域を南下し、一時的に太平洋へ進出したが、26日に北上し、東シナ海へ向けて航行
11.26	兵庫県淡路市における鳥インフルエン ザ発生にかかる災害派遣（～11.28）		9.25 中国のY-9情報収集機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島の間を通過して太平洋に至り、バシー海峡方面へ飛行した後反転し、再び沖縄本島と宮古島の間を通過
11.28	令和2年度航空観閲式（入間）		9.27 ロシア艦艇3隻が対馬海峡を北東進
12. 2	香川県三豊市における鳥インフルエン ザ発生にかかる災害派遣（～12.4）		10. 2 ロシアのMi-8回航翼航空機1機が北海道知床岬のわが国領海上空を領空侵犯
12. 7	日シンガポール防衛相テレビ会談		10. 9 米艦艇1隻が西沙諸島付近で「航行の自由作戦」を実施
12. 7	広島県三原市における鳥インフルエン ザ発生にかかる災害派遣（～12.9）		10.10 北朝鮮、軍事パレードを実施
12. 8	北海道の新型コロナウイルス市中感染 拡大防止にかかる災害派遣（～12.21）		10.14 米艦艇1隻が台湾海峡を通過
12.10	第7回拡大ASEAN国防相会議及び第6回 日ASEAN防衛担当相会合（オンライン）		10.23 リビア停戦合意署名
12.11	「中東地域における日本関係船舶の安全 確保に関する政府の取組に関する閣議 決定の変更」の閣議決定（～21.12.26）		10.23 イスラエルとスーダンが国交正常化に合意
12.11	岡山県美作市における鳥インフルエン ザ発生にかかる災害派遣（～12.14）		11. 6 ロシアの早期警戒管制機1機が隠岐の島沖から日本海を北上しオホーツク海を飛行し、これと別に、推定ロシア機2機が隠岐の島沖から日本海を北上しオホーツク海まで、別の推定ロシア機2機が隠岐の島沖から佐渡島沖まで、別の2機が佐渡島沖から北海道礼文島沖まで、さらに別の2機が北海道礼文島沖から日本海を北上しオホーツク海を飛行
12.14	日中防衛相テレビ会談		11. 6 ロシア艦艇3隻が対馬海峡を南西進
12.15	日独防衛相フォーラム「インド太平洋： 地域における日本とドイツのエンゲ ージメント」（オンライン）		11.20 米艦艇1隻が台湾海峡を通過
12.15	日ブラジル防衛相テレビ会談		11.21 ロシアのIL-20情報収集機1機が北海道礼文島沖から能登半島沖まで飛行
12.15	日ブラジル防衛協力・交流に関する覚 書署名		11.24 米艦艇1隻がビョートル大帝湾で「航行の自由作戦」を実施
			12.10 イスラエルとモロッコが国交正常化に合意
			12.19 米艦艇1隻が台湾海峡を通過
			12.21 中国艦艇1隻が対馬海峡を北上し、一時的に日本海へ進出したが、23日に対馬海峡を南下し、東シナ海に向けて航行
			12.22 中国のH-6爆撃機4機及びTu-95ロシアの爆撃機2機が日本海から東シナ海、さらには太平洋にかけての長距離にわたる共同飛行

年	防 衛	国内（主な首脳会談含む）	国 際
	12.15 大阪府の新型コロナウイルス市中感染 拡大防止にかかる災害派遣（～12.28） 12.17 関越自動車道における大雪にかかる災 害派遣（～12.18） 12.18 「新たなミサイル防衛システムの整備等 及びスタンド・オフ防衛能力の強化に ついて」閣議決定 12.22 日印防衛相電話会談 12.24 千葉県いすみ市における鳥インフルエ ンザ発生にかかる災害派遣（～12.31） 12.29 三重県伊賀市における豚熱（CSF）発 生にかかる災害派遣（～21.1.1）		12.22 ロシア艦艇1隻が宗谷海峡を西進 12.22 米艦艇1隻が南沙諸島付近で「航行の自由作戦」を実施 12.24 米艦艇1隻がコンダオ諸島付近で「航行の自由作戦」を実施 12.27 ロシア艦艇3隻が対馬海峡を北東進 12.31 米艦艇2隻が台湾海峡を通過
2021 （令和3）	1. 5 秋田県において発生した大雪への対応 にかかる災害派遣（～1.10） 1.10 北陸自動車道などにおける大雪にかか る災害派遣（～1.12） 1.10 新潟県において発生した大雪への対応 にかかる災害派遣（～1.12） 1.11 千葉県いすみ市における鳥インフルエ ンザ発生にかかる災害派遣（～1.19） 1.14 日英防衛相テレビ会談 1.15 日仏防衛相テレビ会談 1.24 日米防衛相電話会談 1.31 沖縄県宮古島の新型コロナウイルス市中 感染拡大防止に関する災害派遣（～2.13） 2. 2 茨城県城里町における鳥インフルエ ンザ発生にかかる災害派遣（～2.7） 2. 3 日英外務・防衛閣僚会合（[2+2]）（オ ンライン） 2. 4 岸大臣とハーリド・サウジアラビア国 防副大臣との電話会談 2. 6 千葉県旭市、多古町、匝瑳市における 鳥インフルエンザ発生にかかる災害派 遣（～2.14） 2.15 日イラン防衛相テレビ会談 2.22 栃木県足利市における山林火災にかか る災害派遣（～3.3） 2.25 群馬県桐生市における山林火災にかか る災害派遣（～2.28） 3. 3 日・太平洋島嶼国国防大臣会合（JPIDD） 準備会合 3.10 日 UAE 防衛相テレビ会談 3.13 第89回安全保障・防衛に関するオタワ 会議（オンライン） 3.16 日米安全保障協議委員会（[2+2]）（東京） 3.16 日米防衛相会談（東京） 3.17 日ウクライナ防衛相テレビ会談 3.23 「日独情報保護協定」署名・発効 3.25 日英防衛相電話会談 3.28 日インドネシア防衛相会談（東京） 3.30 日インドネシア外務・防衛閣僚会合（[2 +2]）（東京） 3.30 日インドネシア防衛装備品・技術移転 協定署名・発効 4. 2 群馬県前橋市における豚熱（CSF）に かかる災害派遣（～4.8） 4.13 日独外務・防衛閣僚会合（[2+2]） 4.13 NATO CCDCOE サイバー防衛演習 「ロッド・シールズ2021」（～4.16）（初 正式参加） 4.14 三重県津市における豚熱（CSF）発生 にかかる災害派遣（～4.17） 4.15 日マレーシア防衛相テレビ会談 4.17 栃木県那須塩原市における豚熱（CSF） 発生にかかる災害派遣（～4.20） 4.19 日ニュージーランド防衛相テレビ会談 4.28 日加防衛相テレビ会談 5.19 日豪防衛相電話会談 5.20 日ブルネイ防衛相級テレビ会談 5.21 「海賊対処行動に係る多国籍部隊への司 令部要員の派遣」の閣議決定（～11.19） 5.25 日タイ防衛相テレビ会談 5.28 愛媛県今治市来島海峡における行方不 明者捜索にかかる災害派遣（～6.1） 6. 2 日フィリピン防衛相テレビ会談 6. 3 日ベトナム防衛相テレビ会談 6. 9 日豪外務・防衛閣僚会合（[2+2]）（オ ンライン） 6.16 第8回拡大ASEAN 国防相会議（オンラ イン） 6.17 欧州議会「安全保障・防衛小委員会」 岸防衛大臣スピーチ（オンライン） 6.22 日独防衛相テレビ会談 6.23 日ラオス防衛相テレビ会談 6.25 日カンボジア防衛相テレビ会談 7. 3 静岡県熱海市における令和3年7月1日 からの大雨にかかる災害派遣（～7.31） 7. 6 岸防衛大臣とラジャパクサ・スリラ ンカ大統領（国防省を所管）とのテレ ビ会談 7. 9 東京2020オリンピック・パラリンピッ ク競技大会支援（～9.6） 7.11 日印物品役務相互提供協定（ACSA）発 効 7.20 日英防衛相会談（東京） 7.30 日米防衛相電話会談 8.10 青森県における大雨被害にかかる災害 派遣（～8.17）	1.27 最高裁、横田基地騒音訴訟（第9次・ 12次）決定 1.28 日米首脳電話会談 2. 3 日加首脳電話会談 2.16 日英首脳電話会談 2.19 G7 首脳テレビ会議 2.25 日豪首脳電話会談 3. 9 日印首脳電話会談 3.12 日米豪印首脳テレビ会議 3.16 日スウェーデン首脳電話会談 3.19 日伊首脳電話会談 3.22 日ベトナム首脳電話会談 3.23 日ポーランド首脳電話会談 4. 7 日ラオス首脳電話会談 4. 9 日タイ首脳電話会談 4.13 最高裁、岩国基地騒音訴訟（第1次 ～3次）決定 4.14 日ウクライナ首脳電話会談 4.16 日米首脳会談（ワシントンD.C.） 4.26 日印首脳電話会談 5.11 日ベトナム首脳電話会談 5.12 日カザフスタン首脳電話会談 5.12 日ウズベキスタン首脳電話会談 5.13 日トルクメニスタン首脳電話会談 5.17 日ベトナム首脳電話会談 5.19 日フィリピン首脳電話会談 5.25 日シンガポール首脳電話会談 5.27 日EU 定期首脳協議 5.28 日英首脳電話会談 6.11 G7 コーンウォール・サミット 6.11 日英首脳会談（コーンウォール） 6.12 日独首脳会談（コーンウォール） 6.12 日仏首脳会談（コーンウォール） 6.13 日豪首脳会談（コーンウォール） 6.13 日加首脳会談（コーンウォール） 6.29 日ツバル首脳テレビ会談 6.29 日フィジー首脳テレビ会談 6.29 日キリバス首脳テレビ会談 6.29 日バプアニューギニア首脳テレビ会談 6.29 日バヌアツ首脳テレビ会談 6.29 日パラオ首脳テレビ会談 6.30 日クック首脳テレビ会談 6.30 日ミクロネシア首脳テレビ会談 6.30 日ニウエ首脳テレビ会談 6.30 日トンガ首脳テレビ会談 7. 1 日ソロモン首脳テレビ会談 7. 1 日ナウル首脳テレビ会談 7. 2 第9回太平洋・島サミット（オンライン） 7.22 日モンゴル首脳会談（東京） 7.24 日コンボ首脳会談（東京） 7.24 日モンテネグロ首脳会談（東京） 7.24 日ポーランド首脳会談（東京） 7.24 日スイス首脳会談（東京） 7.24 日アルメニア首脳会談（東京） 7.24 日仏首脳会談（東京） 8. 4 日エストニア首脳会談（東京） 8.10 日米首脳電話会談 8.24 アフガニスタン情勢に関する G7 首脳 テレビ会談 9.15 日ベトナム首脳電話会談 9.15 日豪首脳テレビ会談 9.23 日印首脳会談（ワシントンD.C.） 9.24 日豪首脳会談（ワシントンD.C.） 9.24 第2回日米豪印首脳会合（ワシントン D.C.） 10. 5 日米首脳電話会談 10. 5 日豪首脳テレビ会談 10. 7 日露首脳電話会談 10. 8 日中首脳電話会談 10. 8 日印首脳電話会談 10.12 アフガニスタン情勢に関する G20 首脳 テレビ会議 10.13 日英首脳電話会談 10.15 日韓首脳電話会談 10.27 第24回 ASEAN 首脳会議（オンライン） 10.27 第24回 ASEAN+3（日中韓）首脳 会議（オンライン） 10.27 第16回東アジア首脳会議（EAS）（オ ンライン） 10.30 岸田内閣総理大臣の G20 ローマサミ ット 出席（オンライン） 10.15 日韓首脳電話会談 11. 2 岸田内閣総理大臣の COP26 出席（グ ラズゴ） 11. 2 日ベトナム首脳会談（グラズゴ）	1. 5 北朝鮮、朝鮮労働党第8回大会を開催（～1.12） 1.14 北朝鮮、軍事パレードを実施 1.20 バイデン政権発足 1.24 中国及びインドが、実効支配線（LAC）における両国軍の対峙の解消を 進めることで合意 2. 2 韓国、「[2020 国防白書] 発表 2. 4 バイデン米大統領がイエメンで行われている攻撃的な作戦の支援の全面 的な停止を表明 2. 4 米艦艇2隻が台湾海峡を通過 2. 5 米艦艇1隻が西沙諸島付近で「航行の自由作戦」を実施 2. 9 2個米空母打撃群が南シナ海で共同演習を実施 2.17 米艦艇1隻が南沙諸島付近で「航行の自由作戦」を実施 2.21 中国及びインドが、パンゴン湖周辺における両国軍の前線部隊の離脱が 完了したことを肯定的に評価する旨公表 2.24 米艦艇1隻が台湾海峡を通過 3. 3 米国が国家安全保障戦略暫定指針を発表 3.10 米艦艇1隻が台湾海峡を通過 3.10 リビア暫定統一国民政府を代表議会で承認 3.11 ロシアのA-50 早期警戒管制機1機が、能登半島沖から北海道礼文島沖ま で飛行し、これとは別に、推定ロシア機2機が隠岐の島北方から日本海 を北上し、オホーツク海を経て太平洋まで、これにあわせて別の推定ロ シア機2機が隠岐の島北方から日本海まで、別の推定ロシア機2機が北 海道奥尻島沖からオホーツク海まで、さらに別の推定ロシア機2機が北 海道宗谷岬の北から太平洋まで飛行 3.18 中国艦艇3隻が対馬海峡を北上し、日本海へ向けて航行 3.25 中国艦艇3隻が対馬海峡を南下し、東シナ海へ向けて航行 3.25 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射 3.29 中国のY-9 情報収集機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古 島の間を通過して太平洋に至り、バシー海峡方面へ飛行した後反転し、 再び沖縄本島と宮古島の間を通過 3.29 ロシアのIL-38 哨戒機2機が、日本海の隠岐の島沖から男鹿半島沖まで飛行 4. 3 空母「遼寧」を含む中国艦艇6隻が沖縄本島と宮古島間の海域を南下 し、太平洋に向けて航行 4. 4 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島間の海域を南下し、一時的に太平洋 に進出したが、同日、沖縄本島と宮古島間の海域を北上し、東シナ海 へ向けて航行 4. 4 中国のY-9 哨戒機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島 の間を通過して太平洋上に至り、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本 島と宮古島の間を通過 4. 6 JCPOA をめぐる米欧・イラン間の間接協議開始 4. 7 米艦艇1隻が台湾海峡を通過 4. 9 1個米空母打撃群と1個米水陸両用即応群が南シナ海で統合演習を実施 4.14 米国がアフガニスタンから駐留米軍を9.11 までに撤収させると発表 4.26 空母「遼寧」を含む中国艦艇6隻が沖縄本島と宮古島間の海域を北上 し、東シナ海へ向けて航行 4.27 空母「遼寧」からZ-18 早期警戒ヘリコプター1機が発艦し、大正島領空 の北東約50km から約100kmの空域を飛行したことを確認 4.30 ロシア艦艇2隻が対馬海峡を南下し、東シナ海へ向けて航行 4.30 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島間の海域を南下し、一時的に太平洋 に進出したが、5月1日に台湾と与那国島の間の海域を北上し、東シナ 海へ向けて航行 4.30 中国のY-9 情報収集機1機及びY-9 哨戒機1機が東シナ海方面から飛来 し、沖縄本島と宮古島の間を通過して太平洋に至り、バシー海峡方面へ 飛行したのち反転し、再び沖縄本島と宮古島の間を通過 5. 5 ロシア艦艇4隻が対馬海峡を南下し、東シナ海へ向けて航行 5.15 ロシア艦艇4隻が宗谷海峡を東進 5.16 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を東進 5.16 中国艦艇3隻が沖縄本島と宮古島間の海域を南下し、太平洋に向けて 航行 5.18 米艦艇1隻が台湾海峡を通過 5.20 米艦艇1隻が西沙諸島付近で「航行の自由作戦」を実施 5.21 パレスチナ・ガザ地区における停戦が発効 5.31 中国艦艇3隻が大隅海峡を東進し、太平洋に向けて航行 6.14 NATO 首脳会議にて2030年に向け同盟の機能強化を検討する「NATO2030」 を承認 6.15 北朝鮮、朝鮮労働党中央委員会第8期第3回総会を開催（～6.18） 6.16 ロシア艦艇2隻が対馬海峡を北上し、日本海へ向けて航行 6.18 ロシア艦艇4隻が宗谷海峡を東進 6.22 米艦艇1隻が台湾海峡を通過 6.25 ロシアのSu-25 攻撃機1機が日本海のわが国防空識別圏内を飛行してい ることを初確認 7. 4 ロシア艦艇7隻が沖縄本島と宮古島間の海域を北上した後、対馬海峡 を北東進し、日本海へ向けて航行 7. 9 フランス、サヘル地域における対テロ作戦改編を発表 7. 9 ロシア艦艇1隻が宗谷海峡を西進 7.12 米艦艇1隻が西沙諸島付近で「航行の自由作戦」を実施 7.28 米艦艇1隻が台湾海峡を通過 7.29 オマーン湾における船舶への攻撃（～7.30） 7.30 フィリピン政府、米国に対しVFA 破壊通告の撤回決定を発表 7.31 中国及びインドが、ゴグラ地区における両国軍の対峙解消、及び残りの 地域についても対峙解消に向けた協議を進めることに合意 8.14 中国艦艇1隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行 8.15 タリバーン、アフガニスタンの首都カブールを制圧

年	防 衛	国内（主な首脳会談含む）	国 際
8.12	沖縄県の新型コロナウイルス市中感染拡大防止にかかる災害派遣（～9.5）	11. 2 岸田内閣総理大臣とグテーレス国連事務総長との会談	8.22 中国艦艇3隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行
8.13	令和3年8月の大雨にかかる災害派遣（～8.19）	11. 2 日英首脳会談（グラスゴー）	8.24 中国艦艇3隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南下し、太平洋に向けて航行
8.23	在アフガニスタン・イスラム共和国邦人等輸送（～8.31）	11. 2 日豪首脳会談（グラスゴー）	8.24 中国艦艇4隻が宗谷海峡を東進
9. 2	日・太平洋島嶼国国防大臣会合（オンライン）	11.12 APEC 首脳会議（オンライン）	8.24 中国のTB-001（推定）偵察／攻撃型無人機1機が、東シナ海のわが国防空識別圏内を飛行していることを初確認
9.11	日ベトナム防衛相会談（ハノイ）	11.15 日仏首脳電話会談	8.25 中国のBZK-005無人機1機、Y-9情報収集機1機、Y-9哨戒機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過
9.11	日ベトナム防衛装備品・技術移転協定署名・発効	11.17 日フィリピン首脳電話会談	8.26 中国艦艇2隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北上し、東シナ海へ向けて航行
10. 3	和歌山県和歌山市における水道橋崩落に伴う給水支援にかかる災害派遣（～10.9）	11.18 日インドネシア首脳電話会談	8.26 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北上し、東シナ海へ向けて航行
10.20	鳥取県における行方不明者捜索にかかる災害派遣（～10.22）	11.22 日タイ首脳電話会談	8.26 中国のTB-001（推定）偵察／攻撃型無人機1機、Y-9情報収集機1機、Y-9哨戒機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過
11. 9	日 UAE 防衛相テレビ会談	11.22 日シンガポール首脳電話会談	8.26 アフガニスタンのカブール国際空港付近における自爆テロ
11.16	海賊対処行動の継続の閣議決定	11.24 日ベトナム首脳会談	8.27 米艦艇2隻が台湾海峡を通過
11.19	令和3年度自衛隊統合演習（実動演習）（～11.30）	11.25 第13回 ASEM 首脳会談（オンライン）	8.31 米国、駐アフガニスタン米軍の撤収完了を発表
11.23	日ベトナム防衛相会談（東京）	12. 1 日カンボジア首脳テレビ会談	8.31 中国艦艇1隻が対馬海峡を南下し、東シナ海へ向けて航行
11.23	日越防衛当局間の衛生分野での協力に関する覚書への署名	12. 1 日トルコ首脳電話会談	9. 3 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を東進
11.23	日ベトナム防衛当局間のサイバーセキュリティ分野での協力に関する覚書への署名	12. 2 日マレーシア首脳電話会談	9. 3 中国艦艇2隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南下し、太平洋に進出、5日に中国艦艇1隻と合流し、台湾と与那国島との間の海域を北上し、東シナ海へ向けて航行
11.27	令和3年度観閲式（朝霞）	12. 9 岸田内閣総理大臣の米国主催「民主主義のためのサミット」出席（オンライン）	9. 4 英空母打撃群、わが国に寄港
12. 3	日米防衛相電話会談	12.14 日独首脳電話会談	9. 8 アフガニスタンにおいて、タリバーンが暫定内閣を発表
12. 9	日加防衛相テレビ会談		9. 8 米艦艇1隻が南沙諸島付近で「航行の自由作戦」を実施
12.12	宮城県大河原町における豚熱（CSF）発生にかかる災害派遣（～12.14）		9.10 ロシア艦艇1隻が宗谷海峡を西進
12.24	「中東地域における日本関係船舶の安全確保に関する政府の取組に関する閣議決定の変更」の閣議決定（～22.11.19）（以降、情報収集活動は海賊対処行動に派遣された部隊が兼務する形に変更。）		9.10 中国のものとして推定する潜水航行する潜水艦が奄美大島の東の海域（接続水域外）を北西進し、12日に横当島の西南西の海域（接続水域外）を西進
12.27	日中防衛相テレビ会談		9.11 中国艦艇4隻が大隅海峡を西進
12.28	日ブルネイ防衛相テレビ会談		9.12 ロシアのAn-261機が、北海道知床岬のわが国領海上空を領空侵犯
			9.14 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を西進
			9.15 豪米英政府、3か国の安全保障協力枠組み「AUKUS」設立
			9.15 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射（わが国排他的経済水域（EEZ）内に落下）
			9.16 EU、初の「インド太平洋戦略」を発表
			9.17 米艦艇1隻が台湾海峡を通過
			9.18 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北上し、東シナ海へ向けて航行
			9.19 ロシア艦艇1隻が宗谷海峡を東進
			9.20 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を西進
			9.21 ロシア艦艇1隻が宗谷海峡を西進
			9.23 ロシア艦艇1隻が宗谷海峡を東進
			9.24 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北上し、東シナ海へ向けて航行
			9.28 北朝鮮、弾道ミサイル（可能性）を1発発射
			9.29 ロシア艦艇1隻が宗谷海峡を西進
			10.10 リビアにおいて、国連停戦監視員が活動開始
			10.11 北朝鮮、「国防発展展覧会『自衛2021』」と題する展覧会を開催（～10.22）
			10.11 中国艦艇6隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行
			10.14 米艦艇1隻と加艦艇1隻が台湾海峡を通過
			10.18 中国艦艇5隻及びロシア艦艇5隻が津軽海峡を東進し、太平洋へ向けて航行
			10.18 中国艦艇5隻及びロシア艦艇5隻が青森県尻屋崎の東南東約40kmの海域において南東進
			10.19 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射
			10.20 中国艦艇5隻及びロシア艦艇5隻が千葉県大坊崎の東約130kmを南進
			10.21 中国艦艇5隻及びロシア艦艇5隻が伊豆諸島の須美寿島と鳥島との間の海域を西進、その後艦載ヘリを発着艦
			10.22 中国艦艇5隻及びロシア艦艇5隻が大隅海峡を西進し、東シナ海へ向けて航行、23日に艦載ヘリを発着艦
			10.23 ロシア艦艇5隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行、24日に艦載ヘリを発着艦
			10.31 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南下し、太平洋に向けて航行
			10.31 中国のY-9情報収集機1機、Y-9哨戒機2機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過
			11. 1 中国のY-9哨戒機2機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過
			11. 2 エチオピア連邦政府とティグライン人民解放戦線の対立により、エチオピア全土に緊急事態宣言発令
			11. 3 EUモザンビーク訓練ミッションが活動開始
			11. 5 独フリゲート艦「バイエルン」わが国に寄港
			11.10 米・イスラエル・UAE・バーレーン合同演習（～11.14）
			11.12 中国艦艇3隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北上し、東シナ海へ向けて航行
			11.13 中国艦艇2隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行
			11.16 中国艦艇1隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行
			11.17 中国艦艇1隻が屋久島及び口永良部島周辺の領海内を航行
			11.18 ロシア艦艇1隻が対馬海峡を南下し、東シナ海へ向けて航行
			11.18 中国艦艇2隻が対馬海峡を南下し、東シナ海へ向けて航行
			11.19 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北上し、東シナ海へ向けて航行
			11.19 中国艦艇1隻が対馬海峡を南下し、東シナ海へ向けて航行
			11.19 中国のH-6爆撃機2機及びロシアのTu-95爆撃機2機が、日本海から東シナ海、さらには太平洋にかけての長距離にわたる共同飛行
			11.23 米艦艇1隻が台湾海峡を通過
			11.23 ロシア艦艇5隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北上した後、27日に対馬海峡を北東進
			11.24 中国のY-9情報収集機1機、Y-9哨戒機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過

年	防衛	国内（主な首脳会談含む）	国際
			11.25 中国のY-9情報収集機1機、Y-9哨戒機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過 11.28 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を東進 11.29 米国が「世界的な戦力態勢の見直し」(GPR)を発表 12. 1 北朝鮮、朝鮮労働党中央委員会第8期第5回政治局会議を開催 12. 9 米国がイラク駐留米軍の戦闘任務終了を発表 12.14 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋に向けて航行 12.14 ロシアのIL-20情報収集機1機が日本海から飛来し、オホーツク海を経由して太平洋に進出、その後、太平洋上で反転し、オホーツク海を経由して日本海へ飛行 12.15 ロシア艦艇1隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行 12.15 空母「遼寧」を含む中国艦艇4隻が男女群島（長崎県）の西約350kmの海域を南東進、16日沖縄本島と宮古島との間の海域を南下し、太平洋へ向けて航行、東シナ海及び太平洋において艦載戦闘機及び艦載ヘリを発着艦 12.15 ロシアのIL-20情報収集機1機が日本海から飛来し、オホーツク海を経由して太平洋に進出し、その後、太平洋上で反転し、オホーツク海を経由して日本海へ飛行。また別の推定ロシア機8機が日本海を飛行 12.19 空母「遼寧」を含む中国艦艇6隻が北大東島（沖縄県）の東約300kmの海域を航行、艦載戦闘機及び艦載ヘリを発着艦 12.20 空母「遼寧」を含む中国艦艇6隻が沖大東島（沖縄県）の南東約315kmの海域を航行、艦載戦闘機及び艦載ヘリを発着艦 12.25 空母「遼寧」を含む中国艦艇5隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行 12.27 北朝鮮、朝鮮労働党中央委員会第8期第4回総会を開催（～12.31） 12.29 ロシア艦艇3隻が対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行
2022 (令和4)	1. 4 愛媛県西条市における鳥インフルエンザ発生にかかる災害派遣（～1.6） 1. 6 日豪円滑化協定署名 1. 7 日米安全保障協議委員会（「2+2」）（オンライン） 1.11 沖縄県の新型コロナウイルス市中感染拡大防止にかかる災害派遣（～1.17） 1.20 日仏外務・防衛閣僚会合（「2+2」）（オンライン） 1.20 トンガ王国における国際緊急援助活動（～2.17） 1.27 令和3年度日米共同統合演習（指揮所演習）（～2.3） 2.17 日豪防衛相電話会談 2.10 日米韓防衛相電話会談 2.21 日ポーランド防衛相テレビ会談 2.21 日ポーランド防衛協力・交流覚書への署名 2.27 熊本県阿蘇郡高森町における山林火災にかかる災害派遣（～2.28） 3.16 日ウクライナ防衛相テレビ会談 3.16 大分県竹田市における山林火災にかかる災害派遣（～3.18） 3.17 福島県沖を震源とする震度6強の地震発生に伴う給水支援にかかる災害派遣（～3.24） 3.24 日伊防衛相電話会談 4. 7 日フィリピン防衛相会談（東京） 4. 8 青森県横浜町における鳥インフルエンザ発生にかかる災害派遣（～4.11） 4. 9 日フィリピン外務・防衛閣僚会合（「2+2」）（東京） 4.12 日伊防衛相会談（東京） 4.13 日イラン防衛相テレビ会談 4.13 日ウクライナ防衛相テレビ会談 4.16 北海道白老町における鳥インフルエンザ発生にかかる災害派遣（～4.19） 4.23 北海道知床沖における遊覧船事故にかかる災害派遣（～6.1） 4.26 ウクライナ支援に関する多国間会議（オンライン） 4.28 「ウクライナ被災民救援国際平和協力業務実施計画」閣議決定 5. 1 ウクライナ被災民救援空輸隊出国（～6.27帰国完了） 5. 2 日タイ防衛装備品・技術移転協定署名・発効 5. 4 日米防衛相会談（ワシントンD.C.） 5. 9 青森県十和田市における山林火災にかかる災害派遣（～5.11） 5.23 岸防衛大臣のウクライナ支援に関する多国間会議参加（オンライン） 5.26 日米防衛相電話会談 6.11 岸防衛大臣の第19回IISSアジア安全保障会議（シャングリラ会合）出席（～6.12） 6.15 日豪防衛相会談（東京） 6.20 令和4年度自衛隊統合防災演習（～6.23） 6.22 日ASEAN防衛担当大臣会合（ブノンペン） 7. 9 日米防衛相電話会談 7.29 日トンガ防衛相テレビ会談 8. 4 8月3日からの大雨にかかる災害派遣（～8.8） 8.10 浜田防衛大臣就任 8.16 日米防衛相電話会談 8.19 日豪防衛相電話会談 8.30 日イスラエル防衛相会談（東京） 9. 8 日印防衛相会談、外務・防衛閣僚会合（「2+2」）（東京）	1. 6 日豪首脳テレビ会談 1.21 日米首脳テレビ会談 1.31 日ヨルダン首脳電話会談 2. 9 日加首脳電話会談 2. 9 日イラン首脳電話会談 2.11 岸田総理大臣によるワンオーションサミットへの出席（ビデオメッセージ） 2.15 日ウクライナ首脳電話会談 2.16 日英首脳電話会談 2.17 日露首脳電話会談 2.22 日独首脳電話会談 2.24 G7首脳テレビ会議 2.28 日ウクライナ首脳電話会談 3. 1 日ラオス首脳電話会談 3. 1 日仏首脳電話会談 3. 2 日ポーランド首脳電話会談 3. 3 日米豪印首脳テレビ会議 3. 4 日ウクライナ首脳電話会談 3. 8 日インドネシア首脳電話会談 3.16 名古屋高裁金沢支部、小松基地騒音訴訟（第5次・6次）判決 3.17 日ケニア首脳電話会談 3.19 日印首脳会談（デリー） 3.20 日カンボジア首脳会談（ブノンベン） 3.24 岸田内閣総理大臣のG7首脳会合出席（ブリュッセル） 3.24 日英首脳会談（ブリュッセル） 3.24 日ポーランド首脳会談（ブリュッセル） 4. 5 日トルコ首脳電話会談 4.13 日トルクメニスタン首脳電話会談 4.18 日スイス首脳会談（東京） 4.19 ウクライナ情勢に関する首脳テレビ会議 4.20 日マレーシア首脳電話会談 4.20 自衛隊法の一部改正（在外邦人等の輸送にかかる輸送手段を原則として政府専用機とする制限の廃止、実施に当たっての安全に係る要件の見直し及び主たる輸送対象者の範囲の拡大など）の公布、施行 4.21 日ニュージーランド首脳会談（東京） 4.23 日ツバル首脳会談（熊本） 4.23 日カンボジア首脳会談（熊本） 4.23 日ラオス首脳会談（熊本） 4.26 日ウクライナ首脳電話会談 4.28 日独首脳会談（東京） 4.29 日インドネシア首脳会談（ジャカルタ） 5. 1 日ベトナム首脳会談（ハノイ） 5. 2 日タイ首脳会談（バンコク） 5. 4 日バチカン首脳会談（バチカン） 5. 4 日伊首脳会談（ローマ） 5. 5 日英首脳会談（ロンドン） 5. 9 G7首脳テレビ会議 5.11 日フィンランド首脳会談（東京） 5.12 日EU定期首脳会談（東京） 5.23 日米首脳会談（東京） 5.23 インド太平洋経済枠組みの立上げに関する首脳級会合（東京） 5.24 日米豪印首脳会合（東京） 5.24 日豪首脳会談（東京） 5.24 日印首脳会談（東京） 5.26 日タイ首脳会談（東京） 5.26 日シンガポール首脳会談（東京） 5.27 日マレーシア首脳会談（東京） 6. 1 日仏首脳電話会談 6. 9 日ウズベキスタン首脳電話会談 6.11 日シンガポール首脳会談（シンガポール） 6.29 G7エルマウ・サミット（～6.28）	1. 5 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射 1. 6 CSTO、カザフスタンへの合同平和維持部隊の派遣を決定 1.11 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射 1.14 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射 1.17 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射 1.19 北朝鮮、朝鮮労働党中央委員会第8期第6回政治局会議を開催 1.19 CSTO、カザフスタンからの合同平和維持部隊の撤退完了を発表 1.20 米艦艇1隻が西沙諸島付近で「航行の自由作戦」を実施 1.27 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射 1.30 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射 2. 2 ロシアのIL-38哨戒機2機が日本海を長距離飛行 2. 4 北京オリンピック（～2.20） 2. 4 ロシアのIL-38哨戒機2機が日本海を長距離飛行 2.11 米国が「インド太平洋戦略」を発表 2.14 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋に向けて航行 2.15 2月1日以降、ロシア艦艇24隻が日本海及びオホーツク海南部で活動 2.15 中国のY-9情報収集機1機が東シナ海方向から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過 2.16 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行 2.16 ロシア艦艇9隻が宗谷海峡を西進 2.16 中国のY-9情報収集機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過 2.22 ロシア大統領、連邦議会上院に対し、軍の国外派遣に関する承認を要請 2.24 ロシア、ウクライナ侵略を開始 2.26 米艦艇1隻が台湾海峡を通過 2.27 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射 2.27 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋に向けて航行 2.28 中国のY-9哨戒機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過 3. 2 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行 3. 2 ロシアのヘリコプター1機が北海道根室半島沖のわが国領海上空を領空侵犯 3. 4 北京パラリンピック（～3.13） 3. 4 中国艦艇3隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北進し、東シナ海へ向けて航行 3. 5 第13回全国人民代表大会（全人代）第5回会議（～3.11） 3. 5 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射 3.10 ロシア艦艇10隻が津軽海峡を西進し、日本海へ向けて航行 3.11 中国及びインドが、実効支配線（LAC）における、両国に残された問題の早期解決に向け対話を継続することに合意 3.14 ロシア艦艇6隻が宗谷海峡を西進 3.14 ロシア艦艇1隻が津軽海峡を西進し、日本海へ向けて航行 3.15 ロシア艦艇2隻が津軽海峡を西進し、日本海へ向けて航行 3.16 中国のBZK-007偵察／攻撃型無人機1機が、東シナ海のわが国防空識別圏内を飛行していることを初確認 3.16 ロシア艦艇2隻が津軽海峡を西進し、日本海へ向けて航行 3.16 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射 3.20 ロシア艦艇1隻が対馬海峡を南下後、対馬の南西約70kmの海域において反転し、同海峡を北上して日本海へ向けて航行 3.24 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射（わが国排他的経済水域（EEZ）内に落下） 3.24 ロシア艦艇1隻が対馬海峡を南下し、東シナ海へ向けて航行 3.28 中国艦艇2隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行 3.29 ロシア艦艇1隻が対馬海峡を南下し、東シナ海へ向けて航行 4. 1 国連事務総長イエメン担当特使がイエメンにおける停戦を発表 4. 3 中国艦艇2隻が対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行 4. 7 中国のY-9電子戦機1機が太平洋上を飛行していることを初確認 4.11 中国艦艇1隻が対馬海峡を北上し、日本海へ向けて航行 4.13 中国艦艇1隻が対馬海峡を南下し、東シナ海へ向けて航行 4.19 ロシア艦艇3隻が対馬海峡を北上し、日本海へ向けて航行 4.20 中国艦艇1隻が奄美大島と横当島との間を東進し、太平洋へ向けて航行 4.25 北朝鮮、軍事パレードを実施 4.26 米艦艇1隻が台湾海峡を通過

年	防 衛	国内（主な首脳会談含む）	国 際
9. 14	日米防衛相会談（ワシントンD.C.）	6. 26 日独首脳会談（エルマウ）	4. 26 中国艦艇2隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行
9. 19	台風14号による大雨にかかる災害派遣（～9.25）	6. 26 日仏首脳会談（エルマウ）	4. 26 中国艦艇1隻が口永良部島及び屋久島周辺の領海内を航行
9. 26	台風15号による大雨にかかる災害派遣（～10.3）	6. 27 日加首脳会談（エルマウ）	5. 1 空母「遼寧」を含む中国艦艇7隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南下し、太平洋へ向けて航行、東シナ海において艦載ヘリを発着艦
10. 1	日米豪防衛相会談（ハワイ）	6. 27 日米首脳会談（エルマウ）	5. 2 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南下し、太平洋へ向けて航行
10. 4	日米防衛相電話会談	6. 27 日セネガル首脳会談（エルマウ）	5. 3 空母「遼寧」を含む中国艦艇7隻が太平洋上の海域を航行、艦載戦闘機及び艦載ヘリを発着艦（～5.15）
10. 11	日英防衛相テレビ会談	6. 27 日・南ア首脳会談（エルマウ）	5. 4 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射
10. 22	日豪首脳会談（新たな「安全保障協力に関する日豪共同宣言」に署名）	6. 28 岸田総理大臣と欧州委員会委員長との会談（エルマウ）	5. 7 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射
10. 26	日フィンランド防衛相会談（東京）	6. 28 日英首脳会談（エルマウ）	5. 10 米艦艇1隻が台湾海峡を通過
10. 28	岡山県倉敷市における鳥インフルエンザ発生にかかる災害派遣（～10.30）	6. 29 NATO首脳会談出席（マドリード）	5. 10 韓国、尹錫悦政権発足
11. 1	「中東地域における日本関係船舶の安全保障に関する政府の取組に関する閣議決定の変更」の閣議決定（～23.11.9）	6. 29 NATOアジア太平洋パートナー首脳会談（マドリード）	5. 12 北朝鮮、朝鮮労働党中央委員会第8期第8回政治局会議を開催
11. 1	海賊対処行動の継続の閣議決定	6. 29 日スペイン首脳会談（マドリード）	5. 12 北朝鮮、弾道ミサイルを3発発射
11. 3	日独外務・防衛閣僚会合（オンライン）	6. 29 日米韓首脳会談（マドリード）	5. 18 中国のH-6爆撃機2機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過
11. 4	岡山県倉敷市における鳥インフルエンザ発生にかかる災害派遣（～11.7）	7. 9 日米首脳電話会談	5. 19 中国艦艇3隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行
11. 4	茨城県かすみがうら市における鳥インフルエンザ発生にかかる災害派遣（～11.8）	7. 12 日豪首脳電話会談	5. 19 中国艦艇1隻が大隅海峡を北西進し、太平洋へ向けて航行
11. 6	令和4年度観艦式（国際観艦式）（相模湾）	7. 12 日仏首脳電話会談	5. 20 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行
11. 10	令和4年度日米共同統合演習（実動演習 Keen Sword23）（～11.19）	7. 20 日アイルランド首脳会談（東京）	5. 21 空母「遼寧」を含む中国艦艇7隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北上し、東シナ海へ向けて航行
11. 17	日伊防衛相電話会談	7. 27 日インドネシア首脳会談（東京）	5. 22 中国艦艇1隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行
11. 17	栃木県日光市における山林火災にかかる災害派遣（～11.19）	8. 1 岸田総理大臣と国連事務総長との会談（ニューヨーク）	5. 23 中国艦艇1隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行
11. 27	鹿児島県出水市における鳥インフルエンザ発生にかかる災害派遣（～11.30）	8. 6 岸田総理大臣と国連事務総長との会談（広島）	5. 23 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行
12. 5	愛知県豊橋市における鳥インフルエンザ発生にかかる災害派遣（～12.7）	8. 26 日チュニジア首脳テレビ会談	5. 24 中国艦艇2隻が対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行
12. 9	日豪防衛相会談、外務・防衛閣僚会合（[2+2]）（東京）	8. 26 日コモロ首脳テレビ会談	5. 24 中国のH-6爆撃機2機が東シナ海から日本海に進出し、日本海においてロシアのTu-95爆撃機2機と合流し、東シナ海まで共同飛行。その後、当該中国の爆撃機2機と入れ替わり、新たに飛来した推定中国の爆撃機（H-6）2機と当該ロシアの爆撃機2機の合計4機が東シナ海から太平洋にかけて長距離にわたる共同飛行。また、ロシアのIL-20情報収集機1機が北海道礼文島沖から能登半島沖まで飛行
12. 15	青森県三沢市における鳥インフルエンザ発生にかかる災害派遣（～12.22）	8. 27 日エジプト首脳テレビ会談	5. 25 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行
12. 19	日スウェーデン防衛装備品・技術移転協定署名・発効	8. 27 日セネガル首脳テレビ会談	5. 25 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射
12. 19	広島県世羅町における鳥インフルエンザ発生にかかる災害派遣（～12.21）	8. 27 日タンザニア首脳テレビ会談	6. 1 中国艦艇4隻が奄美大島と横間島との間を東進し、太平洋へ向けて航行
12. 20	令和4年12月17日からの大雪にかかる災害派遣（～12.22）	8. 28 日ジブチ首脳テレビ会談	6. 2 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行
12. 30	広島県世羅町における鳥インフルエンザ発生にかかる災害派遣（～1.2）	9. 8 ウクライナ情勢に関する首脳テレビ会議	6. 2 国連事務総長イエメン担当特使がイエメンにおける停戦の延長を発表
12. 31	山形県鶴岡市における土砂災害にかかる災害派遣（～1.2）	9. 9 日バラオ首脳会談（東京）	6. 3 ドイツ連邦議会、連邦軍特別基金設立のための法案を可決
		9. 13 日UAE首脳電話会談	6. 5 北朝鮮、弾道ミサイルを8発発射
		9. 15 日カタル首脳電話会談	6. 7 ロシア艦艇1隻が宗谷海峡を西進し、日本海へ向けて航行
		9. 20 日トルコ首脳会談（ニューヨーク）	6. 7 推定ロシア機4機（推定）が日本海から飛来し、北海道西方から我が国領空へ向けて東に直進した後、うち2機（推定）については反転して北海道西方で旋回飛行を行い、うち2機（推定）については、北海道西方を樺太方面に向け北進
		9. 21 日トルコ首脳会談（ニューヨーク）	6. 8 北朝鮮、朝鮮労働党中央委員会第8期第5回総会（全員会議）拡大会議を開催（～6.10）
		9. 21 岸田総理大臣によるCTBTフレンズ首脳級会談出席（ニューヨーク）	6. 9 ロシア艦艇1隻が津軽海峡を東進し、太平洋へ向けて航行
		9. 22 日バキスタン首脳会談（ニューヨーク）	6. 9 ロシア艦艇5隻が根室半島の南東約170kmの海域を航行
		9. 26 日ガボン首脳会談（東京）	6. 12 ロシア艦艇1隻が宗谷海峡を西進し、日本海へ向けて航行
		9. 26 日タンザニア首脳会談（東京）	6. 12 中国艦艇1隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行
		9. 26 日バブアニューギニア首脳会談（東京）	6. 13 中国艦艇3隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行
		9. 27 日EU首脳会談（東京）	6. 15 ロシア艦艇7隻が襟裳岬の南東約280kmの海域を南進し、16日に犬吠埼の南東約180kmを南西進
		9. 27 日シンガポール首脳会談（東京）	6. 16 中国艦艇2隻が津軽海峡を東進し、太平洋へ向けて航行
		9. 27 日ヨルダン首脳会談（東京）	6. 16 中国艦艇2隻が宗谷海峡を東進
		9. 27 日豪首脳会談（東京）	6. 16 ロシア艦艇5隻が須美寿島と鳥島との間の海域を南西進
		9. 27 日印首脳会談（東京）	6. 17 ロシア艦艇2隻が須美寿島と鳥島との間の海域を南西進
		9. 28 日モロッコ首脳会談（東京）	6. 17 ロシア艦艇9隻が宗谷海峡を西進し、日本海へ向けて航行
		9. 28 日カンボジア首脳会談（東京）	6. 19 ロシア艦艇5隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行
		9. 28 日レント首脳会談（東京）	6. 19 中国艦艇3隻が金華山の東約220kmの海域を南進し、20日に犬吠埼の南東約220km南西進
		9. 28 日キューバ首脳会談（東京）	6. 21 ロシア艦艇5隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行
		9. 28 日トーゴ首脳会談（東京）	6. 21 北朝鮮、朝鮮労働党中央軍事委員会第8期第3回拡大会議を開催（～6.23）
		9. 28 日バーレーン首脳会談（東京）	6. 21 中国艦艇3隻が須美寿島と鳥島との間の海域を西進
		9. 28 日セルビア首脳会談（東京）	6. 21 中国艦艇3隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南進し、太平洋へ向けて航行
		9. 28 日スリランカ首脳会談（東京）	6. 21 中国艦艇2隻が与那国島と台湾との間の海域を南進し、太平洋へ向けて航行
		9. 28 日コンゴ首脳会談（東京）	6. 22 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南進し、太平洋へ向けて航行
		9. 28 日モンゴル首脳会談（東京）	6. 23 中国艦艇5隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行
		9. 28 日コモロ首脳会談（東京）	6. 23 中国のH-6爆撃機3機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過
		9. 28 日モルドバ首脳会談（東京）	6. 24 中国のY-9情報収集機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過
		9. 30 日ウクライナ首脳電話会談	6. 24 中国艦艇1隻が与那国島と台湾との間の海域を北進し、東シナ海へ向けて航行
10. 4	日米首脳電話会談	10. 4 日米首脳電話会談	6. 24 米軍機1機が台湾海峡を通過
10. 6	日韓首脳電話会談	10. 6 日韓首脳電話会談	6. 26 中国艦艇1隻が御蔵島と八丈島との間の海域を西進
10. 11	G7首脳テレビ会議	10. 11 G7首脳テレビ会議	6. 29 NATO首脳会合にて新戦略概念を採択
10. 18	日ルクセンブルク首脳会談（東京）	10. 18 日ルクセンブルク首脳会談（東京）	6. 29 中国艦艇3隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行
10. 22	日豪首脳会談（パース）	10. 22 日豪首脳会談（パース）	7. 1 ロシア艦艇3隻が与那国島と西表島との間の海域を北東進
10. 26	日リトアニア首脳会談（東京）	10. 26 日リトアニア首脳会談（東京）	7. 4 中国艦艇1隻が魚釣島南西のわが国接続水域に入域
10. 28	日ウルグアイ首脳会談（東京）	10. 28 日ウルグアイ首脳会談（東京）	7. 4 ロシア艦艇3隻が久場島と大正島との間の接続水域内を北進し、東シナ海へ向けて航行
10. 28	日インドネシア首脳電話会談	10. 28 日インドネシア首脳電話会談	
11. 2	日伊首脳電話会談	11. 2 日伊首脳電話会談	
11. 4	日英首脳電話会談	11. 4 日英首脳電話会談	
11. 12	ASEAN+3首脳会議（ブノンベン）	11. 12 ASEAN+3首脳会議（ブノンベン）	
11. 12	日ASEAN首脳会議（ブノンベン）	11. 12 日ASEAN首脳会議（ブノンベン）	
11. 12	日カンボジア首脳会談（ブノンベン）	11. 12 日カンボジア首脳会談（ブノンベン）	
11. 13	日ベトナム首脳会談（ブノンベン）	11. 13 日ベトナム首脳会談（ブノンベン）	
11. 13	東アジア首脳会議（ブノンベン）	11. 13 東アジア首脳会議（ブノンベン）	
11. 13	日韓首脳会談（ブノンベン）	11. 13 日韓首脳会談（ブノンベン）	
11. 13	日米首脳会談（ブノンベン）	11. 13 日米首脳会談（ブノンベン）	
11. 13	日米韓首脳会合（ブノンベン）	11. 13 日米韓首脳会合（ブノンベン）	
11. 14	日インドネシア首脳会談（バリ）	11. 14 日インドネシア首脳会談（バリ）	
11. 14	日EU首脳会談（バリ）	11. 14 日EU首脳会談（バリ）	
11. 14	日ルワンダ首脳会合（バリ）	11. 14 日ルワンダ首脳会合（バリ）	
11. 15	G20バリ・サミット（～11.16）	11. 15 G20バリ・サミット（～11.16）	

年	防衛	国内（主な首脳会談含む）	国 際
		11.16 G20 首脳会合に際しての G7/NATO 首脳緊急会合 11.16 日独首脳会談（パリ） 11.17 日中首脳会談（バンコク） 11.17 日チリ首脳会談（バンコク） 11.17 日タイ首脳会談（バンコク） 11.18 北朝鮮の弾道ミサイル発射を受けた有志国首脳級緊急会合（バンコク） 11.18 APEC 首脳会議（バンコク）（～11.19） 11.29 日モンゴル首脳会談（東京） 12. 3 岸田総理大臣とアイスランド大統領との会談 12. 3 日モルドバ首脳会談（東京） 12. 9 日英伊三か国首脳による次期戦闘機共同開発の公表 12.13 G7 首脳テレビ会議 12.16 「国家安全保障戦略について」「国家防衛戦略について」「防衛力整備計画について」国家安全保障会議、閣議決定 12.19 日セネガル首脳会談（東京）	7. 5 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行 7. 5 ロシア艦艇3隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行 7. 6 ロシア艦艇1隻が沖ノ島島の接続水域を西進 7. 7 中国艦艇1隻が与那国島と台湾との間の海域を南進し、太平洋へ向けて航行 7. 9 ロシア艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行 7.11 ロシア艦艇1隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行 7.13 米艦艇1隻が西沙諸島付近で「航行の自由作戦」を実施 7.16 米艦艇1隻が南沙諸島付近で「航行の自由作戦」を実施 7.19 米艦艇1隻が台湾海峡を通過 7.20 中国艦艇1隻が屋久島及び口永良部島周辺の領海内を航行 7.20 ロシア艦艇1隻が宗谷海峡を東進 7.21 中国艦艇1隻が与那国島と台湾との間の海域を南進し、太平洋へ向けて航行 7.22 中国艦艇1隻が与那国島と台湾との間の海域を南進し、太平洋へ向けて航行、27日に魚釣島の西約70kmの海域を北進 7.25 中国のTB-001 偵察／攻撃型無人機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、先島諸島の南の太平洋上で旋回後、パシー海峡方面へ飛行 7.27 中国艦艇2隻が大隅海峡を北東進し、太平洋へ向けて航行 7.27 中国艦艇1隻が魚釣島西方約120kmから約70kmまでの海域を南北に遊弋（～31日）し、31日に魚釣島の北西約180kmの海域を北進 7.29 中国艦艇1隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行 7.29 ロシア艦艇1隻が宗谷海峡を東進 7.30 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南進し、太平洋へ向けて航行 7.31 中国艦艇1隻が与那国島と台湾との間の海域を南進し、太平洋へ向けて航行 8. 1 中国艦艇1隻が与那国島と台湾との間の海域を北進し、東シナ海へ向けて航行 8. 1 中国艦艇1隻が宗谷海峡を東進 8. 1 米大統領がアル・カーイダ指導者の殺害を発表 8. 2 国連事務総長イエメン担当特使がイエメンにおける停戦の延長を発表 8. 3 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 8. 4 中国艦艇1隻が魚釣島西方約100kmから約60kmまでの海域を南北に遊弋した後、魚釣島の西約80kmの海域を北西進 8. 4 中国のBZK-005 偵察型無人機1機及びTB-001 偵察／攻撃型無人機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、先島諸島南の太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過。また、推定中国の無人機（推定）1機が東シナ海から飛来し、台湾北東沖の公海上空を旋回飛行 8. 4 中国が台湾周辺で大規模な軍事訓練を実施し、わが国EEZを含むわが国の近海に向けて弾道ミサイルを発射 8.12 ロシア艦艇1隻が対馬海峡を南下し、東シナ海へ向けて航行 8.20 ロシア艦艇4隻が宗谷海峡を西進し、日本海へ向けて航行 8.21 ロシア艦艇10隻が宗谷海峡を西進し、日本海へ向けて航行 8.21 ロシア艦艇1隻が対馬海峡を北上し、日本海へ向けて航行 8.28 米艦艇2隻が台湾海峡を通過 8.28 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 8.29 中国艦艇3隻が対馬海峡を北東進し、30日に日本海へ向けて航行 8.30 中国のTB-001 偵察／攻撃型無人機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、先島諸島の南の太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過 8.31 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 9. 1 ロシア、大規模演習「ヴォストーク2022」を開始。中国、インド等計14か国が参加（～9.7） 9. 2 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を東進 9. 3 中国艦艇3隻及びロシア艦艇3隻が神威岬の西約190kmの海域において機関銃による射撃を実施し、4日に宗谷海峡を東進 9. 8 中国及びインドが実効支配線（LAC）沿いのゴグラ・ホットスプリング地区からの撤収開始を公表 9. 9 ロシア艦艇1隻が宗谷海峡を東進 9.11 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を東進 9.12 中国艦艇2隻が奄美大島と横当島との間を北東進し、太平洋へ向けて航行 9.14 中国艦艇2隻が沖縄本島と宮古島との間を北西進し、東シナ海へ向けて航行 9.15 中国艦艇1隻が屋久島及び口永良部島周辺の領海内を航行 9.16 ロシア艦艇4隻が宗谷海峡を西進し、日本海へ向けて航行 9.20 米艦艇1隻と加艦艇1隻が台湾海峡を通過 9.21 ロシア、部分的動員に関する大統領令公布 9.23 中国艦艇3隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 9.23 中国艦艇1隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行 9.26 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行 9.25 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射 9.26 中国艦艇3隻が須美寿島と鳥島との間の海域を西進し、27日に紀伊半島の潮岬の南南東約300kmの海域を西進 9.27 ロシア艦艇4隻が御蔵島と八丈島との間の接続水域を南西進 9.27 中国艦艇3隻及びロシア艦艇4隻が大隅海峡を西進した後、東シナ海において相互に隊列を組んで航行 9.28 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射 9.28 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を西進し、日本海へ向けて航行 9.29 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射 9.30 ロシア艦艇4隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行 9.30 ロシア、ウクライナの4地域の違法な「併合」を発表 10. 1 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射 10. 2 国連事務総長イエメン担当特使がイエメンにおける停戦の延長を発表 10. 2 中国艦艇1隻が龍飛崎の西約100kmの海域を津軽海峡に向けて北東進し、龍飛岬の西約20kmの海域において反転後、南西進して日本海へ向けて航行

年	防衛	国内（主な首脳会談含む）	国 際
			10. 2 中国艦艇1隻が南西諸島西側に沿って北進し、3日に草垣群島の南西約90kmの海域を西進して東シナ海へ向けて航行 10. 4 中国艦艇1隻が対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行 10. 4 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射（わが国上空を通過） 10. 6 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射 10. 7 ロシア艦艇3隻が宗谷海峡を西進し、日本海へ向けて航行 10. 9 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射 10.10 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 10.12 米国が国家安全保障戦略を発表 10.13 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を西進し、日本海へ向けて航行 10.14 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射 10.16 中国共産党第20回党大会（～10.22） 10.27 米国が国防衛戦略を発表 10.27 米国が核態勢の見直しを発表 10.27 米国がミサイル防衛見直しを発表 10.28 ロシア艦艇1隻が龍飛崎（青森県）の西約160kmの海域を西進。その後、29日に津軽海峡へ向け南東進した後に反転、北西進して日本海へ向けて航行 11. 2 中国艦艇1隻が口永良部島及び屋久島周辺の領海内を航行 11. 2 エチオピア連邦政府とティグライ人民解放戦線、停戦合意 11. 2 北朝鮮、弾道ミサイルを少なくとも2発発射 11. 2 北朝鮮、弾道ミサイル（可能性）を少なくとも1発発射 11. 3 北朝鮮、弾道ミサイルを6発発射 11. 5 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 11. 7 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行 11. 9 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射 11. 9 フランス大統領がサヘル地域における軍事作戦の終了を発表 11. 9 フランス大統領が「国家戦略見直し2022」を発表 11.10 推定中国無人機1機（推定）が東シナ海から飛来し、尖閣諸島北方において一時南進した後、反転して北進し、大陸方面に北西進 11.11 韓国、初の「インド太平洋戦略」を発表 11.12 中国艦艇3隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行 11.13 ロシア艦艇5隻が与那国島と西表島との間の海域を北東進し、東シナ海へ向けて航行 11.14 中国のBZK-005偵察型無人機1機、Y-9情報収集機1機及びY-9哨戒機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、沖縄本島の東の太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過 11.16 ロシア艦艇5隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行 11.17 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射 11.18 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射（わが国排他的経済水域（EEZ）内に落下） 11.27 カナダがインド太平洋戦略を発表 11.29 米艦艇1隻が南沙諸島付近で「航行の自由作戦」を実施 11.29 中国艦艇2隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行 11.30 中国のH-6爆撃機2機が東シナ海から対馬海峡を通過し日本海へ進出後、北進し大陸方面へ飛行。また、推定ロシア機2機（推定）が日本海を南進後、反転、北進し大陸方面へ飛行 11.30 中国のH-6爆撃機2機及びロシアのTu-95爆撃機2機が日本海から東シナ海、さらに太平洋にかけて長距離にわたる共同飛行。当該爆撃機が東シナ海を飛行する際に推定中国戦闘機2機が合流していたほか、当該爆撃機が太平洋に進出する際も中国の戦闘機（推定J-16）2機が合流し、太平洋に進出 11.30 推定ロシア機（Tu-95）2機（推定）が東シナ海から対馬海峡を通過し日本海へ進出後、北進し大陸方面へ飛行 11.30 米中央軍がISIL指導者の死亡を発表 12. 1 中国艦艇2隻が対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行 12. 3 中国艦艇2隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 12. 4 ロシア艦艇1隻が対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行 12. 8 ロシア艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 12.12 中国艦艇1隻が南西諸島西側を南西進した後、14日に沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 12.14 中国艦艇3隻が大隅海峡を東進し、太平洋へ向けて航行 12.14 ロシアのTu-95爆撃機2機及び戦闘機2機が大陸方面から飛来し、日本海上空をわが国領空に向けて南進した後、石川県能登半島沖で反転し、大陸方面に向けて北進 12.15 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 12.16 空母「遼寧」を含む中国艦艇6隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南下し、太平洋へ向けて航行 12.17 空母「遼寧」を含む中国艦艇5隻が沖大東島（沖縄県）の南西約260kmの海域を航行、艦載戦闘機及び艦載ヘリを発着艦 12.17 空母「遼寧」を含む複数の中国艦艇が太平洋上の海域を航行、艦載戦闘機及び艦載ヘリを発着艦（～12.31） 12.18 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射 12.19 中国艦艇1隻が屋久島及び口永良部島周辺の領海内を航行 12.19 中国のH-6爆撃機2機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、沖大東島南東の太平洋上で反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過 12.21 ロシア艦艇4隻が対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行 12.23 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射 12.26 北朝鮮、朝鮮労働党中央委員会第8期第6回拡大総会（全員会議）を開催（～12.31） 12.28 ロシア艦艇4隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行 12.31 北朝鮮、弾道ミサイルを3発発射
2023 (令和5)	1. 6 新潟県村上市における鳥インフルエンザ発生にかかる災害派遣（～1.12） 1. 9 茨城県城里町における鳥インフルエンザ発生にかかる災害派遣（～1.14）（ワシントンD.C.） 1.11 日米安全保障協議委員会（「2+2」）（ワシントンD.C.） 1.11 日英円滑化協定署名	1. 6 日ウクライナ首脳電話会談 1. 9 日仏首脳会談（パリ） 1.10 日伊首脳会談（ローマ） 1.11 日英首脳会談（ロンドン） 1.12 日加首脳会談（オタワ） 1.13 日米首脳会談（ワシントンD.C.） 1.30 日ギリシャ首脳会談（東京）	1. 1 空母「遼寧」を含む6隻の中国艦艇が沖縄本島と宮古島との間の海域を北上し、東シナ海へ向けて航行 1. 1 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射 1. 1 中国のWZ-7偵察型無人機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、先島諸島の南の太平洋上を飛行後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過したことを確認

年	防 衛	国内（主な首脳会談含む）	国 際
1.12	日米防衛相会談（ワシントンD.C.）	1.31 岸田総理とNATO事務総長との会談（東京）	1. 2 中国のWZ-7偵察型無人機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、先島諸島の南の太平洋上を飛行後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過
1.10	広島県三次市における鳥インフルエンザ発生にかかる災害派遣（～1.18）	2. 2 日ミクロネシア首脳会談（東京）	1. 3 中国艦艇3隻が与那国島と西表島との間の海域を北東進し、魚釣島の西約70kmの海域を北上
1.19	群馬県前橋市における鳥インフルエンザ発生にかかる災害派遣（～1.22）	2. 7 日クック諸島首脳会談（東京）	1. 4 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北上し、東シナ海へ向けて航行
1.27	自衛隊統合演習（指揮所演習）（～2.3）	2. 9 日ベトナム首脳テレビ会談	1. 5 米艦艇1隻が台湾海峡を通過
1.27	令和5年1月20日からの大雪等にかかる災害派遣（～1.30）	2. 9 日フィリピン首脳会談（東京）	1.15 中国艦艇2隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行
2. 2	愛媛県来島海峡沖における貨物船の衝突事故にかかる災害派遣（～2.7）	2.13 日イスラエル首脳電話会談	1.19 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行
2. 3	茨城県八千代町における鳥インフルエンザ発生にかかる災害派遣（～2.8）	2.17 日トルコ首脳電話会談	1.19 中国のBZK-005偵察型無人機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、沖縄本島の南の太平洋上を飛行後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過
2.10	茨城県坂東市における鳥インフルエンザ発生にかかる災害派遣（～2.14）	2.22 日アルバニア首脳会談（東京）	1.20 中国のY-9情報収集機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過
2.10	日フィリピン防衛相会談（東京）	2.24 G7首脳テレビ会議	1.26 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行
2.13	トルコ共和国における国際緊急援助活動（～3.24）	3. 7 ルーマニア首脳会談（東京）	2. 2 中国艦艇2隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行
3. 2	福岡県福岡市における鳥インフルエンザ発生にかかる災害派遣（～3.4）	3.13 日アンゴラ首脳会談（東京）	2. 4 米軍が米国領海上空で中国の偵察気球を撃墜
3. 6	新潟県胎内市における鳥インフルエンザ発生にかかる災害派遣（～3.10）	3.14 日豪首脳電話会談	2. 8 北朝鮮、軍事パレードを実施
3. 8	福島県郡山市及び白河市における山林火災にかかる災害派遣（～3.10）	3.14 日イスラエル首脳電話会談	2.12 中国艦艇1隻が屋久島及び口之島周辺の領海内を航行
3.14	宮城県日向市における山林火災にかかる災害派遣（～3.16）	3.16 日韓首脳会談（東京）	2.16 韓国、「2022国防白書」発表
3.16	日英防衛相会談（東京）	3.18 日独首脳会談（東京）	2.18 中国艦艇2隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行
3.16	日英伊防衛相会談（東京）	3.20 日印首脳会談（デリー）	2.18 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射（わが国排他的経済水域（EEZ）内に落下）
3.16	日伊防衛相会談（東京）	3.21 日ウクライナ首脳会談（キエウ）	2.20 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射
3.18	日独防衛相会談（東京）	3.22 日ポーランド首脳会談（ワルシャワ）	2.21 ロシア、新戦略兵器削減条約（新START）の履行停止を発表
3.24	青森県蓬田村における鳥インフルエンザ発生にかかる災害派遣（～3.26）	3.31 岸田総理大臣と欧州委員会委員長との電話会談	2.27 米軍機1機が台湾海峡を通過
3.28	北海道千歳市における鳥インフルエンザ発生にかかる災害派遣（～3.30）	4. 7 日ブラジル首脳電話会談	3. 2 中国艦艇2隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行
4. 3	北海道千歳市における鳥インフルエンザ発生にかかる災害派遣（～4.5）	4.11 日ヨルダン首脳会談（東京）	3. 5 第14回全国人民代表大会（全人代）第1回会議（～3.13）
4. 7	北海道千歳市における鳥インフルエンザ発生にかかる災害派遣（～4.9）	4.26 日バングラデシュ首脳会談（東京）	3.13 英国、「統合的見直し」の刷新を発表
4.23	在スーダン共和国邦人等輸送（～4.28）	4.30 日エジプト首脳会談（カイロ）	3.14 黒海上空で、露軍機が米無人機に対して危険飛行を行い、米無人機が墜落
4.24	群馬県沼田市における山林火災にかかる災害派遣（～4.27）	5. 1 日ガーナ首脳会談（アクラ）	3.16 中国艦艇1隻が奄美大島と横間島との間の海域を北東進し、太平洋へ向けて航行
4.28	浜田防衛大臣とマールズ豪副首相兼国防大臣の電話会談	5. 3 日ケニア首脳会談（ナイロビ）	3.16 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射
5. 9	日仏外務・防衛閣僚会合（「2+2」）（オンライン）	5. 4 日モザンビーク首脳会談	3.18 中国艦艇1隻が与那国島と台湾との間の海域を北進し、19日に魚釣島の西約80kmの海域を北進
5.12	「シナイ半島国際平和協力業務実施計画」変更の閣議決定（司令部要員2名の追加派遣）	5. 5 日韓首脳会談（ソウル）	3.19 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射
5.16	日中防衛相間における「日中防衛当局間ホットライン」による初回通話	5. 7 日韓首脳会談（ソウル）	3.23 ロシア艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を西進し、東シナ海へ向けて航行
5.25	日 UAE 防衛装備品・技術移転協定署名	5.18 日米首脳会談（広島）	3.24 米艦艇1隻が西沙諸島付近で「航行の自由作戦」を実施
6. 1	日米防衛相会談（東京）	5.18 日伊首脳会談（広島）	3.26 ロシア艦艇1隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行
6. 3	浜田防衛大臣の第20回IISSアジア安全保障会議（シャングリラ会合）出席（～6.4）	5.18 日英首脳ワーキング・ディナー（広島）	3.26 中国艦艇3隻が大隅海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行
6. 3	日米韓防衛相会談（シンガポール）	5.19 G7広島サミット（～5.21）	3.27 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射
6. 3	日米豪防衛相会談（シンガポール）	5.19 日加首脳会談（広島）	3.28 中国艦艇1隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行
6. 3	日シンガポール防衛装備品・技術移転協定署名・発効	5.19 日仏首脳会談（広島）	3.29 中国艦艇3隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行
6. 4	日豪防衛相会談（シンガポール）	5.20 日印首脳会談（広島）	4. 3 中国艦艇1隻が津軽海峡を北東進し、太平洋へ向けて航行
6. 4	日ウクライナ防衛相会談（シンガポール）	5.20 日インドネシア首脳会談（広島）	4. 3 中国艦艇2隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南下し、太平洋へ向けて航行
6. 4	日韓防衛相会談（シンガポール）	5.20 日ブラジル首脳会談（広島）	4. 4 中国艦艇1隻が与那国島と台湾との間の海域を北上した後、5日に魚釣島の西約70kmの海域を北上
6. 4	日本国防衛省とニュージーランド国防省との間の太平洋島嶼国地域における海洋安全保障、人道支援・災害救援及び気候変動における防衛協力に関する日NZ意図表明文書署名	5.20 日米豪印首脳会合（広島）	4. 4 フィンランドがNATOに正式加盟
6. 7	日スウェーデン防衛相会談（東京）	5.20 日クック諸島首脳会談（広島）	4. 5 空母「山東」を含む中国艦艇3隻が波照間島の南約300kmの海域を東進
6.26	令和5年度自衛隊統合防衛演習（～6.30）	5.21 日コモロ首脳会談（広島）	4. 5 中国艦艇1隻が与那国島と台湾との間の海域を北上した後、6日に魚釣島の西約80kmの海域を北上
7.10	令和5年梅雨前線による大雨に関する災害派遣（～7.14）	5.21 日韓首脳会談（ソウル）	4. 6 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南下し、太平洋へ向けて航行
7.16	秋田県における大雨にかかる災害派遣（～7.28）	5.21 岸田総理大臣と国連事務総長との会談（広島）	4. 7 空母「山東」を含む複数の中国艦艇が太平洋上の海域を航行、艦載戦闘機および艦載ヘリを発着艦（～4.9）
7.31	日サウジアラビア防衛相会談（東京）	5.21 日ベトナム首脳会談（広島）	4. 8 中国艦艇3隻が対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行
8.13	日豪円滑化協定発効	5.21 日ウクライナ首脳会談（広島）	4.10 中国艦艇1隻が御蔵島と八丈島との間の海域を西進
8.31	佐賀県唐津市におけるCSF（豚熱）発生にかかる災害派遣（～9.5）	5.25 日スリランカ首脳会談（東京）	4.10 米艦艇1隻が南沙諸島付近で「航行の自由作戦」を実施
9. 7	日米韓防衛相電話会談	5.25 日ラオス首脳会談（東京）	4.13 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射
9.13	米原防衛大臣就任	6. 7 「防衛省が調達する装備品等の開発及び生産のための基盤の強化に関する法律（防衛生産基盤強化法）」が成立	4.14 ロシアのIL-20情報収集機1機が大陸方面から飛来し、日本海上空を南進した後、能登半島沖で反転し、大陸方面に向けて北進
9.28	日米防衛相電話会談	6. 9 日ウクライナ首脳電話会談	4.10 空母「山東」を含む複数の中国艦艇が太平洋上の海域を航行、艦載戦闘機および艦載ヘリを発着艦（～4.16）
10. 4	日米防衛相会談（ワシントンD.C.）	6.14 日パラオ首脳会談（東京）	4.15 中国艦艇1隻が大隅海峡を西進し、東シナ海へ向けて航行（～4.16）
10.15	日英円滑化協定発効	6.21 岸田総理大臣と欧州委員会委員長との電話会談	4.16 米艦艇1隻が台湾海峡を通過
10.18	在イスラエル国邦人等輸送	7. 6 日トルコ首脳電話会談	4.17 ロシア艦艇8隻が宗谷海峡を東進（～4.18）
10.19	日ウクライナ防衛相テレビ会談	7.11 日ポーランド首脳会談（ワルシャワ）	4.17 空母「山東」を含む複数の中国艦艇が太平洋上の海域を航行、艦載戦闘機および艦載ヘリを発着艦（～4.23）
10.19	日豪防衛相会談（東京）	7.12 日韓首脳会談（ピリニウス）	4.18 ロシアのIL-20情報収集機が大陸方面から飛来し、日本海上空を南進した後、隠岐諸島沖で反転し、大陸方面に向けて北進
11. 1	愛媛県大洲市における山林火災にかかる災害派遣（～11.5）	7.12 日豪NZ韓首脳会談（ピリニウス）	4.18 中国艦艇1隻が与那国島と西表島との間の接続水域を北上した後、魚釣島の西約70kmの海域を北上
11. 7	日英防衛相会談（東京）	7.12 日ニュージーランド首脳会談（ピリニウス）	4.19 ロシア艦艇18隻が宗谷海峡を西進（～4.20）
11. 7	日英外務・防衛閣僚会合（「2+2」）（東京）	7.12 NATO首脳会合（ピリニウス）	4.21 中国のH-6爆撃機2機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋上を南東進した後、太平洋上を北西進し、再度沖縄本島と宮古島との間を通過
11. 7	「中東地域における日本関係船舶の安全保障に関する政府の取組に関する閣議決定の変更」の閣議決定（～24.11.19）	7.12 日スウェーデン首脳会談（ピリニウス）	4.22 中国のH-6爆撃機2機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋上を南東進した後、太平洋上を北西進し、再度沖縄本島と宮古島との間を通過
11. 7	海賊対処行動の継続の閣議決定	7.12 岸田総理大臣とリトアニア共和国大統領との会談（ピリニウス）	4.24 空母「山東」を含む中国艦艇7隻が与那国島の南360kmの海域を航行、艦載戦闘機および艦載ヘリを発着艦
11.10	令和5年度自衛隊統合演習（実動演習）（～11.20）	7.12 日EU定期首脳協議（ブリュッセル）	4.27 推定中国無人機1機（推定）が太平洋から飛来し、与那国島と台湾との間を通過し、東シナ海へ飛行
		7.13 日サウジアラビア首脳会談（ジッダ）	4.28 米軍機1機が台湾海峡を通過
		7.17 日UAE首脳会談（アブダビ）	4.29 中国艦艇1隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行
		7.18 日カタール首脳会談（ドーハ）	4.29 中国艦艇3隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行
		8.18 日米首脳会談（キャンプ・デービッド）	
		8.18 日韓首脳会談（キャンプ・デービッド）	
		8.18 日米韓首脳会合（キャンプ・デービッド）	
		8.22 日ベルギー首脳テレビ会談	
		8.29 日ウクライナ首脳電話会談	
		9. 6 日ASEAN首脳会議（ジャカルタ）	
		9. 6 ASEAN+3（日中韓）首脳会議（ジャカルタ）	
		9. 7 東アジア首脳会議（ジャカルタ）	
		9. 7 日インドネシア首脳会談（ジャカルタ）	
		9. 7 日カンボジア首脳会談（ジャカルタ）	
		9. 8 日トルコ首脳会談（ニューデリー）	
		9. 9 岸田内閣総理大臣のG20ニューデリー・サミットへの出席（～9.10）	
		9. 9 日オランダ首脳会談（ニューデリー）	
		9. 9 日印首脳会談（ニューデリー）	
		9. 9 日豪首脳会談（ニューデリー）	
		9.10 日韓首脳会談（ニューデリー）	

年	防 衛	国内（主な首脳会談含む）	国 際
11.11	令和5年度航空観閲式（入間）	9.19 岸田総理大臣の国連総会出席（ニューヨーク）（～9.21）	4.30 中国艦艇5隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行
11.12	日米韓防衛相テレビ会談		5.2 推定中国無人機1機（推定）が東シナ海から飛来し、与那国島と台湾との間を通過して太平洋に至り、台湾東の太平洋上を飛行した後、バシー海峡方面へ飛行
11.15	日ASEAN防衛担当大臣会合（ジャカルタ）（ハイブリッド形式）	9.20 日イラン首脳会談（ニューヨーク）	
11.20	日英伊防衛相テレビ会合	10.12 「装備品の開発及び生産のための基盤の強化に関する基本的な方針」の策定	5.3 中国艦艇2隻が魚釣島の西約80kmの海域および与那国島と台湾との間の海域を南下した後、8日に大隅海峡を西進し、東シナ海へ向けて航行
11.29	鹿児島県屋久島沖における米軍オスプレイの搜索活動（～12.23）	10.3 ウクライナ情勢に関する首脳電話会談	5.5 中国艦艇1隻が津軽海峡を北東進し、太平洋へ向けて航行
12.12	日米防衛相電話会談	10.5 日サウジアラビア首脳電話会談	5.5 中国艦艇5隻が宗谷海峡を東進（～5.6）
12.14	日伊防衛相会談（東京）	10.17 日エジプト首脳電話会談	5.8 中国艦艇1隻が須美寿島と鳥島との間の海域を南西進
12.14	日英伊防衛相会合（東京）	10.18 日サウジアラビア首脳電話会談	5.11 中国艦艇4隻が須美寿島と鳥島との間の海域を西進
12.14	グローバル戦闘航空プログラム(GCAP)政府間機関の設立に関する条約署名	10.18 日カタル首脳電話会談	5.12 中国艦艇1隻が須美寿島と鳥島との間の海域を西進（～5.13）
12.22	防衛装備移転三原則及び運用指針の一部改正	10.18 日ヨルダン首脳電話会談	5.12 ロシア艦艇3隻が対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行
12.22	「中東・アフリカ地域における在外邦人等の安全確保等に関する政府の取組について」の閣議決定	10.25 日デンマーク首脳会談（東京）	5.14 ロシア艦艇3隻が与那国島と西表島との間の海域を南西進し、太平洋へ向けて航行
		10.27 日仏首脳電話会談	5.15 中国のBZK-005 偵察型無人機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間の方向へ飛行した後、東シナ海上で反転して北西進し、大陸方面へ飛行
		11.3 日フィリピン首脳会談（マニラ）	5.15 中国艦艇1隻が宗谷海峡を西進
		11.5 日マレーシア首脳会談（クアラルンプール）	5.16 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行
		11.8 日ウクライナ首脳電話会談	5.16 中国艦艇3隻が与那国島と西表島との間の海域を北東進し、大正島の南東約60kmの海域を北東進。また、中国艦艇2隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進。さらに、これら5隻の艦艇が合流し、久米島の西約80kmの海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行
		11.16 APEC 首脳会議（サンフランシスコ）（～11.17）	5.19 ロシア艦艇1隻が津軽海峡を北東進し、太平洋へ向けて航行
		11.15 日タイ首脳会談（サンフランシスコ）	5.23 ロシア艦艇1隻が宗谷海峡を東進
		11.16 日加首脳会談（サンフランシスコ）	5.24 中国艦艇2隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行
		11.16 日韓首脳会談（サンフランシスコ）	5.25 ロシアのIL-20 情報収集機1機が大陸方面から飛来し、オホーツク海を經由して太平洋に進出した後、太平洋上空で反転し、オホーツク海を經由して日本海へ飛行
		11.16 日米首脳会談（サンフランシスコ）	5.25 ロシアのIL-20 情報収集機1機が大陸方面から飛来し、日本海上空を南進した後、佐渡島沖で変針し、大陸方面へ向けて北西進
		11.16 日中首脳会談（サンフランシスコ）	5.25 中国艦艇2隻が与那国島と台湾との間の海域を北上した後、魚釣島の西約70kmの海域を北上
		11.17 日豪首脳会談（サンフランシスコ）	5.26 中国艦艇4隻が与那国島と台湾との間の海域を北上した後、魚釣島の西約80kmの海域を北上
		11.20 日キルギス首脳会談（東京）	5.30 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を東進
		11.22 G20 首脳テレビ会議	5.31 北朝鮮、衛星打ち上げを目的とする弾道ミサイル技術を使用した発射（1発）
		11.27 日ベトナム首脳会談（東京）	6.3 中国艦艇1隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行（～6.4）
		11.29 日エジプト首脳電話会談	6.3 米艦艇1隻とカナダ艦艇1隻が台湾海峡を通過
		12.1 岸田総理大臣のCOP28出席（ドバイ）	6.4 中国艦艇1隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行（～6.5）
		12.1 日イスラエル首脳会談（ドバイ）	6.6 中国艦艇2隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行
		12.1 日カタル首脳会談（ドバイ）	6.6 中国のH-6爆撃機2機が東シナ海から日本海に進出し、日本海においてロシアのTu-95爆撃機2機と合流した後、東シナ海まで共同飛行。当該爆撃機が東シナ海を共同飛行の間、推定中国戦闘機2機（推定）が合流
		12.1 日トルコ首脳会談（ドバイ）	6.6 中国艦艇1隻が対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行（～6.7）
		12.1 日エジプト首脳会談	6.7 中国艦艇1隻が対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行
		12.2 日EU 首脳会談（ドバイ）	6.7 中国のH-6爆撃機2機とロシアのTu-95爆撃機2機が中国方面から飛来し、太平洋にかけて長距離にわたり共同飛行。当該爆撃機の飛行の間、複数の推定中国戦闘機が合流。また、ロシア爆撃機が対馬海峡を通過後、日本海を大陸方面へ飛行する際、複数の推定ロシア機が合流
		12.2 日ヨルダン首脳会談（ドバイ）	6.8 中国のY-9 情報収集機が太平洋上空を飛行（初確認の機体）
		12.2 日伊首脳会談（ドバイ）	6.8 中国艦艇2隻が奄美大島と横間島との間の海域を南西進し、東シナ海へ向けて航行
		12.2 日イラン首脳電話会談	6.8 中国艦艇1隻が屋久島および口永良部島周辺の領海内を航行
		12.2 日仏首脳電話会談	6.12 ロシア艦艇1隻が津軽海峡を西進し、日本海へ向けて航行
		12.6 日イスラエル首脳電話会談	6.14 ロシアのIL-20 情報収集機1機が大陸方面から飛来し、日本海上空を南進した後、佐渡島沖で変針し、大陸方面へ向けて北西進
		12.6 G7 首脳テレビ会議	6.15 北朝鮮、弾道ミサイルを少なくとも2発発射（わが国排他的経済水域（EEZ）内に落下）
		12.7 日ノルウェー首脳会談（東京）	6.15 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を西進
		12.8 日マーシャル諸島首脳会談（東京）	6.16 北朝鮮、朝鮮労働党中央委員会第8期第8回拡大総会（全員会議）を開催（～6.18）
		12.11 日UAE 首脳電話会談	6.16 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を西進
		12.16 日ASEAN 友好協力50周年特別首脳会議（東京）（～12.18）	6.17 ロシア艦艇1隻が津軽海峡を東進し、太平洋へ向けて航行。その後、19日に津軽海峡を西進し、日本海へ向けて航行
		12.16 日マレーシア首脳会談（東京）	6.19 ロシア艦艇10隻が宗谷海峡を西進（～6.20）
		12.16 日ブルネイ首脳ワーキング・ランチ（東京）	6.26 中国艦艇1隻が魚釣島の西約70kmの海域を南東進した後、与那国島と西表島との間の接続水域を南西進し、太平洋へ向けて航行（～6.27）
		12.16 日シンガポール首脳会談（東京）	6.27 ロシア艦艇2隻が与那国島と台湾との間の海域を北進後反転し、石垣島南東約120km付近の海域を遊弋（～6.29）。その後、30日に沖縄本島と宮古島の海域を北進
		12.16 日東ティモール首脳会談（東京）	6.28 中国艦艇1隻が大隅海峡を東進し、太平洋へ向けて航行
		12.16 日ラオス首脳会談（東京）	6.29 中国艦艇2隻が大隅海峡を東進し、太平洋へ向けて航行（～6.30）
		12.16 日ベトナム首脳会談（東京）	6.29 中国艦艇2隻が奄美大島と横間島との間の海域を北東進し、太平洋へ向けて航行
		12.16 日インドネシア首脳会談（東京）	6.29 草垣群島の南約40kmの空域で中国のZ-9ヘリコプターが飛行し、中国艦艇に着艦
		12.17 日タイ首脳会談（東京）	6.30 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を西進
		12.17 日フィリピン首脳会談（東京）	7.1 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を東進
		12.18 日カンボジア首脳会談（東京）	7.1 ロシア艦艇2隻が宮古島北の接続水域を西進（～7.3）。その後、3日から4日にかけて久米島と大正島との間の接続水域を經由し、東シナ海を北上
			7.12 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射
			7.12 ロシア艦艇2隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行
			7.13 米軍機1機が台湾海峡を通過
			7.14 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行
			7.16 中国艦艇1隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行（～7.17）
			7.17 中国艦艇5隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行
			7.18 中国艦艇2隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南進し、太平洋へ向けて航行
			7.18 中国艦艇5隻とロシア艦艇4隻が隠岐諸島の北約400kmの海域において、射撃訓練、陣形運動、艦載ヘリの発着艦を含む各種訓練を実施（～7.23）
			7.19 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射

年	防衛	国内（主な首脳会談含む）	国際
			7.19 中国艦艇2隻が与那国島と台湾との間の海域を北上した後、魚釣島の西約80kmの海域を北上 7.24 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射 7.28 中国艦艇5隻とロシア艦艇5隻が宗谷海峡を東進（～7.29） 7.29 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を東進 7.29 中国艦艇1隻が宗谷海峡を東進 8. 1 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を西進 8. 4 ロシア艦艇1隻が津軽海峡を西進（～8.5） 8. 6 ロシア艦艇1隻が津軽海峡西側の接続水域内を南北に遊弋した後に南下（～8.9）。11日に能登半島北側の接続水域を出域し、日本海へ向けて航行 8.15 中国艦艇6隻とロシア艦艇5隻が沖ノ鳥島の北東約280kmの海域を西進。その後、16日に沖大東島の南約50kmの海域を西進し、17日に沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行 8.18 ロシアのIL-38哨戒機2機が日本海から対馬海峡を通過して東シナ海へ至り、東シナ海を南進後、反転し、再度対馬海峡を通過して日本海へ飛行 8.18 ロシア艦艇1隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行（～8.19） 8.19 ロシア艦艇1隻が津軽海峡を東進し、太平洋へ向けて航行 8.20 ロシア艦艇1隻が三陸沖から房総半島沖にかけての接続水域内を含む海域を南下した後、犬吠崎南の接続水域を出域し、南西進（～8.25） 8.22 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を東進 8.24 北朝鮮、衛星打ち上げを目的とする弾道ミサイル技術を使用した発射（1発） 8.25 中国のH-6爆撃機2機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過 8.25 中国のBZK-005偵察型無人機1機と推定中国無人機1機が東シナ海から飛来し、与那国島と台湾の間を通過して太平洋に至り、台湾東の太平洋上を飛行した後、反転し、再び与那国島と台湾の間を通過して東シナ海へ飛行 8.25 ロシア艦艇3隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行 8.25 中国艦艇2隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行（～8.26） 8.25 ロシア艦艇1隻が御蔵島と八丈島との間の海域を南西進（～8.26） 8.26 中国艦艇1隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行 8.27 ロシア艦艇1隻が種子島東の接続水域内を南下した後、種子島南東の接続水域を出域し、北東進（～8.28）。その後、28日から29日にかけて種子島沖から八丈島沖にかけての海域を北東進し、30日に御蔵島と八丈島との間の海域を北東進 8.28 中国のBZK-005偵察型無人機1機が東シナ海から飛来し、与那国島と台湾の間を通過して太平洋に至り、先島諸島の南の太平洋上で旋回後、バシー海峡方面へ飛行 8.29 ロシア艦艇1隻が宗谷海峡を東進 8.30 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射 8.30 ロシア艦艇1隻が房総半島沖から三陸沖にかけての接続水域内を含む海域を北上（～9.1）。その後、2日から3日にかけて釧路沖の接続水域内を北東進 8.31 中国艦艇1隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行 9. 1 ロシア艦艇4隻が宗谷海峡を東進 9. 1 ロシア艦艇2隻が宗谷海峡を西進 9. 7 ロシア艦艇1隻が宗谷海峡を西進 9. 9 米艦艇1隻とカナダ艦艇1隻が台湾海峡を通過 9.11 中国艦艇8隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 9.12 中国艦艇1隻が対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行（～9.13） 9.13 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射 9.13 空母「山東」を含む中国艦艇6隻が宮古島の南約650kmの海域を航行、艦載戦闘機および艦載ヘリを発着艦 9.13 空母「山東」を含む複数の中国艦艇が太平洋上の海域を航行、艦載戦闘機および艦載ヘリを発着艦（～9.14）。その後、14日から15日にかけて南シナ海へ向けて航行 9.14 中国艦艇2隻が対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行 9.14 中国艦艇3隻が沖縄本島と宮古島との間の海域南東進し、太平洋へ向けて航行 9.14 中国艦艇5隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北進（～9.15） 9.15 ロシアのIL-20情報収集機1機が大陸方面から飛来し、オホーツク海を経由し太平洋に進出した後、太平洋上空で反転し、オホーツク海を経由して日本海へ飛行。また同日、ロシアのIL-20情報収集機1機が大陸方面から飛来し、日本海上を南進し、佐渡島沖で変針し、大陸方面に向けて北西進 9.15 中国艦艇1隻が口之島周辺の領海内を航行 9.18 中国艦艇1隻が対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行 10. 7 ハマスを含むパレスチナ武装勢力がイスラエルに対する軍事作戦を実施し、イスラエルはこれに対して、パレスチナ自治区のガザ地区における大規模な軍事作戦を開始 10. 8 ロシア艦艇3隻が対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行（～10.9） 10. 9 ロシア艦艇1隻が宗谷海峡を西進 10.10 ロシアのIL-20情報収集機1機が大陸方面から飛来し、日本海上空を南進した後、能登半島沖で変針し、大陸方面へ向けて北西進 10.11 ロシア艦艇3隻が与那国島と西表島との間の海域を南西進し、太平洋へ向けて航行 10.12 米軍機1機が台湾海峡を通過 10.16 ロシア艦艇1隻が宗谷海峡を西進 10.17 ロシアのTu-95爆撃機2機と戦闘機2機が日本海から飛来し、我が国領空へ向けて南東進し、能登半島沖で東に変針後、我が国領空付近を沿うように飛行し、大島沖で西に変針、大陸方面へ向けて北西進。その後、ロシアのTu-95爆撃機2機と戦闘機2機が再度日本海から飛来し、北海道西方から我が国領空へ向けて東進し、奥尻島沖で北に変針後、我が国領空を沿うように飛行し、留萌沖で西に変針、大陸方面に向けて西進 10.24 ロシアのIL-20情報収集機1機が大陸方面から飛来し、オホーツク海を経由し太平洋に進出した後、太平洋上空で反転し、オホーツク海を経由して大陸方面へ向けて北西進 10.25 ロシア艦艇1隻が宗谷海峡を西進 10.26 推定中国無人機1機（推定）が東シナ海から飛来し、与那国島と台湾の間を通過して太平洋に至り、先島諸島から南西の太平洋上で旋回後、バシー海峡方面へ飛行 10.27 中国のY-9情報収集機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上を飛行した後、再び沖縄本島と宮古島との間を通過

年	防衛	国内（主な首脳会談含む）	国 際
			10.28 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 10.28 空母「山東」を含む複数の中国艦艇が太平洋上の海域を航行、艦載戦闘機および艦載ヘリを発着艦（～11.5）。その後、6日に南シナ海へ向けて航行 10.29 中国艦艇3隻が奄美大島と横当島との間の海域を北東進し、太平洋へ向けて航行（～10.30） 10.30 中国艦艇2隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 10.31 ロシア艦艇1隻が宗谷海峡を西進 10.31 推定ロシアのヘリコプター1機が北海道根室半島沖の我が国領海上空を領空侵犯 11. 1 米艦艇1隻とカナダ艦艇1隻が台湾海峡を通過 11. 8 中国艦艇1隻が大隅海峡を西進し、東シナ海へ向けて航行（～11.9） 11. 9 中国艦艇1隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行（～11.10） 11.12 中国艦艇4隻が奄美大島と横当島との間の海域を南西進し、東シナ海へ向けて航行（～11.13） 11.15 中国艦艇1隻が対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行 11.15 中国艦艇3隻が大隅海峡を西進し、東シナ海へ向けて航行 11.21 北朝鮮、衛星打ち上げを目的とする弾道ミサイル技術を使用した発射（1発） 11.25 中国艦艇1隻が奄美大島と横当島との間の海域を南西進し、東シナ海へ向けて航行 11.25 米艦艇1隻が西沙諸島付近で「航行の自由作戦」を実施 11.30 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 11.30 中国艦艇1隻が久米島の西約90kmの海域付近を南北に遊弋（～12.2）。4日に魚釣島の西約80kmの海域を南下した後、与那国島と台湾の間の海域を南下し、太平洋へ向けて航行 12. 1 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行（～12.2） 12. 5 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行 12. 6 米軍機1機が台湾海峡を通過 12. 9 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行 12.11 中国艦艇1隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行（～12.12） 12.14 中国のH-6爆撃機2機が日本海においてロシアのTu-95爆撃機2機と合流した後、東シナ海にかけて長距離にわたって共同飛行。当該爆撃機が日本海を共同飛行する際に、推定ロシア戦闘機2機（推定）が合流し、その後東シナ海を共同飛行する際に、中国のJ-16戦闘機2機と推定中国戦闘機3機（推定）が合流。また、中国爆撃機が東シナ海から対馬海峡に向けて飛行する際に、中国のY-8電子戦機1機と推定中国戦闘機2機（推定）が合流。さらに、ロシア爆撃機が対馬海峡を通過後、日本海を飛行する際、ロシアのSu-35戦闘機2機が合流。ロシア爆撃機が活動している間、ロシアのTu-142哨戒機1機が日本海上を飛行 12.15 中国艦艇1隻が対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行 12.16 ロシア艦艇2隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北東進し、東シナ海へ向けて航行 12.17 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射 12.18 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射 12.18 ロシア艦艇2隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行 12.24 ロシア艦艇1隻が宗谷海峡を東進 12.26 北朝鮮、朝鮮労働党中央委員会第8期第9回拡大総会（全員会議）を開催（～12.30）
2024 (令和6)	1. 1 群馬県吾妻郡高山村における鳥インフルエンザ発生にかかる災害派遣（～1.3） 1. 1 令和6年能登半島地震にかかる災害派遣（～8.31） 1. 5 令和6年能登半島地震に係る予備自衛官の災害招集命令及び即応予備自衛官の災害等招集命令を発令することについて閣議決定 1. 5 予備自衛官に対する災害招集命令及び即応予備自衛官に対する災害等招集命令（～2.1） 1. 9 日UAE防衛装備品・技術移転協定発効 1.29 日独物品役務相互提供協定（ACSA）署名 2. 8 日ケニア防衛協力・交流に関する意図表明文書交換 2.16 日ヨルダン防衛相会談 2.29 青森県陸奥湾における行方不明者の捜索にかかる災害派遣（～3.3） 2.29 日モンゴル防衛相会談 3.13 日米防衛相電話会談 3.19 日・太平洋島嶼国防大臣会合（東京）（～3.20） 3.26 閣議決定及び運用指針の一部改正（グローバル戦闘航空プログラムに係る完成品の我が国からパートナー国以外に対する移転） 4. 3 日インドネシア防衛相会談（東京） 4.12 日ウクライナ防衛相テレビ会談 4.19 「南スーダン国際平和協力業務実施計画」変更の閣議決定（自衛官2名の追加派遣） 4.21 岩手県宮古市における山林火災に係る災害派遣（～4.23） 5. 2 日豪防衛相会談（ハワイ） 5. 2 日米豪比防衛相会談（ハワイ） 5. 2 日米豪防衛相会談（ハワイ） 5. 2 日米防衛相会談（ハワイ） 5. 3 日比防衛相会談（ハワイ） 5. 5 山形県南陽市における山林火災に係る災害派遣（～5.7） 5.20 令和6年度自衛隊統合防災演習（～5.24）	1.10 日ブラジル首脳電話会談 2. 5 日伊首脳会談 2. 8 日ケニア首脳会談 2.16 日ヨルダン首脳会談 2.25 G7首脳テレビ会議 3.13 日マーシャル諸島首脳会談（東京） 3.18 第3回民主主義のためのサミットにおける首脳プレナリーへの参加（オンライン）（～3.20） 3.21 岸田総理大臣と次期インドネシア大統領との電話会談 4. 3 日ウクライナ首脳電話会談 4.10 日米首脳会談（ワシントンD.C.） 4.11 日米比首脳会談（ワシントンD.C.） 4.14 G7首脳テレビ会議 5. 1 岸田総理大臣と仏首相との会談（パリ） 5. 3 日ブラジル首脳会談（ブラジル） 5. 3 日パラグアイ首脳会談（パラグアイ） 5.16 日シンガポール首脳電話会談 5.21 日サウジアラビア首脳テレビ会議 5.23 日マレーシア首脳会談（東京） 5.26 日韓首脳会談（ソウル） 5.26 日中首脳会談（ソウル） 5.27 第9回日韓サミット（ソウル） 6. 4 日パラオ首脳会談（東京） 6.13 岸田総理大臣のG7プーリア・サミット（イタリア）（～6.15） 6.13 日ウクライナ首脳会談（イタリア） 6.14 日印首脳会談（イタリア） 6.14 日カナダ首脳会談（イタリア） 6.15 岸田総理大臣の「ウクライナの平和に関するサミット」出席（スイス） 6.19 日ニュージーランド首脳会談（東京） 7. 6 日英首脳電話会談 7.10 日スウェーデン首脳会談（ワシントンD.C.） 7.10 日韓首脳会談（ワシントンD.C.） 7.11 岸田総理大臣のNATO首脳会合出席（ワシントンD.C.） 7.11 岸田総理大臣とNATO事務総長との会談（ワシントンD.C.）	1. 3 中国艦艇2隻が奄美大島と横当島との間の海域を北東進し、太平洋へ向けて航行 1. 7 中国艦艇2隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北進し、東シナ海へ向けて航行 1.12 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ進出した後、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行（～1.13） 1.14 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射 1.16 中国艦艇2隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南進し、太平洋へ向けて航行 1.19 中国艦艇1隻が奄美大島と横当島との間の海域を北東進し、太平洋へ向けて航行 1.22 ロシア艦艇1隻が対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行 1.22 ロシア艦艇2隻が対馬海峡を南西進した後、対馬の南東約30kmの海域において反転し、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行 1.24 ロシア艦艇1隻が対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行 1.24 ロシア艦艇1隻が与那国島と西表島との間の海域を南西進し、太平洋へ向けて航行 1.24 米艦艇1隻が台湾海峡を通過 1.25 中国艦艇2隻が大隅海峡を西進し、東シナ海へ向けて航行 1.26 ロシア艦艇1隻が与那国島と西表島との間の海域を南西進し、太平洋へ向けて航行 1.31 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 2. 1 中国艦艇2隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 2. 3 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行 2. 4 中国艦艇1隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行 2. 5 中国艦艇2隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行 2. 9 ロシアのIL-20情報収集機1機が大陸方面から飛来し、日本海上空を南進した後、能登半島沖で変針し、大陸方面へ向けて北西進 2.14 ロシアのIL-20情報収集機1機が大陸方面から飛来し、日本海上空を南進した後、佐渡島沖で変針し、大陸方面へ向けて北西進 3. 2 中国艦艇2隻が沖縄本島と宮古島との間の海域を南進し、太平洋へ向けて航行 3. 3 中国艦艇2隻が石垣島の南約180kmから宮古島の南東約210km付近の海域を遊弋（～3.14）。その後、15日に与那国島と台湾との間の海域を北進し、魚釣島の西約80kmの海域を北進

年	防 衛	国内（主な首脳会談含む）	国 際
5.31	第21回IISSアジア安全保障会議（シン グリア会合）出席（～6.2）	7.11 日英首脳会談（ワシントンD.C.）	3. 7 スウェーデンがNATOに正式加盟
6. 1	日中防衛相会談（シンガポール）	7.11 日フィンランド首脳会談（ワシントン D.C.）	3. 9 中国のY-9哨戒機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島と の間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本 島と宮古島との間を通過
6. 1	日仏防衛相会談（シンガポール）	7.11 日オランダ首脳会談（ワシントンD.C.）	3.10 中国のY-9哨戒機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島と の間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本 島と宮古島との間を通過
6. 1	日韓防衛相会談（シンガポール）	7.11 日豪NZ韓（IP4）＋ウクライナ首脳会 合（ワシントンD.C.）	3.12 中国のY-9情報収集機1機とH-6爆撃機2機が東シナ海方面から飛来し、 沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回後、 反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過し、東シナ海へ飛行。当該 情報収集機と爆撃機が太平洋上で旋回している間、推定中国無人機1機 （推定）が同一の空域を飛行
6. 1	日シンガポール防衛相会談（シンガポール）	7.12 日独首脳会談（ベルリン）	3.15 中国艦艇1隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行
6. 2	日豪韓防衛相会談（シンガポール）	7.18 第10回太平洋・島サミット（PALM10） （東京）	3.16 中国艦艇2隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行
6. 2	日フィジー防衛相会談（シンガポール）	7.22 岸田総理大臣と次期イラン大統領との 電話会談	3.16 中国艦艇1隻が対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行（～3.17）
6. 2	日蘭防衛相会談（シンガポール）	8. 7 日スイス首脳会談（東京）	3.18 北朝鮮、弾道ミサイルを少なくとも3発発射
6. 2	日ウクライナ防衛相会談（シンガポール）	8. 8 日ラオス首脳電話会談	3.19 ロシア艦艇1隻が津軽海峡を東進し、太平洋へ向けて航行
6. 2	日米防衛相会談（シンガポール）	8. 9 日ウズベキスタン首脳電話会談	3.22 中国艦艇1隻が魚釣島の西約70kmの海域を南東進した後、与那国島と 西表島との間の海域を南西進し、太平洋に向けて航行
6. 2	日ニュージーランド防衛相会談（シン ガポール）	8.12 日タジキスタン首脳電話会談	3.23 中国艦艇2隻が奄美大島と横当島との間の海域を北東進し、太平洋へ向 けて航行
6. 2	日リトアニア防衛相会談（シンガポール）	8.12 日トルクメニスタン首脳電話会談	3.24 ロシア艦艇1隻が津軽海峡を西進し、日本海へ向けて航行
6. 2	日加防衛相会談（シンガポール）	8.13 日キルギス首脳電話会談	3.24 ロシア艦艇1隻が御積島西側から佐渡島北側の接続水域内を航行し、能 登半島北側の接続水域を出域した後、西進
6. 2	日米韓防衛相会談（シンガポール）	8.13 日モンゴル首脳電話会談	3.25 中国艦艇1隻が与那国島と西表島との間の海域を北東進した後、魚釣島 の西約80kmの海域を北西進
7. 8	日比防衛相会談（フィリピン）	9. 2 日ベトナム首脳テレビ会談	3.25 中国艦艇2隻が宮古島の南約150kmから石垣島の南約170km付近の海域 を遊弋（～3.27）、その後、与那国島と台湾との間の海域を北進し、魚 釣島の西約80kmの海域を北進（～3.28）
7. 8	日フィリピン外務・防衛閣僚会合（[2+2]） （フィリピン）	9. 3 日韓国首脳会談（ソウル）	3.26 中国のWZ-7偵察型無人機1機が大陸方面から飛来し、日本海上空で旋 回した後、大陸方面に向けて北西進
7. 8	日比丹平化協定署名	9. 6 日韓首脳会談（ソウル）	3.27 ロシア艦艇1隻が対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行（～3.28）
7.12	日独物品役務相互提供協定（ACSA）発効	9.20 岸田総理大臣と国際原力機関事務局 長との電話会談	3.27 中国のY-9情報収集機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古 島との間を通過して太平洋に至り、先島諸島の南の太平洋上を飛行した 後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過
7.23	日伊防衛相会談（ロンドン）	9.21 日印首脳会談（ニューヨーク）	3.30 ロシア艦艇1隻が久米島の西約40kmの海域を南東進、沖縄本島と宮古 島との間の海域を南東進し、太平洋に進出した後、西進し、東シナ海へ 向けて航行（～4.1）
7.23	日英伊防衛相会合（ロンドン）	9.21 日豪首脳会談（デラウェア）	3.31 中国艦艇3隻が対馬の北東約50kmの海域を南西進、対馬海峡を南西進し、 東シナ海へ向けて航行
7.23	日英防衛相会談（ロンドン）	9.22 岸田総理大臣と国連事務総長との会談 （ニューヨーク）	4. 1 ロシア艦艇1隻が宮古島の北東約40kmの海域を南進、宮古島北東から 波照間島南東にかけての接続水域内を含む海域を南西進した後、波照間 島南の接続水域を出域し南東進（～4.2）
7.25	日スウェーデン防衛相会談（ストック ホルム）	9.22 日モンゴル首脳会談（ニューヨーク）	4. 1 中国のY-9情報収集機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古 島との間を通過して太平洋に至り、沖縄本島沖まで飛行した後、反転し、 再び沖縄本島と宮古島との間を通過
7.25	山形県酒田市、最上郡戸沢村等におけ る大雨に係る災害派遣（～7.30）	9.22 日加首脳会談（ニューヨーク）	4. 2 北朝鮮、弾道ミサイルを少なくとも1発発射
7.28	日韓防衛相会談（東京）	9.22 日バラオ首脳会談（ニューヨーク）	4. 2 中国艦艇1隻が対馬の東約60kmの海域を南西進、対馬海峡を南西進し、 東シナ海へ向けて航行
7.28	日米韓防衛相会談（東京）	9.22 岸田総理大臣と欧州理事会議長との会 談（ニューヨーク）	4. 2 ロシアのTu-95爆撃機2機と戦闘機2機が大陸方面から飛来し、日本海 上空を南東進した後、能登半島沖で反転し、大陸方面に向けて北西進
7.28	日米安全保障協議委員会（[2+2]）（東京）	9.23 岸田総理大臣とNATO事務総長との会 談（ニューヨーク）	4. 2 中国艦艇2隻が魚釣島の北西約80kmの海域を南進、魚釣島の西約80km の海域を南進し、与那国島と台湾との間の海域を南進（～4.3）、沖縄本 島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行（4.10）
7.28	拡大抑止に関する日米閣僚会合（東京）	9.23 日ウクライナ首脳会談（ニューヨーク）	4.10 中国艦艇1隻が沖縄本島の南西約90kmの海域を北西進、沖縄本島と宮 古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行
7.29	日米防衛相会談（東京）	9.23 岸田総理大臣によるFMCTフレンズ・ ハイレベル立上げ会合出席（ニュー ヨーク）	4.13 中国艦艇1隻が草垣群島の南東約40kmの海域を東進、大隅海峡を東進し、 太平洋へ向けて航行
8. 5	日カンボジア防衛相会談（カンボジア）	10. 2 日米首脳電話会談	4.13 イランがイスラエルに対し、弾道ミサイル120発以上、巡航ミサイル30 発以上および無人機約170発を発射
8. 6	日越防衛相会談（ベトナム）	10. 2 G7首脳電話会談	4.22 北朝鮮、弾道ミサイルを少なくとも1発発射
8.20	日印防衛相会談（インド）	10. 2 日韓首脳電話会談	4.24 中国艦艇2隻が魚釣島の北西約80kmの海域を南進、魚釣島の西約70km の海域を南進し、与那国島と台湾との間の海域を南進、その後、奄美大 島と横当島との間の海域を南西進し、東シナ海へ向けて航行（～4.26）
8.20	第3回日印外務・防衛閣僚会合（[2+2]） （インド）	10. 2 日豪首脳電話会談	4.25 ロシアのIL-20情報収集機1機が大陸方面から飛来し、日本海上空を南 進した後、能登半島沖で変針し、大陸方面に向けて北西進
9. 3	日ノルウェー防衛相会談（東京）	10.10 第27回ASEAN首脳会議（ラオス）	4.25 ロシアのIL-38哨戒機1機が大陸方面から飛来し、日本海上空を北進し た後、奥尻島沖で変針し、大陸方面に向けて西進
9. 4	日豪防衛相会談（オーストラリア）	10.10 第27回ASEAN+（日中韓）首脳会議 （ラオス）	5. 5 中国艦艇2隻が草垣群島の南約40kmの海域を東進、大隅海峡を東進し、 太平洋へ向けて航行
9. 5	第11回日豪外務・防衛閣僚協議（[2+2]） （オーストラリア）	10.10 日韓首脳会談（ラオス）	5. 9 中国艦艇1隻が宮古島の東約140kmの海域を北西進、沖縄本島と宮古島 との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行
9.12	日フィンランド防衛相会談（フィンラ ンド）	10.10 日中首脳会談（ラオス）	5. 9 中国艦艇2隻が与那国島の南西約70kmの海域を北西進、与那国島と台 湾との間の海域を北進し、魚釣島の西約80kmの海域を北進
9.13	日加防衛相会談（東京）	10.10 日印首脳会談（ラオス）	5.13 中国艦艇3隻が宮古島の東約90kmの海域を北進、沖縄本島と宮古島と の間の海域を北進し、東シナ海へ向けて航行
9.19	山口県山口市における山林火災に係る 災害派遣（～9.22）	10.10 日韓首脳電話会談	5.18 ロシアのIL-20情報収集機1機が大陸方面から飛来し、日本海上空を南 進した後、佐渡島沖で変針し、大陸方面に向けて北西進
9.21	石川県能登半島における大雨に係る災 害派遣（～12.15）	10.10 日豪首脳電話会談	5.27 中国のWL-10偵察／攻撃型無人機1機が東シナ海上空を飛行（初確認の 機体）
9.28	令和6年度大規模地震時医療活動訓練	10.11 日ベトナム首脳会談（ラオス）	5.27 北朝鮮、衛星打ち上げを目的とする弾道ミサイル技術を使用した発射 （1発）
10. 2	中谷防衛大臣就任	10.11 日豪首脳会談（ラオス）	5.30 北朝鮮、弾道ミサイルを複数発射
10. 3	在レバノン共和国邦人等輸送	10.11 第2回アジア・ゼロエミッション共同 体（AZEC）首脳会合（ラオス）	6. 2 中国艦艇2隻が魚釣島の北西約80kmの海域を南進、魚釣島の西約70km の海域を南進し、与那国島と台湾との間の海域を南進、沖縄本島と宮古 島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行（～6.6）
10. 8	日米防衛相電話会談	10.11 第19回東アジア首脳会議（EAS）（ラ オス）	6. 4 中国のTB-001偵察／攻撃型無人機1機が東シナ海方面から飛来し、沖 縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、沖縄本島の南の太平洋 上を奄美大島沖まで飛行した後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間 を通過
10.10	日韓防衛相テレビ会談	11. 5 日サウジアラビア首脳電話会談	6. 9 中国艦艇2隻が奄美大島の東約90kmの海域を北西進、また、中国艦艇2 隻が奄美大島の東約100kmの海域を北西進、その後、奄美大島と横当 島との間の海域を南西進し、東シナ海へ向けて航行
10.11	日豪防衛相電話会談	11. 7 石破総理大臣と次期米大統領との電 話会談	6.13 ロシア艦艇1隻が礼文島の西約50kmの海域を北東進し、宗谷海峡を東進 （～6.14）
10.17	NATO事務総長との会談（ベルギー）	11.15 石破総理大臣のAPEC首脳会議（第1 セッション）出席（ペルー）	6.15 ロシア艦艇2隻が礼文島の北西約40kmの海域を東進、宗谷海峡周辺に おいてそれぞれ遊弋した後、東進（～6.18）
10.17	日ウクライナ防衛相会談（ベルギー）	11.15 日マレーシア首脳会談（ペルー）	
10.17	日オランダ防衛相会談（ベルギー）	11.15 日米首脳会談（ペルー）	
10.17	IP4国防当局間会合（ベルギー）	11.15 日米韓首脳会合（ペルー）	
10.17	NATO国防相会合（ベルギー）	11.15 日中首脳会談（ペルー）	
10.17	IP4国防当局間会合（ベルギー）	11.16 「日ウクライナ情報保護協定」署名	
10.18	日伊防衛相会談（イタリア）	11.16 日ベトナム首脳会談（ペルー）	
10.19	日英伊防衛相会合（イタリア）	11.16 日韓首脳会談（ペルー）	
10.19	日米防衛相会談（イタリア）	11.16 石破総理大臣のAPEC首脳会議（第3 セッション）出席（ペルー）	
10.19	日独防衛相会談（イタリア）	11.17 日ペルー首脳会談（ペルー）	
10.19	日独防衛相会談（イタリア）	11.18 G20リオデジャネイロ・サミット（ブ ラジル）（～11.19）	
10.19	G7国防相会合（イタリア）	11.18 日加首脳会談（ブラジル）	
10.23	宮崎県延岡市における土砂災害に係る 災害派遣（～10.26）	11.18 日英首脳会談（ブラジル）	
10.23	令和6年度日米共同統合演習（実動演習 Keen Sword25）（～11.1）	11.19 日ブラジル首脳会談（ブラジル）	
10.31	島根県大田市における鳥インフルエン ザ発生に係る災害派遣（～11.2）	11.19 グローバル戦闘航空プログラム （GCAP）に関する日英伊首脳会合（ブ ラジル）	
11. 1	中谷防衛大臣とボレルEU上級代表との 会談	12. 4 日スウェーデン首脳会談（東京）	
11. 5	海賊対処行動の継続の閣議決定	12.10 日フィンランド首脳会談（東京）	
11. 5	「中東地域における日本関係船舶の安全 確保に関する政府の取組に関する閣議 決定の変更」の閣議決定（～25.11.19）	12.13 G7首脳テレビ会議	
11. 6	新潟県胎内市における鳥インフルエン ザ発生に係る災害派遣（～11.8）	12.19 石破総理大臣と韓国大統領権限代行・ 国務総理との電話会談	
11. 9	防衛省・自衛隊70周年記念観閲式（朝霞）	12.25 日ウクライナ首脳電話会談	
11.17	日米豪防衛相会談（オーストラリア）		
11.17	日米防衛相会談（オーストラリア）		
11.17	日豪防衛相会談（オーストラリア）		
11.17	日ペルー防衛協力・交流に関する覚書 の交換		
11.21	第11回拡大ASEAN国防相会議（ADMM プラス）（ラオス）		
11.21	日米豪比韓防衛相会談（ラオス）		
11.21	日韓防衛相会談（ラオス）		
11.21	日中防衛相会談（ラオス）		
11.21	日ニュージーランド防衛相会談（ラオス）		
11.21	日ラオス防衛相会談（ラオス）		
11.22	日印防衛相会談（ラオス）		
11.22	日フィリピン国防相会談（ラオス）		
11.22	日ブルネイ防衛相会談（ラオス）		

年	防 衛	国内（主な首脳会談含む）	国 際
11. 25 12. 1 12. 4 12. 10 12. 11 12. 13 12. 27 12. 29	日伊物品役務相互提供協定（ACSA）署名 令和6年度離島統合防災訓練及び日米共同統合防災訓練 日スウェーデン防衛相会談（東京） グローバル戦闘航空プログラム（GCAP）政府間機関の設立に関する条約発効 日米防衛相会談（東京） 日モンゴル防衛装備品・技術移転協定署名 豪州政府の次期汎用フリゲートの共同開発・生産に向けた官民合同推進委員会の設置、第1回委員会の開催 山梨県上野原市西原地区における山林火災に係る災害派遣（～12.29） 茨城県結城郡八千代町における鳥インフルエンザ発生に係る災害派遣（～1.1）		6. 16 中国艦艇2隻が宮古島の北約150kmの海域を南進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 6. 16 ロシア艦艇2隻が宗谷岬の東約40kmの海域を西進、宗谷海峡周辺において遊弋した後、西進（～6.19） 6. 18 ロシア艦艇3隻が大島の南西約50kmの海域を東進、津軽海峡を東進し、太平洋へ向けて航行 6. 19 中国艦艇1隻が宮古島の北東約180kmの海域を北西進、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行 6. 21 中国艦艇1隻が対馬の南西約50kmの海域を北東進、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行 6. 22 中国艦艇1隻が宮古島の北東約110kmの海域を北西進、沖縄本島と宮古島との間の海峡を北西進し、東シナ海へ向けて航行 6. 23 中国艦艇1隻が大島の南約50kmの海域を東進、津軽海峡を東進し、太平洋へ向けて航行（～6.24） 6. 25 中国のWZ-7偵察型無人機1機が大陸方面から飛来し、東シナ海上で旋回し、奄美大島北西沖の海上まで飛行、その後、反転・北進し、再度東シナ海上で旋回した後、大陸方面に向けて北西進 6. 25 ロシア艦艇1隻が宗谷岬の北東約40kmの海域を西進し、宗谷海峡を西進 6. 26 中国艦艇2隻が草垣群島の南西約50kmの海域を南東進、大隅海峡を東進し、太平洋へ向けて航行 6. 26 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射 6. 27 中国艦艇2隻が対馬の南西約60kmの海域を北東進、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行 6. 27 中国艦艇2隻が都井岬の南東約40kmの海域を北西進、大隅海峡を西進し、東シナ海へ向けて航行 6. 28 ロシア艦艇1隻が宗谷岬の東約90kmの海域を北西進し、宗谷海峡を西進 6. 28 ロシア艦艇1隻が宗谷岬の北約30kmの海域を西進し、宗谷海峡を西進 6. 28 中国艦艇2隻が対馬の南約80kmの海域を北東進、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行（～6.29） 6. 28 北朝鮮、朝鮮労働党中央委員会第8期第10回拡大総会（全員会議）を開催（～7.1） 6. 29 ロシア艦艇3隻が宗谷岬の北約30kmの海域を西進し、宗谷海峡を西進 6. 30 中国艦艇2隻が大島の南約30kmの海域を南東進、津軽海峡を東進し、太平洋へ向けて航行（～7.1） 6. 30 中国艦艇1隻が久米島の南西約60kmの海域を南東進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 7. 1 中国艦艇2隻が礼文島の西約40kmの海域を北東進し、宗谷海峡を東進 7. 3 ロシア艦艇2隻が礼文島の北西約50kmの海域を東進し、宗谷海峡を東進 7. 3 ロシア艦艇1隻が対馬の北東約70kmの海域を南西進、対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行（～7.4） 7. 4 ロシア艦艇1隻が草垣群島の南西約40kmの海域を南東進、大隅海峡を東進し、太平洋へ向けて航行（～7.5） 7. 4 中国艦艇3隻が草垣群島の南西約40kmの海域を東進、大隅海峡を東進し、太平洋へ向けて航行（～7.5） 7. 6 ロシア艦艇1隻が宮古島の東約160kmの海域を西進、沖縄本島と宮古島との間の海域を北進し、東シナ海へ向けて航行 7. 8 中国のTB-001 偵察／攻撃型無人機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過後、太平洋上で旋回・反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過 7. 7 ロシア艦艇2隻が対馬の北東約60kmの海域を南進、対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行（～7.8） 7. 9 ロシア艦艇2隻が西表島の北約60kmの海域を南西進、与那国島と西表島との間の海域を南西進し、太平洋へ向けて航行（～7.10） 7. 9 空母「山東」を含む複数の中国艦艇が、太平洋上の海域を航行、艦載戦闘機および艦載ヘリの発着艦（～7.15） 7. 10 ロシア艦艇1隻が対馬の南西約100kmの海域を北東進、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行（～7.11） 7. 11 中国艦艇1隻が魚釣島の北西約80kmの海域を南進、また、中国艦艇1隻が魚釣島の北西約70kmの海域を南進、その後、これらの艦艇が魚釣島の西約70kmの海域を南進し、与那国島と台湾との間の海域を南進、さらに、その後、沖縄本島と宮古島との間の海域を北進し、東シナ海へ向けて航行（～7.16） 7. 12 中国のTB-001 偵察／攻撃型無人機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、バシー海峡方面へ飛行 7. 17 空母「山東」を含む複数の中国艦艇が、太平洋上の海域を航行、艦載戦闘機および艦載ヘリの発着艦、その後、南シナ海へ向けて航行（～7.18） 7. 18 ロシア艦艇1隻が礼文島の西約40kmの海域を北東進、宗谷海峡を東進 7. 19 ロシア艦艇3隻が与那国島の南西約130kmの海域を北進、与那国島と台湾との間の海域を北進し、魚釣島の西約70kmの海域を北東進した後、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行（～7.21） 7. 21 推定中国無人機1機（推定）が太平洋から飛来し、与那国島と台湾との間を通過 7. 27 ロシア艦艇2隻が礼文島の北西約50kmの海域を東進、宗谷海峡を東進 7. 28 ロシア艦艇2隻が宗谷岬の北東約50kmの海域を南西進、宗谷海峡を西進 7. 28 中国艦艇1隻が与那国島の南約60kmの海域を北進、与那国島と西表島との間の海域を北東進した後、魚釣島の西約70kmの海域を北進 7. 29 中国艦艇2隻が与那国島の南約50kmの海域を北西進、与那国島と台湾との間の海域を北進した後、魚釣島の西約70kmの海域を北進 7. 29 中国艦艇2隻が宮古島の東約70kmの海域を北進、沖縄本島と宮古島との間の海域を北進し、東シナ海へ向けて航行 7. 30 中国のWZ-7偵察型無人機1機が大陸方面から飛来し、奄美大島北西沖の海上まで飛行、その後、反転・北進し、東シナ海上で旋回した後、大陸方面に向けて北西進 7. 30 ロシアのTu-95爆撃機2機と戦闘機2機が大陸方面から飛来し、日本海上空を東進した後、隠岐島沖で変針し、大陸方面に向けて北進。その後、再度大陸方面から飛来し、北海道西方から我が国領空へ向けて東進し、奥尻島沖で北に変針後、我が国領空付近を沿うように飛行し、神威岬沖で変針、大陸方面に向けて西進。さらに再び大陸方面から飛来し、我が国領空へ向けて南東進し、能登半島沖で変針後、大陸方面に向けて北西進。また、ロシアの爆撃機が北海道沖と石川県沖で活動している間、戦闘機2機に加え、推定ロシア機1機が同一の空域を飛行 7. 31 ハマスのハニーヤ政治局長がイランで攻撃を受け死亡 8. 3 中国のY-9情報収集機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上を与那国島沖まで飛行した後、旋回・反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過 8. 3 推定中国無人機1機（推定）が東シナ海方面から飛来し、与那国島と台湾との間を通過して太平洋に至り、先島諸島南西の太平洋上で旋回後、バシー海峡方面へ飛行

年	防衛	国内（主な首脳会談含む）	国際
			8. 3 推定中国無人機1機（推定）が太平洋から飛来し、与那国島と台湾との間を通過 8. 2 中国艦艇2隻が魚釣島の北西約80kmの海域を南進、魚釣島の西約70kmの海域を南進し、与那国島と台湾との間の海域を南進 8. 7 中国艦艇2隻が奄美大島と横当島との間の海域を南西進し、東シナ海へ向けて航行 8. 9 中国のBZK-005偵察型無人機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、沖縄本島の南の太平洋上を旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過 8.12 空母「山東」を含む中国艦艇4隻が、宮古島の南約420kmの海域を航行、艦載戦闘機および艦載ヘリの発着艦 8.12 空母「山東」を含む中国艦艇4隻が、与那国島の南約530kmの海域を航行、艦載戦闘機および艦載ヘリの発着艦、その後、南シナ海へ向けて航行（～8.13） 8.13 推定中国無人機1機（推定）が東シナ海から飛来し、与那国島と台湾との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回・反転し、再び与那国島と台湾との間を通過 8.16 ロシア艦艇3隻が礼文島の北東約60kmの海域を西進し、宗谷海峡を西進 8.17 中国艦艇2隻が宮古島の北東約120kmの海域を南東進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 8.20 ロシア艦艇2隻が西表島の南西約60kmの海域を北東進、与那国島と西表島との間の海域を北東進し、東シナ海へ向けて航行 8.21 ロシア艦艇2隻が対馬の南西約110kmの海域を北東進、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行（～8.22） 8.23 推定中国無人機2機（推定）が太平洋から飛来し、与那国島と台湾との間を通過 8.26 中国のY-9情報収集機1機が長崎県男女群島沖の我が国領海上空を領空侵犯 8.30 推定中国無人機1機（推定）が東シナ海から飛来し、与那国島と台湾との間を通過 8.30 推定中国無人機1機（推定）が太平洋から飛来し、与那国島と台湾との間を通過 8.31 中国艦艇1隻が口永良部島西の我が国の接続水域を東進、口永良部島南西の我が国領海に入域した後、屋久島南西の我が国の領海から出域し、南に向けて航行 9. 1 ロシア艦艇2隻が宗谷岬の北約30kmの海域を西進し、宗谷海峡を西進 9. 1 中国艦艇2隻が宮古島の北東約130kmの海域を南東進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 9. 7 中国艦艇1隻が対馬の南西約130kmの海域を北東進、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行 9. 7 中国艦艇4隻が対馬の南西約130kmから160kmの海域を北東進、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行（～9.8） 9.12 ロシアのTu-142哨戒機2機が隠岐島沖から対馬海峡を通過して東シナ海へ飛行した後、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋を北上し、北海道沖から大陸方面に向けて飛行 9.12 北朝鮮、弾道ミサイルを複数発射 9.17 空母「遼寧」を含む中国艦艇3隻が、魚釣島の北西約210kmの海域を航行、その後、魚釣島の西約70kmの海域を南進した後、与那国島と西表島との間の海域を南進し、太平洋へ向けて航行（～9.18） 9.17 レバノンで通信機器が相次いで爆発。後に、イスラエルのネタニヤフ首相が関与を確認 9.18 レバノンで通信機器が相次いで爆発。後に、イスラエルのネタニヤフ首相が関与を確認 9.18 北朝鮮、弾道ミサイルを複数発射 9.18 中国艦艇3隻が魚釣島の北西約80kmの海域を航行、魚釣島の西約60kmの海域を南進した後、与那国島と西表島との間の海域を南進し、太平洋へ向けて航行 9.18 空母「遼寧」を含む中国艦艇2隻が、太平洋上の海域を航行、宮古島の南東約1,360kmの海域において、艦載戦闘機および艦載ヘリの発着艦（～9.20） 9.20 空母「遼寧」を含む複数の中国艦艇が、太平洋上の海域を航行、艦載戦闘機および艦載ヘリの発着艦（～9.26） 9.22 中国艦艇4隻およびロシア艦艇4隻が奥尻島の西約300kmの海域を北東進し、宗谷海峡を東進（～9.23） 9.22 中国艦艇1隻が礼文島の北西約60kmの海域を東進し、宗谷海峡を東進（～9.23） 9.22 ロシア艦艇1隻が宗谷岬の北東約70kmの海域を西進し、宗谷海峡を西進 9.23 ロシアのIL-38哨戒機1機が北海道礼文島北方の我が国領海上空を領空侵犯 9.25 ロシア艦艇2隻が礼文島の南西約340kmの海域を北東進し、宗谷海峡を東進（～9.26） 9.27 ロシア艦艇1隻が宗谷岬の北東約90kmの海域を西進し、宗谷海峡を西進 9.27 空母「遼寧」を含む複数の中国艦艇が、太平洋上の海域を航行、艦載戦闘機および艦載ヘリの発着艦（～10.1）、その後、フィリピンの東の海域を南西進（～10.2） 9.27 イスラエル軍がレバノンの首都ベイルート郊外を空爆し、ヒズボラの最高指導者ナスララ師などを殺害 10. 1 イランがイスラエルに対し、弾道ミサイル180発以上を発射 10. 1 イスラエル軍がレバノンへの地上侵攻を開始 10. 5 ロシア艦艇4隻が対馬の東約40kmの海域を南西進、対馬海峡を南西進した後、与那国島と西表島との間の海域をに南西進し、太平洋へ向けて航行（～10.7） 10. 6 ロシア艦艇3隻が礼文島の北西約40kmの海域を東進し、宗谷海峡を東進 10. 9 中国艦艇2隻が魚釣島の北西約80kmの海域を南進、魚釣島の西約80kmの海域を南進し、与那国島と台湾との間の海域を南進した後、沖縄本島と宮古島との間の海域を北進し、東シナ海へ向けて航行（～10.15） 10.11 中国艦艇4隻およびロシア艦艇2隻が沖ノ鳥島の北東約400kmの海域を西進、その後、中国艦艇4隻は沖大東島の南約130kmの海域を西進し、沖縄本島の南約370kmの海域を西進、ロシア艦艇2隻は沖大東島の南西約70kmの海域を北西進、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行（～10.14） 10.11 ロシア艦艇1隻が礼文島の北西約40kmの海域を北東進し、宗谷海峡を東進（～10.12） 10.13 空母「遼寧」を含む中国艦艇2隻が与那国島の南約460kmの海域を航行、艦載戦闘機および艦載ヘリの発着艦（～10.14） 10.15 中国艦艇4隻が宮古島の北東約130kmの海域を北進、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行

年	防衛	国内（主な首脳会談含む）	国 際
			10.15 中国艦艇1隻が種子島の東約110kmの海域を南西進、大隅海峡を西進し、東シナ海へ向けて航行 10.15 空母「遼寧」を含む中国艦艇3隻が与那国島の南約490kmの海域を航行、艦載戦闘機および艦載ヘリの発着艦、その後、南シナ海へ向けて航行 10.20 中国のY-9情報収集機1機とH-6爆撃機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過 10.22 ロシア艦艇3隻が対馬の南西約120kmの海域を北東進、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行（～10.23） 10.22 中国艦艇1隻が奄美大島の西約100kmの海域を東進、奄美大島と横当島との間の海域を北東進し、太平洋へ向けて航行 10.22 ロシアのTu-95爆撃機2機と戦闘機2機が大陸方面から飛来し、我が国領空へ向けて南東進し、能登半島沖で変針、日本海上空を旋回した後、大陸方面に向けて北西進、その後、再度大陸方面から飛来し、我が国領空へ向けて南東進し、日本海上を青森県西方から北海道西方まで北進した後、大陸方面に向けて北西進 10.24 中国艦艇1隻が奄美大島の西約90kmの海域を東進、奄美大島と横当島との間の海域を北東進し、太平洋へ向けて航行 10.26 イスラエル軍がイランの軍事施設を攻撃 10.28 中国のY-9情報収集機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過し太平洋に至り、太平洋上を沖縄本島沖まで飛行した後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過 10.28 中国のY-9哨戒機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過 10.28 中国のBZK-005偵察型無人機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過 10.30 中国艦艇1隻が種子島の北東約70kmの海域を西進、大隅海峡を西進し、東シナ海へ向けて航行（～10.31） 10.31 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射 11. 1 中国艦艇2隻が宮古島の北東約130kmの海域を南東進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南進し、太平洋へ向けて航行 11. 3 中国のTB-001偵察/攻撃型無人機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋を南進した後、太平洋上を北進し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過 11. 4 空母「山東」を含む中国艦艇3隻が宮古島の南約720kmの海域を航行、艦載戦闘機および艦載ヘリの発着艦 11. 4 空母「山東」を含む中国艦艇3隻が宮古島の南約640kmの海域を北西に向けて航行し、艦載戦闘機および艦載ヘリの発着艦、その後、南シナ海へ向けて航行 11. 5 北朝鮮、弾道ミサイルを複数発射 11.11 ロシア艦艇4隻が宗谷岬の北東約80kmの海域を西進し、宗谷海峡を西進 11.11 ロシア艦艇1隻が対馬の東約60kmの海域を南西進、対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行（～11.12） 11.14 ロシア艦艇1隻が久米島の北西約100kmの海域を南進、沖縄本島と宮古島との間の海域を東進し、太平洋へ向けて航行 11.21 ロシアのIL-20情報収集機1機が大陸方面から飛来し、日本海上空を南進した後、能登半島沖で変針し、大陸方面に向けて北西進 11.26 米国およびフランスの仲介により、イスラエルとレバノンが停戦に合意 11.27 中国艦艇1隻が宮古島の北東約120kmの海域を南東進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 11.28 中国艦艇1隻が対馬の南西約70kmの海域を北東進、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行 11.28 中国艦艇1隻が久米島の南西約80kmの海域を南西進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 11.29 中国のH-6爆撃機2機が東シナ海から日本海にかけて飛行、その後、中国のH-6爆撃機2機とロシアのTu-95爆撃機2機が日本海から東シナ海にかけて長距離にわたり共同飛行。当該爆撃機が日本海を共同飛行する際、ロシアのSu-35戦闘機1機が合流。また、中国のY-9情報収集機1機が東シナ海から日本海にかけて飛行した後、中国爆撃機が東シナ海から日本海に向けて飛行する際、中国のJ-16戦闘機2機が合流。中国爆撃機が活動している間、推定中国機1機（推定）が東シナ海上を、ロシア爆撃機が日本海上で活動している間、推定ロシア機1機（推定）が日本海上をそれぞれ飛行 11.29 中国艦艇1隻が対馬の北東約30kmの海域を南西進、対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行（～11.30） 11.30 中国のH-6爆撃機2機とロシアのTu-95爆撃機2機が長距離にわたり共同飛行。これらの爆撃機は、中国方面から飛来し、共同で沖縄本島と宮古島の間を通過して太平洋まで飛行した後、太平洋上で反転し、沖縄本島と宮古島の間を再度通過して東シナ海へ飛行。当該爆撃機が共同で沖縄本島と宮古島の間を通過して太平洋まで飛行する間、中国のJ-16戦闘機4機、推定中国戦闘機1機（推定）、中国のY-20空中給油機1機が合流したほか、当該爆撃機が太平洋上で反転し、沖縄本島と宮古島の間を通過して再度東シナ海へ飛行する際、中国のJ-16戦闘機2機が合流。また、中国のY-9情報収集機2機が、当該爆撃機に先行して沖縄本島と宮古島の間を通過。さらに中露の爆撃機が共同で飛行した後、ロシア爆撃機は沖縄本島と宮古島の間を複数回往復する形で飛行し、対馬海峡を通過して日本海を大陸方面に飛行。当該爆撃機が日本海上で活動している間、推定ロシア機1機（推定）と推定ロシア戦闘機2機（推定）が日本海上をそれぞれ飛行 12. 1 中国艦艇1隻が宮古島の東約130kmの海域を北西進、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行 12. 3 ロシア艦艇2隻が与那国島の南約50kmの海域を北東進、与那国島と西表島との間の海域を北東進し、東シナ海へ向けて航行 12. 4 中国艦艇2隻が宮古島の北東約100kmの海域を南進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南進し、太平洋へ向けて航行 12. 4 中国艦艇1隻が宮古島の北東約120kmの海域を南東進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 12. 5 中国艦艇3隻が口永良部島の西約80kmの海域を東進、大隅海峡を東進し、太平洋に向けて航行 12. 7 中国艦艇2隻が宮古島の北東約120kmの海域を南東進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 12. 8 シリアの反体制派が同国の首都ダマスカスを制圧。同国のアサド大統領はロシアに退避し、大統領職を辞任 12. 8 中国艦艇1隻が宮古島の北東約160kmの海域を南東進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行

年	防 衛		国内（主な首脳会談含む）		国 際	
					12. 9	中国のY-9哨戒機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋を南進した後、太平洋上を北進し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過
					12.10	推定中国無人機1機（推定）が東シナ海から飛来し、与那国島と台湾との間を通過して太平洋に至り、先島諸島から南西の太平洋上で旋回後、南方へ飛行
					12.10	ロシア艦艇4隻が対馬の南西約130kmの海域を北東進、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行（～12.11）
					12.11	中国艦艇1隻が宮古島の東約120kmの海域を北西進、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行
					12.12	中国艦艇1隻が宮古島の東約110kmの海域を北西進、また、中国艦艇1隻が宮古島の北東約90kmの海域を北進、さらに、中国艦艇4隻が宮古島の北東約110kmの海域を北西進、その後、これらの艦艇が沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行
					12.13	中国艦艇1隻が久米島の西約100kmの海域を南東進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行
					12.14	ロシア艦艇2隻が対馬の南西約100kmの海域を北東進、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行
					12.15	中国艦艇2隻が宮古島の北東約120kmの海域を南進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南進し、太平洋へ向けて航行
					12.19	中国艦艇2隻が宮古島の北東約90kmの海域を北進、沖縄本島と宮古島との間の海域を北進し、東シナ海へ向けて航行
					12.19	中国艦艇4隻が種子島の北東約50kmの海域を西進、大隅海峡を西進し、東シナ海へ向けて航行（～12.20）
					12.22	中国艦艇3隻が宮古島の東約100kmの海域を北進、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行
					12.23	北朝鮮、朝鮮労働党中央委員会第8期第11回拡大総会（全員会議）を開催（～12.27）
					12.23	中国艦艇1隻が宮古島の北東約120kmの海域を北進、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行
2025 (令和7)	1. 7	日インドネシア防衛相会談（インドネシア）	1.10	日マレーシア首脳会談（マレーシア）	1. 2	中国艦艇2隻が宮古島の北東約110kmの海域を南進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南進し、太平洋へ向けて航行
	1.11	岩手県盛岡市における鳥インフルエンザ発生に係る災害派遣（～1.14）	1.11	日インドネシア首脳会談（インドネシア）	1. 5	中国艦艇1隻が種子島の北東約70kmの海域を西進、大隅海峡を西進し、東シナ海へ向けて航行
	1.12	千葉県銚子市における鳥インフルエンザ発生に係る災害派遣（～1.14）	1.13	日米比首脳テレビ会議	1. 6	北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射
	1.14	令和6年度（第2回）離島統合防災訓練及び日米共同統合防災訓練（～1.17）	1.21	石破総理大臣とNATO事務総長との電話会談	1.14	推定中国無人機1機（推定）が東シナ海から飛来し、与那国島と台湾との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回・反転し、再び与那国島と台湾との間を通過
	1.15	日英防衛相会談（ロンドン）	1.21	日ラオス首脳会談（東京）	1.14	推定中国無人機1機（推定）が太平洋から飛来し、与那国島と台湾との間を通過
	1.19	愛知県半田市における鳥インフルエンザ発生に係る災害派遣（～1.21）	2. 6	日ザンビア首脳会談（東京）	1.15	米国、カタールおよびエジプトの仲介により、イスラエルとハマスは、ガザ地区での3段階からなる停戦や人質解放などに合意
	1.19	山梨県笛吹市春日居町における山林火災に係る災害派遣（～1.22）	2. 7	日米首脳会談（ワシントンD.C.）	1.19	イスラエルとハマスの、ガザ地区での3段階からなる停戦や人質解放などの合意が発効
	1.22	日モンゴル防衛装備品・技術移転協定発効	2.12	日パラオ首脳会談（東京）	1.22	推定中国無人機1機（推定）が東シナ海から飛来し、与那国島と台湾との間を通過
	1.22	岩手県盛岡市における鳥インフルエンザ発生に係る災害派遣（～1.24）	2.24	G7首脳テレビ会議	1.22	推定中国艦艇1機（推定）が東シナ海から飛来し、与那国島と台湾との間を通過
	1.29	日エストニア防衛相会談（東京）	3. 5	石破総理大臣とイタリア大統領との会談（東京）	1.30	ロシアのTu-95爆撃機2機、Su-35戦闘機1機、戦闘機1機が大陸方面から飛来し、知床岬沖で変針し、宗谷海峡上空を通過した後、大陸方面に向けて北西進。また、ロシアのTu-95爆撃機2機、Su-30戦闘機1機、戦闘機1機が再度大陸方面から飛来し、日本海上を奥尻島沖から男鹿半島沖まで南進した後、大陸方面に向けて北西進。さらに、これらの爆撃機等が飛来する間、ロシアのIL-38哨戒機1機が日本海上を飛行
	1.31	日比防衛相電話会談	3.13	日マーシャル諸島首脳会談（東京）	2. 1	ロシア艦艇1隻が沖縄本島の南東約50kmの海域を南進し、沖縄本島南東の接続水域内を含む海域を東西に遊弋、喜界島南東の接続水域内を北東進し、宮崎県沖東の接続水域内を含む海域を東西に遊弋した後、大隅海峡を西進し、東シナ海へ向けて航行（～2.9）
	1.29	岩手県大船渡市における山林火災に係る災害派遣（～2.24）	3.18	日ミクロネシア連邦首脳ワーキング・ディナー（東京）	2. 3	ロシア艦艇3隻が対馬の北東約70kmの海域を南西進、対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行
	2.24	日比防衛相会談（フィリピン）	3.26	日ブラジル首脳会談（東京）	2. 5	ロシア艦艇3隻が西表島の北約60kmの海域を南西進、与那国島と西表島との間の海域を南西進し、太平洋へ向けて航行
	2.26	岩手県大船渡市における山林火災に係る災害派遣（～3.14）	4.28	日越首脳会談（日本）	2. 5	推定中国無人機1機（推定）が太平洋から飛来し、与那国島と台湾との間を通過。また、別の推定中国無人機1機（推定）が東シナ海を飛行
	2.28	山梨県大月市における山林火災に係る災害派遣（～3.3）	4.29	日比首脳会談（日本）	2. 8	中国艦艇1隻が宮古島の北東約90kmの海域を南進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南進し、太平洋へ向けて航行
	3.24	統合作戦司令部の新編	5.20	日ブルガリア首脳会談（日本）	2.10	中国のY-9哨戒機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過し、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過
	3.24	岡山県岡山市における山林火災に係る災害派遣（～3.28）	5.29	日ラオス首脳会談（日本）	2.10	ロシア艦艇1隻が男女群島の南約40kmの海域を北西進、鳥島北の接続水域内を含む海域を北東進した後、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行（～2.11）
	3.30	日米防衛相会談（東京）	5.30	日カンボジア首脳会談（日本）	2.10	中国艦艇3隻が宮古島の北東約140kmの海域を南東進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行（～2.11）
	4. 4	米比主催多国間共同訓練バリカタン25（～5.9）	6. 9	日リトアニア首脳会談（日本）	2.11	中国艦艇4隻が宮古島の北東約150kmの海域を南東進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行
	4. 7	ミャンマー連邦共和国における国際緊急援助活動（～4.22）	6. 9	日韓首脳電話会談	2.11	中国のY-9哨戒機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過し、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過
	4.10	第2回官民合同推進委員会の開催	6.15	G7カナダスキス・サミット（カナダ）（～6.17）	2.11	推定中国無人機1機（推定）が東シナ海から飛来し、与那国島と台湾との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で反転し、再び与那国島と台湾との間を通過
	4.16	日トンガ防衛相会談（日本）	6.17	日ウクライナ首脳会談（カナダ）	2.11	ロシアのIL-20情報収集機1機が大陸方面から飛来し、日本海上空を南西進した後、経ヶ岬沖で変針し、大陸方面に向けて北西進
	5. 5	日印防衛相会談（インド）	6.17	日韓首脳会談（カナダ）	2.12	ロシアのIL-20情報収集機1機が大陸方面から飛来し、日本海上空を南西進した後、経ヶ岬沖で変針し、大陸方面に向けて北西進
	5.15	日豪防衛相テレビ会談	7. 8	「日カナダ情報保護協定」署名	2.16	ロシア艦艇1隻が対馬の北東約70kmの海域を南西進、対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行（～2.17）
	5.28	日ルクセンブルク防衛相会談（日本）	8.20	第9回アフリカ開発会議（TICAD9）（日本）（～8.22）	2.19	ロシア艦艇1隻が鳥島の北約50kmの海域を南西進、鳥島北から沖縄本島南東の接続水域内を含む海域を航行した後、沖縄本島南東の接続水域を出域し、太平洋へ向けて航行（～2.20）
	5.28	日リトアニア防衛相会談（日本）	8.23	日韓首脳会談	2.24	中国のY-9情報収集機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上を沖縄本島沖まで飛行した後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過
	5.31	日シンガポール防衛相会談（シンガポール）	9. 1	石破総理大臣とレイチェアン・モルドバ首相との会談（東京）	2.24	中国のY-9哨戒機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過
	5.31	日仏防衛相会談（シンガポール）	9. 4	日アルメニア首脳会談（日本）		
	5.31	日米防衛相会談（シンガポール）	10.28	日米首脳会談（日本）		
	5.31	日米豪防衛相会談（シンガポール）	10.31	APEC首脳会議（韓国）（～11.1）		
	6. 1	日タイ防衛相会談（シンガポール）	10.31	日中首脳会談（韓国）		
	6. 1	日比防衛相会談（シンガポール）	11. 1	日韓首脳会談（韓国）		
	6. 1	日豪防衛相会談（シンガポール）	11. 4	「中東地域における日本関係船舶の安全確保に関する政府の取組に関する閣議決定の変更」の閣議決定（～26.11.19）		
	6. 1	日ニュージーランド防衛相会談（シンガポール）	11. 5	日ウクライナ首脳電話会談		
	6. 1	日マレーシア防衛相会談（シンガポール）	11.22	G20ヨハネスブルク・サミット（南アフリカ）（～11.23）		
	7. 7	日英伊防衛相テレビ会合	11.23	日・南アフリカ首脳会談（南アフリカ）		
	7.14	令和7年度自衛隊統合防災演習（～7.18）	11.23	日印首脳会談（南アフリカ）		
	7.23	中谷防衛大臣とカラス EU上級代表との会談	11.23	日独首脳会談（南アフリカ）		
	7.29	沖縄県北大東村における台風8号に係る災害派遣（～8.3）	11.23	日英首脳会談（南アフリカ）		
	8. 2	広島県神石郡神石高原町における林野火災に係る災害派遣（～8.5）	12.18	日カザフスタン首脳会談（日本）		
	8. 5	鳥根県安来市における林野火災に係る災害派遣（～8.7）	12.19	「日ニュージーランド情報保護協定」署名		
	8. 7	日韓防衛相テレビ会談	12.20	日ウズベキスタン首脳会談（日本）		
	8. 9	鹿児島県霧島市及び姶良市における給水支援に係る災害派遣（～8.13）	12.20	日キルギス首脳会談（日本）		
	8.18	防衛大臣とジブチ国防大臣代行の会談（ジブチ）	12.20	日トルクメニスタン首脳会談（日本）		
			12.20	日タジキスタン首脳会談（日本）		
			12.20	「中央アジア+日本」対話・首脳会合（日本）		

年	防 衛	国内（主な首脳会談含む）	国 際
8. 19	日トルコ防衛相会談（トルコ）		2. 26 中国のBZK-005 偵察型無人機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、沖縄本島の南の太平洋上を奄美大島沖まで飛行した後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過
8. 21	日ヨルダン防衛相会談（ヨルダン）		2. 26 中国のGJ-2 偵察／攻撃型無人機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、沖縄本島の南の太平洋上を奄美大島沖まで飛行した後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過（初確認の機体）
8. 25	第3回官民合同推進委員会の開催		2. 28 中国のTB-001 偵察／攻撃型無人機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、沖縄本島の南の太平洋上を奄美大島沖まで飛行した後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過
8. 28	徳島県板野郡板野町における林野火災に係る災害派遣（～9.4）		2. 28 中国艦艇1隻が佐多岬の北東約140kmの海域を西進、大隅海峡を西進し、東シナ海へ向けて航行、その後、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行（～3.3）
8. 28	日英防衛相会談（日本）		3. 4 ロシア艦艇1隻が沖縄本島の南西約80kmの海域を西進、鳥島西の接続水域内を航行した後、出域し、東シナ海へ向けて航行
9. 5	日豪防衛相会談（日本）		3. 6 ロシア艦艇1隻が対馬の南西約120kmの海域を北東進、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行（～3.7）
9. 8	日韓防衛相会談（韓国）		3. 16 中国艦艇1隻が魚釣島の北西約80kmの海域を南東進、魚釣島の西約70kmの海域を南進し、与那国島と台湾との間の海域を南進。その後、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行（～3.20）
9. 9	日比防衛相会談（韓国）		3. 17 中国艦艇1隻が魚釣島の西約80kmの海域を南進、魚釣島の西約80kmの海域を南進し、与那国島と台湾との間の海域を南進。その後、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行（～3.20）
10. 2	令和7年度自衛隊統合演習（実動演習）（～10.31）		3. 17 推定中国無人機2機（推定）が東シナ海から飛来し、与那国島と台湾との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回・反転し、再び与那国島と台湾との間を通過
10. 7	日比防衛相テレビ会談		3. 21 中国艦艇1隻が口永良部島の南西約70kmの海域を東進、大隅海峡を東進し、太平洋へ向けて航行
10. 9	東京都八丈町における台風第22号及び第23号に係る災害派遣（～11.14）		3. 24 中国艦艇1隻が宮古島の東約140kmの海域を北西進、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行
10. 21	小泉防衛大臣就任		3. 27 推定中国無人機1機（推定）が東シナ海から飛来し、与那国島と台湾との間を通過
10. 29	日米防衛相会談（日本）		3. 31 中国艦艇2隻が宮古島の北東約100kmの海域を南進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南進し、太平洋へ向けて航行。また、中国艦艇1隻が宮古島の北東約130kmの海域を南東進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行
11. 1	第9回日ASEAN防衛担当大臣会合		4. 1 空母「山東」を含む複数の中国艦艇が、太平洋上の海域を航行、艦載戦闘機および艦載ヘリの発着艦（～4.2）、その後、南シナ海へ向けて航行（4.3）
11. 1	第12回拡大ASEAN国防相会議		4. 4 中国艦艇2隻が宮古島の北東約90kmの海域を北西進、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行
11. 1	日インドネシア防衛相会談（マレーシア）		4. 4 ロシアのIL-20 情報収集機1機が大陸方面から飛来し、日本海上空を南西進した後、経ヶ岬沖で変針し、大陸方面に向けて北西進
11. 1	日シンガポール防衛相会談（マレーシア）		4. 9 中国艦艇1隻が対馬の南西約50kmの海域を北東進、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行
11. 1	日中防衛相会談（マレーシア）		4. 11 中国のY-9 哨戒機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過
11. 1	日韓防衛相会談（マレーシア）		4. 11 推定中国無人機1機（推定）が東シナ海方面から飛来し、与那国島と台湾との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で反転し、再び与那国島と台湾との間を通過
11. 1	日米豪比防衛相会談（マレーシア）		4. 11 中国艦艇2隻が久米島の西約70kmの海域を南進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行
11. 2	日ラオス防衛相会談（マレーシア）		4. 11 中国艦艇3隻が口永良部島の西約130kmの海域を南東進、大隅海峡を東進し、太平洋へ向けて航行（～4.12）
11. 2	日ニュージーランド防衛相会談（マレーシア）		4. 12 中国艦艇1隻が横当島の南西約60kmの海域を南東進、奄美大島と横当島との間の海域を北東進し、太平洋へ向けて航行
11. 3	日豪防衛相会談（マレーシア）		4. 16 ロシア艦艇1隻が礼文島の西約50kmの海域を北東進し、宗谷海峡を東進
11. 7	海賊対処行動の継続の閣議決定		4. 17 ロシアのIL-20 情報収集機1機が大陸方面から飛来し、日本海上空を隠岐島沖まで飛行後、反転し、再び大陸方面へ飛行
11. 7	「中東地域における日本関係船舶の安全保障に関する政府の取組に関する閣議決定の変更」の閣議決定（～26.11.19）		4. 18 中国艦艇1隻が対馬の北東約40kmの海域を南西進し、東シナ海へ向けて航行
11. 15	令和7年度日米豪共同離島等統合防災訓練		4. 22 ロシア艦艇2隻が宗谷岬の北東約70kmの海域を西進し、宗谷海峡を西進
11. 17	日インドネシア防衛相会談		4. 23 空母「山東」を含む複数の中国艦艇が、太平洋上の海域を航行、艦載戦闘機および艦載ヘリの発着艦（～4.25）、その後、南シナ海へ向けて航行（4.25）
11. 19	大分県大分市佐賀間における大規模火災に係る災害派遣（～11.26）		4. 24 中国のY-9 情報収集機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、沖縄本島沖で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過
11. 22	令和7年度自衛隊統合国外演習（～12.10）		4. 24 中国のTB-001 偵察／攻撃型無人機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、沖縄本島の南の太平洋上を徳之島沖まで飛行した後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過
11. 25	日英伊防衛相テレビ会合		4. 24 中国のGJ-2 偵察／攻撃型無人機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、沖縄本島沖まで飛行した後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過
12. 5	沖縄県宮古島南方沖における漁船転覆に係る災害派遣（～12.7）		4. 27 推定中国無人機1機（推定）が太平洋から飛来し、与那国島と台湾との間を通過
12. 4	日ギリシャ防衛相会談（日本）		4. 29 中国のY-9 哨戒機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過
12. 7	日豪防衛相会談（日本）		4. 29 推定中国無人機1機（推定）が東シナ海方面から飛来し、与那国島と台湾との間を通過
12. 8	群馬県富岡市における林野火災に係る災害派遣（～12.10）		4. 30 中国のY-9 情報収集機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過
12. 9	青森県東方沖の地震による患者の輸送に係る災害派遣（～12.11）		5. 1 中国艦艇2隻が久米島の南西約80kmの海域を南進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南進し、太平洋に向けて航行
12. 10	神奈川県伊勢原市日向山における林野火災に係る災害派遣（～12.12）		5. 3 尖閣諸島周辺の我が国領海に侵入した中国海警船から発艦したヘリコプター1機が我が国領空を侵犯
12. 10	日伊防衛相テレビ会談		5. 4 中国艦艇1隻が宮古島の北東約110kmの海域を北西進、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行
12. 17	日英防衛相テレビ会談		5. 4 中国艦艇1隻が与那国島の南西約60kmの海域を北進後、魚釣島の西約80kmの海域を北進（～5.5）
12. 18	日フィリピン防衛相テレビ会談		5. 8 北朝鮮、弾道ミサイルを複数発射
12. 19	日ニュージーランド防衛相会談（日本）		5. 15 中国のY-9 哨戒機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過
12. 22	日インドネシア防衛相テレビ会談		
12. 26	日韓防衛相テレビ会談		

年	防衛	国内（主な首脳会談含む）	国際
			5.16 中国艦艇5隻が宮古島の北東約100kmの海域を南進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南進し、太平洋へ向けて航行 5.25 空母「遼寧」を含む複数の中国艦艇が、東シナ海上の海域を航行、艦載戦闘機および艦載ヘリの発着艦（～5.26）、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し（5.27）、太平洋へ向けて航行、艦載戦闘機および艦載ヘリの発着艦（～5.29）、その後、太平洋上を南下（5.30） 5.26 中国艦艇2隻が宮古島の北東約140kmの海域を南東進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 5.29 中国艦艇2隻が宮古島の北東約120kmの海域を南東進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 6. 2 推定中国無人機1機（推定）が東シナ海方面から飛来し、与那国島と台湾との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回・反転し、再び与那国島と台湾との間を通過 6. 4 中国艦艇2隻が草垣群島の南西約50kmの海域を南東進、大隅海峡を東進し、太平洋へ向けて航行（～6.5） 6. 4 ロシア艦艇1隻が隠岐諸島の北西約40kmの海域を北東進、隠岐諸島北東の接続水域内を東進、佐渡島北の接続水域内を北東進（6.6）、礼文島西の接続水域内を北進した後、宗谷海峡の東進（6.8） 6. 5 中国艦艇2隻が宮古島の北東約120kmの海域を南東進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南進し、太平洋へ向けて航行 6. 7 空母「遼寧」を含む複数の中国艦艇が、太平洋上の海域を航行、艦載戦闘機および艦載ヘリの発着艦（6.8～6.19）、その後、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行（6.20） 6. 7 空母「山東」を含む複数の中国艦艇が、太平洋上の海域を航行、艦載戦闘機および艦載ヘリの発着艦（6.9～6.22）、その後、南シナ海へ向けて航行（6.23） 6. 7 太平洋上の公海上空において、警戒監視を行っていた海上自衛隊のP-3C哨戒機に対し、中国軍のJ-15戦闘爆撃機が特異な接近を行う事案が発生 6. 8 太平洋上の公海上空において、警戒監視を行っていた海上自衛隊のP-3C哨戒機に対し、中国軍のJ-15戦闘爆撃機が特異な接近を行う事案が発生 6.10 中国艦艇1隻が口永良部島の西約60kmの海域を東進、大隅海峡を東進し、太平洋へ向けて航行 6.12 ロシア艦艇4隻が礼文島北西約50kmの海域を北東進し、宗谷海峡を東進 6.13 ロシア艦艇3隻が与那国島の南約60kmの海域を北進、与那国島と西表島との間の海域を北東進し、東シナ海へ向けて航行 6.14 ロシア艦艇2隻が宗谷岬西約120kmの海域を北東進し、宗谷海峡を東進 6.15 ロシア艦艇3隻が対馬の南西約100kmの海域を北東進、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行 6.21 北朝鮮、朝鮮労働党中央委員会第8期第12回拡大総会（全員会議）を開催（～6.23） 6.22 中国艦艇4隻が宮古島の北東約110kmの海域を北西進、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行 6.25 ロシア艦艇1隻が宗谷岬の北約30kmの海域を西進し、宗谷海峡を西進。また、ロシア艦艇1隻が宗谷岬の北約40kmの海域を西進、さらにロシア艦艇3隻が宗谷岬の北約30kmの海域を西進し、宗谷海峡を西進（～6.26） 6.26 推定中国無人機1機（推定）が東シナ海から飛来し、与那国島と台湾との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で反転し、再び与那国島と台湾との間を通過 6.26 推定中国無人機1機（推定）が太平洋から飛来し、与那国島と台湾との間を通過 6.28 中国艦艇1隻が久米島の南西約70kmの海域を南進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 6.30 中国のY-9哨戒機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過 6.30 中国のBZK-005偵察型無人機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過 7. 2 推定中国無人機1機（推定）が東シナ海から飛来し、与那国島と台湾との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で反転し、再び与那国島と台湾との間を通過 7. 2 推定中国無人機1機（推定）が東シナ海から飛来し、与那国島と台湾との間を通過 7. 2 中国艦艇2隻が魚釣島の西約80kmの海域を南進、与那国島と台湾との間の海峡を南進し、その後、沖縄本島と宮古島との間の海域を北進し、東シナ海へ向けて航行（7.6） 7. 9 東シナ海上の公海上空において、警戒監視を行っていた航空自衛隊のYS-11EB情報収集機に対し、中国軍のJH-7戦闘爆撃機が特異な接近を行う事案が発生 7.10 東シナ海上の公海上空において、警戒監視を行っていた航空自衛隊のYS-11EB情報収集機に対し、中国軍のJH-7戦闘爆撃機が特異な接近を行う事案が発生 7.13 推定中国無人機1機（推定）が太平洋から飛来し、与那国島と台湾との間を旋回したのち、東シナ海へ飛行 7.15 推定中国無人機1機（推定）が太平洋から飛来し、与那国島と台湾との間を通過 7.15 中国のY-9情報収集機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で与那国島沖まで飛行した後、旋回・反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過 7.16 推定中国無人機1機（推定）が東シナ海から飛来し、与那国島と台湾との間を通過 7.16 推定中国無人機1機（推定）が東シナ海から飛来し、与那国島と台湾との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で反転し、再び与那国島と台湾との間を通過 7.22 中国艦艇1隻が宮古島の北東約130kmの海域を西進、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行 7.24 中国艦艇1隻が五島列島の西約330kmの海域を東進、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行 7.24 中国艦艇3隻が五島列島の西約90kmの海域を北東進、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行 7.29 ロシアのIL-38哨戒機1機が、大陸方面から飛来し、日本海上を北海道西方から南西進し、日本海上空を旋回した後、大陸方面に向け北進 8. 1 中国艦艇1隻が宮古島の東約120kmの海域を北進、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行

年	防衛	国内（主な首脳会談含む）	国際
			8. 2 中国艦艇2隻が久米島の南西約90kmの海域を南東進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 8. 2 ロシア艦艇3隻が礼文島の北西約70kmの海域を東進し、宗谷海峡を東進（～8.3） 8. 2 ロシア艦艇1隻が奥尻島の西約50kmの海域を南進、奥尻島西の接続水域内から渡島大島南西の接続水域内を南進、津軽海峡を東進し太平洋へ向けて航行（～8.10） 8. 5 中国艦艇1隻が久米島の西約70kmの海域を南進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋に向けて航行 8. 7 推定中国無人機1機（推定）が東シナ海から飛来し、与那国島と台湾との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回・反転し、再び与那国島と台湾との間を通過 8. 7 中国、ロシア艦艇3隻が奥尻島の北西約320kmの海域を北東進し、宗谷海峡を東進（～8.8） 8.10 中国艦艇2隻が宮古島の北東約140kmの海域を北西進、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行 8.11 中国艦艇1隻が種子島の北東約70kmの海域を北西進、大隅海峡を西進し、東シナ海へ向けて航行 8.12 ロシア艦艇2隻が礼文島の北西約70kmの海域を東進し、宗谷海峡を東進 8.13 中国艦艇2隻が対馬の北東約60kmを南西進、対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行 8.14 ロシア艦艇1隻が尻屋崎の北東約50kmを西進、津軽海峡を西進し、日本海へ向けて航行（～8.15） 8.14 ロシア艦艇3隻が対馬の東約90kmを南西進、対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行（～8.15） 8.17 ロシア艦艇1隻が宗谷岬の北東約40kmの海域を西進し、宗谷海峡を西進 8.19 ロシアのTu-95爆撃機2機、戦闘機2機が大陸方面から飛来し、日本海上空を南東進した後、新潟県佐渡島沖で北東に変針し、我が国領空付近を沿うように飛行 8.20 ロシア艦艇3隻が対馬の南西約120kmの海域を北東進、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行（～8.21） 8.21 ロシア艦艇1隻が渡島大島の南西約50kmを東進、津軽海峡を東進した後、襟裳岬南の接続水域内を北東進し、太平洋へ向けて航行（～8.22） 8.29 ロシア艦艇2隻が尻屋崎の東約70kmの海域を北西進津軽海峡を西進し、日本海へ向けて航行 8.31 中国艦艇2隻が宮古島の東約120kmの海域を北西進、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海に向けて航行 9. 6 ロシア艦艇1隻が礼文島の西約50kmの海域を北東進し、宗谷海峡を東進（～9.7） 9. 7 ロシア艦艇1隻が、礼文島の南西約170kmの海域を北東進し、宗谷海峡を東進 9. 8 ロシア艦艇2隻が宗谷岬の北東約40kmの海域を西進し、宗谷海峡を西進 9. 9 中国艦艇1隻が口永良部の西約170kmの海峡を北東進、大隅海峡を東進し、太平洋に向けて航行（～9.10） 9. 9 ロシア艦艇1隻が三宅島の東約50kmの海域を南西進、三宅島の接続水域内を南進し、御蔵島と八丈島との間の海域の南西進、さらに、沖縄本島東から南にかけての接続水域内を含む海域を南西進し、沖縄本島南の接続水域内を含む海域を北西進した後、久米島南西の接続水域内を北西進し、東シナ海へ向けて航行（～9.15） 9.11 空母「福建」を含む中国艦艇3隻が魚釣島の北西約200kmの海域を南西進 9.13 推定中国無人機1機（推定）が東シナ海から飛来し、与那国島と台湾との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で反転し、再び与那国島と台湾との間を通過 9.13 中国艦艇2隻が宮古島の北東約120kmの海域を南東進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 9.14 中国艦艇2隻が宮古島の北東約100kmの海域を南東進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 9.15 推定中国無人機1機（推定）が東シナ海から飛来し、与那国島と台湾との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回後、反転し、再び与那国島と台湾との間を通過 9.15 中国のY-9哨戒機1機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過 9.16 中国艦艇1隻が宮古島の北東約110kmの海域を北進、沖縄本島と宮古島との間の海域を北進し、東シナ海へ向けて航行 9.16 ロシア艦艇4隻が宗谷岬の北30kmの海域を西進し、宗谷海峡を西進 9.16 中国艦艇1隻が対馬の南約80kmの海域を北東進、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行（～9.17） 9.17 中国艦艇2隻が対馬の南西約140kmの海域を北東進、対馬海峡を北東進し、日本海へ向け航行 9.20 中国艦艇1隻が久米島の南西約90kmの海域を南東進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 9.22 中国艦艇3隻が礼文島の北西約50kmの海域を北東進し、宗谷海峡を東進（～9.23） 9.23 ロシア艦艇1隻が対馬の南西約130kmの海域を北東進、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行（～9.24） 9.24 ロシア艦艇3隻が宗谷岬の北東約40kmの海域を西進し、宗谷海峡を西進 9.28 中国艦艇1隻が対馬の南西約130kmの海域の北東進、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行（～9.29） 10. 3 ロシア艦艇3隻が対馬の北東約80kmの海域を南西進、対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行 10. 3 ロシア艦艇1隻が対馬の北東約90kmの海域を南西進、対馬海峡を南西進した後、沖縄本島と宮古島との間の海域を南進し、太平洋へ向けて航行（～10.6） 10. 4 中国艦艇1隻が龍飛崎の南西約60kmの海域を北東進、津軽海峡を東進し、太平洋へ向けて航行 10. 5 ロシア艦艇3隻が西表島の北西約60kmの海域を南西進、与那国島と西表島との間の海域を南西進し、太平洋へ向けて航行（～10.6） 10.10 中国艦艇3隻が宮古島の南東約200kmの海域を北西進、沖縄本島と宮古島との間の海域を北進し、東シナ海へ向けて航行 10.10 ロシアのIL-20情報収集機1機が樺太方面から飛来し、日本海及びオホーツク海の上空を飛行した後、反転し、再び日本海から樺太方面へ飛行 10.10 北朝鮮、軍事パレードを実施 10.13 中国艦艇3隻が宮古島の北東130kmの海域を南東進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 10.17 中国艦艇3隻が宮古島の北東約130kmの海域を北西進、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行

年		防衛	国内（主な首脳会談含む）	国際
				10.18 中国艦艇1隻が口永良部島の西約80kmの海域を東進、大隅海峡を東進し、太平洋へ向けて航行（～10.19） 10.19 中国艦艇1隻が口永良部島の西約40kmの海域を北東進、大隅海峡を東進し、太平洋へ向けて航行 10.22 北朝鮮、弾道ミサイルを発射 10.24 ロシアのTu-95爆撃機2機、Su-35戦闘機2機が大陸方面から飛来し、日本海上空を南東進した後、新潟県佐渡島沖で北東に変針し、我が国領空付近を沿うように飛行 10.25 ロシアのIL-20情報収集機1機が大陸方面から飛来し、日本海上空を南西進した後、京都府経ヶ岬沖で変針し、大陸方面に向けて北西進 10.27 中国艦艇2隻が久米島の西約80kmの海域を南進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 10.29 ロシアのIL-20情報収集機1機が大陸方面から飛来し、オホーツク海を経由し太平洋に進出した後、岩手県沖まで南下、反転し、オホーツク海を経由して日本海に向けて飛行 10.31 中国艦艇1隻が都井岬の南東約70kmの海域を西進、大隅海峡を西進し、東シナ海へ向けて航行 11. 4 中国艦艇1隻が種子島の東約60kmの海域を西進、大隅海峡を西進し、東シナ海へ向けて航行 11. 5 中国3隻目の空母「福建」が海南島・三亚において就役 11. 7 北朝鮮、弾道ミサイルを1発発射 11. 8 中国艦艇1隻が口永良部島の西約70kmの海域を東進、大隅海峡を東進し、太平洋へ向けて航行 11.11 中国艦艇1隻が口永良部島の西約120kmの海域を東進、大隅海峡を東進し、太平洋へ向けて航行 11.11 中国艦艇2隻が口永良部島の西約60kmの海域を東進、大隅海峡を東進し、太平洋へ向けて航行 11.15 推定中国無人機1機（推定）が東シナ海から飛来し、与那国島と台湾との間を通過して太平洋に至り、太平洋上で旋回・反転し、再び与那国島と台湾との間を通過 11.24 推定中国無人機1機（推定）が東シナ海から飛来し、与那国島と台湾との間を通過して太平洋に進出した後、再び与那国島と台湾との間を通過 12. 5 中国艦艇3隻が宮古島の東約120kmの海域を北西進、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海に向けて航行 12. 5 空母「遼寧」を含む複数の中国艦艇が、東シナ海上の海域を航行、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し（12.6）、太平洋へ向けて航行、艦載戦闘機および艦載ヘリの発着艦（12.6～12）、その後、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海に向けて航行（12.12） 12. 6 沖縄本島南東の公海上空において、中国海軍の空母「遼寧」から発艦したJ-15戦闘機が、当該機体に対する対領空侵犯措置を実施していた航空自衛隊のF-15戦闘機に対して、レーダー照射を断続的に行う事案が発生 12. 8 中国艦艇1隻が口永良部島の西約80kmの海域を東進、大隅海峡を東進し、太平洋へ向けて航行 12. 9 日本海から東シナ海に進出したロシアのTu-95爆撃機2機が東シナ海において中国のH-6爆撃機2機と合流した後、東シナ海から太平洋上を四国沖まで長距離にわたり共同飛行。また、当該爆撃機が沖縄本島と宮古島との間を往復して飛行する際、中国のJ-16戦闘機4機が合流したことを確認。その他、日本海においてロシアのA-50早期警戒管制機1機、ロシアのSu-30戦闘機2機を確認 12. 9 北朝鮮、朝鮮労働党中央委員会第8期第13回拡大総会（全員会議）を開催（～12.11） 12.10 中国艦艇1隻が種子島の東約70kmの海域を西進、大隅海峡を西進し、東シナ海へ向けて航行 12.10 中国艦艇1隻が宮古島の北東約140kmの海域を北西進、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行 12.12 中国艦艇1隻が宮古島の北東約120kmの海域を北西進、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行 12.18 ロシア艦艇1隻が与那国島と南約120kmの海域を北東進、与那国島と西表島との間の海域を北東進し、東シナ海へ向けて航行 12.21 ロシア艦艇1隻が対馬の南西約130kmの海域を北東進、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行 12.27 中国艦艇1隻が宮古島の北東約110kmの海域を南東進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行した後、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行（～12.30） 12.28 ロシア艦艇1隻が宮古島の東約160kmの海域を北西進、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、久米島の接続水域内を航行した後、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行（～12.30） 12.28 中国艦艇1隻が宮古島の北東約130kmの海域を南東進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行した後、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行（～12.30） 12.29 中国のH-6爆撃機2機、J-16戦闘機2機、Y-9情報収集機2機、推定中国戦闘機2機（推定）が東シナ海から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に進出した後、再び沖縄本島と宮古島との間を通過 12.30 中国艦艇1隻が宮古島の東約80kmの海域を北進、沖縄本島と宮古島との間の海域を北西進し、東シナ海へ向けて航行
	2026 (令和8)	1. 8 山梨県上野原市扇山における林野火災に係る災害派遣（～1.21） 1.11 神奈川県秦野市における林野火災に係る災害派遣（～1.13） 1.15 日米防衛相会談（アメリカ） 1.17 静岡県藤枝市における林野火災に係る災害派遣（～1.23） 1.25 群馬県藤岡市における林野火災に係る災害派遣（～1.28） 1.27 日・カナダ防衛装備品・技術移転協定の署名 1.29 令和7年度日米共同統合演習（指揮所演習）（～2.5） 1.30 日韓防衛相会談（日本） 2. 1 青森県青森市における大雪に係る災害派遣（～2.9） 2. 3 日・バングラデシュ防衛装備品・技術移転協定 署名・発効 2. 6 埼玉県秩父市における林野火災に係る災害派遣（～2.10） 2. 9 新潟県魚沼市における大雪に係る災害派遣（～2.11）	1. 2 日米首脳電話会談 1.13 日韓首脳会談（日本） 1.16 日伊首脳会談（日本） 1.31 日英首脳会談（日本） 2.24 日独首脳電話会談 3. 6 日加首脳会談（日本） 3.11 G7首脳オンライン会議 3.13 日・ブータン首脳会談（日本） 3.19 日米首脳会談（アメリカ）	1. 4 北朝鮮、弾道ミサイルを2発発射 1. 7 ロシア艦艇1隻が対馬の北東約80kmの海域を南西進、対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行 1.12 ロシア艦艇1隻が与那国島の北西約60kmの海域を南西進、与那国島の南西から北にかけての接続水域内を北東進し、宮古島の北から南にかけての接続水域を含む海域を航行した後、太平洋へ向けて航行（～1.15） 1.17 ロシア艦艇1隻が与那国島の南西約60kmの海域を北進、与那国島の南西から北西にかけての接続水域内を北進した後、宮古島の北の接続水域内を東進し、さらに、沖縄本島と宮古島との間の海域を東進した後、沖縄本島の南から東にかけての接続水域内を航行し、太平洋へ向けて航行（～1.19） 1.20 ロシア艦艇1隻が沖縄本島の東約70kmの海域を西進、沖縄本島の東から南東にかけての接続水域を含む海域を航行した後、沖縄本島の南東から久米島の北西にかけての接続水域を含む海域を航行、さらにその後、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行（～1.26） 1.21 ロシアのTu-95爆撃機2機、戦闘機2機が大陸方面から飛来し、日本海上空を東進した後、島根県沖で変針し、大陸方面に向け北進。その後、ロシアのTu-95爆撃機2機が、再度大陸方面から飛来し、北海道西方を北東進。さらに、再びロシアのTu-95爆撃機2機、戦闘機2機が、大陸方面から飛来し、日本海上空を南東進した後、石川県能登半島沖で反転し、大陸方面に向けて北西進

年	防 衛	国内（主な首脳会談含む）	国 際
	2.13 日英防衛相会談（ドイツ） 2.13 日ニュージーランド防衛相会談（ドイツ） 2.13 日伊防衛相会談（ドイツ） 2.13 日加防衛相会談（ドイツ） 2.14 日独防衛相会談（ドイツ） 2.14 日豪防衛相会談（ドイツ） 2.14 小泉防衛大臣とカッラスEU上級代表との会談 2.20 茨城県常陸太田市における林野火災に係る災害派遣（～2.24） 2.21 栃木県鹿沼市における林野火災に係る災害派遣（～2.25） 2.22 日・太平洋島嶼国防大臣会合（日本）（～2.24） 2.23 令和7年度日米共同統合防空・ミサイル防衛（防勢）訓練（～2.26） 2.23 日トンガ防衛相会談（日本） 2.23 日バプアニューギニア防衛相会談（日本） 2.23 日フィジー防衛相会談（日本） 3.6 日加防衛相会談（日本） 3.17 山梨県北杜市における林野火災に係る災害派遣（～3.19） 3.21 群馬県多野郡上野村における林野火災に係る災害派遣（～3.25） 3.22 日独防衛相会談（日本） 3.24 山形県東根市における林野火災に係る災害派遣（～3.26）		1.23 ロシアのIL-20情報収集機1機が大陸方面から飛来し、日本海上空を南西進した後、京都府沖で変針し、大陸方面に向けて北西進 1.24 中国艦艇1隻が宮古島の北東約120kmの海域を南東進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 1.26 ロシアのIL-20情報収集機1機が大陸方面から飛来し、オホーツク海を経由し太平洋に進出した後、福島県沖まで南下、反転し、オホーツク海を経由して日本海へ向けて飛行 1.27 北朝鮮、弾道ミサイルを少なくとも2発発射 1.27 中国艦艇1隻が宮古島の北東約150kmの海域を南東進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 1.28 中国艦艇1隻が宮古島の北東約130kmの海域を南東進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 1.28 中国艦艇2隻が宮古島の北東約140kmの海域を南東進、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行 2.1 ロシア艦艇1隻が龍飛崎の西約130kmの海域を南東進、津軽海峡を東進し、太平洋へ向けて航行 2.4 ロシア艦艇1隻が尻屋崎の北東約50kmの海域を西進、津軽海峡を西進し、日本海へ向けて航行 2.6 ミラノ・コルティナオリンピック（～2.22） 2.11 ロシアのIL-20情報収集機1機が大陸方面から飛来し、オホーツク海を経由して太平洋に進出した後、岩手県沖まで南下、反転し、オホーツク海を経由して日本海を飛行 2.14 ロシア艦艇3隻が対馬の北東約90kmの海域を南西進、対馬海峡を南西進し、太平洋へ向けて航行 2.16 ロシア艦艇3隻が与那国島と西表島との間の海域を南西進し、太平洋へ向けて航行 2.16 ロシアのIL-20情報収集機1機が大陸方面から飛来し、日本海上空を島根県沖まで飛行後、反転し、大陸方面へ飛行 2.19 北朝鮮、朝鮮労働党第9回大会を開催（～2.25） 2.25 北朝鮮、軍事パレードを実施 2.28 中国のY-9情報収集機2機が東シナ海方面から飛来し、沖縄本島と宮古島との間を通過して太平洋に至り、奄美群島沖まで飛行した後、反転し、再び沖縄本島と宮古島との間を通過 2.28 米国・イスラエルとイランとの間で攻撃開始 3.5 ロシア艦艇3隻が対馬の北東約60kmの海域を南西進、対馬海峡を南西進し、東シナ海へ向けて航行（～3.6） 3.9 ロシア艦艇3隻が西表島の北約50kmの海域を南西進、与那国島と西表島との間の海域を南西進し、太平洋へ向けて航行 3.14 北朝鮮、弾道ミサイルを複数発射 3.15 ロシア艦艇1隻が与那国島の南約70kmの海域を北東進、与那国島と西表島との間の海域を北東進し、東シナ海へ向けて航行 3.17 ロシア艦艇1隻が対馬の南西約110km北東進、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行（～3.18） 3.27 ロシアのTu-142哨戒機2機が太平洋から飛来し、オホーツク海を経由して日本海を秋田県沖まで飛行後、反転し、大陸方面へ飛行 3.27 ロシア艦艇1隻が龍飛崎の西約120kmの海域を東進、津軽海峡周辺の接続水域内を東進し、龍飛崎の南西約50kmの海域を反転し、同海峡を西進し、日本海へ向けて航行（～3.28） 3.28 中国のY-9哨戒機1機が東シナ海を飛行 3.29 中国艦艇1隻が対馬の南西約80kmの海域を北東進、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行 3.30 中国艦艇3隻が五島列島の北西約80kmの海域を北東進、対馬海峡を北東進し、日本海へ向けて航行（～3.31）